

第79回日本公衆衛生学会総会

演題集

2020年10月20日(火)・21日(水)・22日(木)

学会總會事務局

第79回日本公衆衛生学会總會 実行委員会事務局・学術部会事務局
京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野内

第79回日本公衆衛生学会總會 運営事務局
株式会社コンベンションリンクージ内
〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町634
TEL：075-231-6357 FAX：075-231-6354
E-mail：jsph79@c-linkage.co.jp

目次

概 要	4
関連・付随行事.....	5
運営組織体制	6
参加される方へのお知らせ	8
日程表.....	10
自由集会の日程.....	16
特別プログラム.....	20
一般演題一覧.....	46
English Session 英語演題一覧	74

※演題集は10月1日時点の情報です。

プログラムは余儀なく変更される場合がございます。

最新情報は第79回日本公衆衛生学会総会ホームページをご確認ください。

概 要

①開催日

2020年10月20日（火）、21日（水）、22日（木）

会期3日間、以下プログラムを「ライブ配信」、「定刻配信」、「オンデマンド配信」にて行います。
※会期終了後、多くのセッションのアーカイブ閲覧を予定しております。
閲覧可能期間は、2020年11月30日までの予定です。

2020年10月20日（火）

午前 開会式、総会、学会長講演、特別講演、一般演題（口演、示説）、企業展示
午後 メインシンポジウム、特別講演、教育講演、シンポジウム、
スポンサードセッション、指導医講習会、
一般演題（口演、示説）、自由集会、企業展示

2020年10月21日（水）

午前 感染症事例のリスクアセスメント研修会、教育講演、優秀口演賞選考会、
シンポジウム、一般演題（口演、示説）、企業展示
午後 特別講演、奨励賞受賞講演、国際参加賞受賞講演、教育講演・研修会、
教育講演、シンポジウム、一般演題（口演、示説）、
スポンサードセッション、自由集会、オンライン懇親会・表彰式、
企業展示

2020年10月22日（木）

午前 教育講演、京都大学社会健康医学系専攻20周年記念シンポジウム、シンポジウム、
一般演題（口演、示説）、スポンサードセッション、自由集会、企業展示
午後 市民公開講座、メインシンポジウム、シンポジウム、保健師職能研修、
自由集会、一般演題（口演、示説）

②開催方法

オンライン学会専用ホームページから、各セッションへアクセスしていただきます。
通常の学会総会と同様に一般演題以外のプログラムは、タイムテーブルに沿ってプログラム
を進行致します。

抄録本文は、オンライン学会専用ホームページでも閲覧可能です。

会期終了後、可能な限り、演題のオンデマンド配信を行います。

特別プログラム（一般演題以外）：「定刻配信」、「ライブ配信」

一般演題：「オンデマンド配信」

展 示：オンライン展示会場にて開催

オンデマンド：会期中、時間に関係なくいつでもご覧いただけます

定 刻：時間通りに配信されます

ラ イ ブ：ライブ配信を行い、セッションにより討議があり質問・コメントを受け付けます

③総会メインテーマ

健康・医療・介護の未来づくり：Social Joint Venture（社会的協働）

④総会 HP

<http://jsph2020.umin.jp/>

⑤事務局

実行委員会事務局・学術部会事務局

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野内
原 広司（事務局長）、中部貴央（学術担当）、佐々木典子（顧問）

運営事務局

株式会社コンベンションリンケージ内

〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町634

TEL：075-231-6357 FAX：075-231-6354

E-mail：jsph79@c-linkage.co.jp

関連・付随行事

行 事 名	日 程	
	月 日	時 間
関連行事		
日本公衆衛生学会代議員会	オンライン開催	
	2020年10月19日（月）	13:30～14:40
日本公衆衛生雑誌拡大編集委員会	オンライン開催	
	2020年10月20日（火）	12:00～13:00
公衆衛生モニタリング・レポート拡大委員会	オンライン開催	
	2020年10月21日（水）	12:00～13:00
感染症事例のリスクアセスメント研修会	オンライン開催	
	2020年10月21日（水）	8:50～10:50
保健師職能研修	オンライン開催	
	2020年10月22日（木）	13:00～15:00
自由集会	オンライン開催	
	2020年10月19日（月）～22日（木） ※詳細日時につきましては、 学会ホームページ自由集会ページをご覧ください。	
付随行事		
衛生学公衆衛生学教育協議会総会	オンライン開催	
	2020年10月19日（月）	15:30～17:30
全国衛生部長会	書面開催	
全国保健所長会	書面開催	
地方衛生研究所全国協議会	オンライン開催	
	2020年10月19日（月）	※詳細につきましてはホームページをご確認ください。
全国精神保健福祉センター研究協議会	書面開催	
全国精神保健福祉センター長会会議	オンライン開催	
	2020年10月19日（月）	※詳細につきましてはホームページをご確認ください。
全国保健統計協議会	※詳細につきましてはホームページをご確認ください。	
京都大学社会健康医学系専攻20周年記念シンポジウム 「これからの公衆衛生学－社会健康医学と New Public Health」	オンライン開催	
	2020年10月22日（木）	9:00～12:00

運営組織体制

●役員

(2020年10月1日現在)

名誉学会長	西脇隆俊	京都府知事
名誉顧問	門川大作	京都市長
学会長	今中雄一	京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学 分野教授
副学会長	松井道宣	一般社団法人京都府医師会会長
	松村淳子	京都府健康福祉部部長
	山田典子	京都市保健福祉局医務担当局長京都市保健所長
顧問 監事	湊長博	京都大学総長
	福井敏行	京都府健康福祉部健康福祉総務課参事
	工藤直之	京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室健康長寿企画課長

●実行委員会

	氏名	所属
委員長	今中雄一	京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野教授
副委員長	小野晋司	一般社団法人京都府医師会副会長
委員 (五十音順)	糸井利幸	京都府健康福祉部保健医療対策監
	安部康則	京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室担当局長(保健所次長)
	麻田博之	一般社団法人京都府理学療法士会会長
	柏本英子	一般社団法人京都府介護福祉士会会長
	河上英治	一般社団法人京都府薬剤師会会長
	熊谷幸江	公益社団法人京都府栄養士会会長
	汐見明男	京都府町村会会長(井手町長)
	清水鴻一郎	一般社団法人京都私立病院協会会長
	清水弘司	公益社団法人京都府獣医師会会長理事
	清水紘	京都府慢性期医療協会会長
	白波瀬浩幸	一般社団法人京都府臨床検査技師会会長
	白波瀬由香里	公益社団法人京都府歯科衛生士会会長
	新開幸代	公益社団法人京都府助産師会代表理事
	中島すま子	公益財団法人京都府看護協会会長
	中村佳永子	京都府精神保健福祉総合センター所長
	波床将材	京都市こころの健康増進センター所長(全国精神保健福祉センター長会理事)
	平山聡	一般社団法人京都府作業療法士会会長
	廣畑弘	京都府保健所長会会長(京都府中丹東保健所)
	福富昌城	一般社団法人京都社会福祉士会会長
	堀口文昭	京都府後期高齢者医療広域連合広域連合長
前川平	京都府保健環境研究所所長	
水谷淳	京都市衛生環境研究所所長	
村上宜男	京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室担当部長(保健所参事)	
森口次郎	一般財団法人京都工場保健会理事	
森本泰介	京都府病院協会会長	
安岡良介	一般社団法人京都府歯科医師会会長	
山崎善也	京都府市長会会長(綾部市長)	

●学術部会

	氏 名	所 属
部 会 長 委 員 (五十音順)	上 原 里 程	京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学教授
	猪 飼 宏	京都府立医科大学医療フロンティア展開学特任准教授(京都府中丹西保健所長)
	池 田 雄 史	京都市保健福祉局医務衛生推進室担当部長(保健所参事)
	岩 隈 美 穂	京都大学大学院医学研究科医学コミュニケーション学分野准教授
	石 見 拓	京都大学大学院医学研究科予防医療学分野教授
	大 坪 徹 也	京都大学医学部附属病院医療情報企画部特定講師
	岡 本 悦 司	福知山公立大学地域経営学部教授
	桂 敏 樹	京都大学大学院医学研究科人間健康科学科予防看護学分野教授
	加 藤 源 太	京都大学医学部附属病院医療情報企画部(診療報酬センター)准教授
	川 上 浩 司	京都大学大学院医学研究科薬剤疫学分野・臨床研究管理学分野教授
	川 村 孝	京都大学大学院医学研究科予防医療学分野教授
	木 下 直 子	京都府健康福祉部統括保健師長
	國 澤 進	京都大学大学院医学研究科医療経済学分野准教授
	小 杉 眞 司	京都大学大学院医学研究科医療倫理学分野・遺伝医療学分野教授
	後 藤 悦	京都大学大学院医学研究科医療経済学分野特定助教
	小 林 大 介	神戸大学医学研究科特命准教授
	早乙女 周 子	京都大学大学院医学研究科知的財産経営学分野特定教授
	坂 本 龍 太	京都大学大学院医学研究科人間生態学分野准教授
	佐々木 典 子	京都大学大学院医学研究科医療経済学分野特定准教授
	佐 藤 俊 哉	京都大学大学院医学研究科医療統計学分野教授
	里 村 一 成	京都大学大学院医学研究科健康政策・国際保健学分野准教授
	曾 根 智 史	国立保健医療科学院次長
	田 中 司 朗	京都大学大学院医学研究科臨床統計学分野特定教授
	田 原 康 玄	京都大学大学院医学研究科ゲノム情報疫学分野准教授
	田 村 寛	京都大学医学部附属病院品質管理室・病院運営企画室(眼科)特定教授
	中 条 桂 子	京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室保健担当部長
	中 部 貴 央	京都大学大学院医学研究科医療経済学分野特定助教
	中 村 佳永子	京都府精神保健福祉総合センター所長
	中 山 健 夫	京都大学大学院医学研究科健康情報学分野教授
	鍋 田 淑 華	京都市子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部担当部長
	波 床 将 材	京都市こころの健康増進センター所長(全国精神保健福祉センター長会理事)
	林 田 賢 史	産業医科大学病院医療情報部部長
	原 広 司	京都大学大学院医学研究科医療経済学分野(産官学連携本部)特定助教
原 田 浩 二	京都大学大学院医学研究科環境衛生学分野准教授	
廣 瀬 昌 博	島根大学医学部医学科地域医療政策学講座教授	
廣 畑 弘	京都府保健所長会会長(京都府中丹東保健所)	
古 川 壽 亮	京都大学大学院医学研究科健康増進・行動学分野教授	
前 川 平	京都府保健環境研究所所長	
三 沢 あき子	京都府山城南保健所所長	
水 谷 淳	京都市衛生環境研究所所長	
村 上 玄 樹	産業医科大学病院医療情報部副部長	
森 島 敏 隆	大阪国際がんセンターがん対策センター政策情報部副部長	
山 本 洋 介	京都大学大学院医学研究科医療疫学分野准教授	
渡 邊 能 行	京都先端科学大学健康医療学部教授	

参加される方へのお知らせ

総会 HP (<http://jsph2020.umin.jp/>) より詳細ご確認ください。

1. 第79回学会総会にご参加の皆様へ

(1) 参加登録

オンライン学会への参加は、参加登録を行っていただいた方のみ可能です。

参加登録時にメール送付される、参加登録 ID、後日お送りするパスワードは紛失しないようにしてください。

- ・9月15日までに参加登録を行っていただいた方には、事前に「抄録集」が送付されます。
- ・参加登録をされてない方は、学会ホームページにて参加登録をお済ませください。
- ・9月16日以降登録の方は、抄録集は先着順で会期後送付されます。定数を超過した登録がある場合、抄録集は PDF でのご提供となります。あらかじめご了承ください。

(2) オンライン懇親会・表彰式

本総会では、参加者の皆様にプログラム以外でも学术交流の場を提供させていただきたく、以下の通りオンライン懇親会・表彰式を開催いたします。

日 時：10月21日（水）18:00～

会 場：オンラインにて

2. 登壇者のみなさまへ

- ・総会 HP ホームページ「ご登壇者へのご案内」欄をご確認いただきますようお願いいたします。
(<http://jsph2020.umin.jp/>)

3. 症例報告をする際の個人情報の取扱いに関する留意点

以下の各項目に記述された事項は、可能な限り遵守してください。

- 1) 対象者個人の特定可能な氏名、病院名、入院番号・診療番号・検査番号等、イニシャルまたは「呼び名」は記載しない。
- 2) 対象者の住所は記載しない。但し、疾患の発生場所が病態等に関与する場合は都道府県名、二次医療圏名までを記載することを可とする。
- 3) 日付は、対象疾患の経過を知る上で必要となることが多いので、個人が特定できないと判断される場合は年月までを記載してよい。
- 4) 他の情報と診療科名を照合することにより対象者が特定され得る場合、診療科名は記載しない。
- 5) 対象者の顔写真を提示する際には目を隠す。眼疾患の場合は、顔全体が分からないよう眼球のみの拡大写真とする。
- 6) 対象者を特定できる生検、剖検、画像情報に含まれる番号などは削除する。
- 7) 対象者の職業歴、既往歴、家族歴、宗教歴、生活習慣・嗜好は、報告対象疾患との関連性が薄い場合は記述しない。

公衆衛生的視点から是非必要であり上記の配慮が一部困難な場合、もしくは上記の配慮をしても個人が特定化される可能性のある場合は、発表に関する同意を対象者自身（または代理人、小児では保護者）から得たことを明記する。

4. 「COIに関する開示」について

日本公衆衛生学会「公衆衛生学研究のCOI（利益相反）に関する指針と細則（<https://www.jsph.jp/about/coi/index.html>）」に従って全ての発表者（筆頭演者および共同演者）は、事前と当日にCOIに関しての自己申告と開示をしてください。詳細は日本公衆衛生学会までお問い合わせください。

日本公衆衛生学会
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8 公衛ビル内
TEL：03-3352-4338 FAX：03-3352-4333
URL：http://www.jsph.jp/

■スライド開示例

発表者のCOIの開示について

日本公衆衛生学会
COI 開示
発表者名：公衆太郎，衛生次郎，健康三郎
演題発表に関連し、発表者らに開示すべき
COI 関係にある企業などはありません。

日本公衆衛生学会
COI 開示
発表者名：公衆太郎，衛生次郎，健康三郎
演題発表に関連し、発表者らが開示すべき
COI 関係にある企業等は下記です。

(開示例)

発表者全員，過去3年間を一括して
講演料：A 会社，B 会社
原稿料：C 会社
奨学寄附金：B 会社，D 会社

■ポスター開示例

ポスター左上に記載指定場所に「演題発表に関連し、発表者らに開示すべきCOI 関係にある企業などはありません。」もしくは、「演題発表に関連し、発表者らが開示すべきCOI 関係にある企業等は下記です。」と記載する。

5. 取得単位について

○日本公衆衛生学会公衆衛生学専門能力認定について

本総会では、総会出席（25ポイント）、一般演題筆頭演者（30ポイント）、一般演題共同演者（15ポイント）が認められます。

○社会医学系専攻医・専門医・指導医のつどい（指導医講習会）

講習単位（K 単位）1単位

日時：2020年10月20日（火）18:10～19:05（オンデマンド配信も予定）

※他に、教育セッションなどでもK 単位が取れます。

※第79回学会総会ホームページでご確認ください。

○その他、計画中の認定制度など

日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度研修会

※第79回学会総会ホームページでご確認ください。

日程表

前日：10月19日（月）

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00
第1会場					
第2会場					
第3会場					

第1日目：10月20日（火）

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00
第1会場	開会式	総会	<small>10</small> <small>50</small> 定刻 学会長講演 健康医療介護の 未来づくり： 社会的協働 演者：今中雄一	定刻 特別講演 I COVID-19の対策： これまでそしてこれから 演者：尾身 茂	
第2会場				<small>05</small> ライブ スポンサーセッション1 ハイスク者への効果的な「保健指導」を考える～ JHAPP研究「疫学行動医学モデル」を中心に アムジェン株式会社・ アステラス製薬株式会社	<small>55</small>
第3会場				定刻 スポンサーセッション2 地域連携が病院経営を 左右する時代に 野村ヘルスケア・サポート& アドバイザリー株式会社	
第4会場				定刻 スポンサーセッション3 新型コロナウイルス院内感染対策 ～公衆衛生と地域医療の連携～ 公益社団法人 地域医療振興協会	
第5会場				定刻 スポンサーセッション4 脳卒中予防に関する啓発活動 -企業としての取り組み パイエル薬品株式会社	
第6会場				日本公衆衛生 雑誌拡大編集委員会	
一般演題 口演	<small>50</small> 一般演題（口演） オンデマンド				
一般演題 示説	一般演題（示説） オンデマンド				

オンデマンド：会期中、時間に関係なくいつでもご覧いただけます
 定 刻：時間通りに配信されます
 ラ イ ブ：ライブ配信を行い、セッションにより討議があり質問・コメントを受け付けます

※2020年9月10日時点の情報です。最新情報は総会ホームページをご確認ください。

13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
	30	40					30	
	代議員会					自由集会2 公衆衛生に国境はない		
			自由集会1 結核集団発生の対策に関する自由集会			自由集会3 離島医療について考える (新型コロナウイルス感染症他の診療・搬送等を踏まえて)		
					自由集会4 普及と実装科学としての政策移転と先進優良事例の横展開を考える			

13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
	10		50			10	10	
教育講演A1-3 持続可能な福祉社会 —コロナ後の社会構想と人口減少社会のデザイン 演者：広井良典	特別講演Ⅱ 柏プロジェクトの今後の展開：地域包括ケアシステム 演者：辻 哲夫	特別講演Ⅲ 京都府におけるスマートシティづくり 演者：山下晃正	メインシンポジウムⅠ 健康医療介護とスマートシティ・まちづくり 座長：辻 哲夫、今中雄一		自由集会5 ～知ろう 語ろう 取り組もう～ —歩先行く健やか親子21(第2次) 第4回 健やか親子21(第2次)と成育基本法			
シンポジウムA2-3 これからの検疫を考える—COVID-19の経験から— 座長：垣本和宏、上野健一	シンポジウムA2-4 地方衛生研究所研修フォーラム「新型コロナウイルス感染症への対応と課題」 座長：四宮博人、調 恒明	シンポジウムA2-5 ダイヤモンド・プリンセス号におけるCOVID-19への対応 座長：中澤よう子、大久保一郎	社会医学系専攻医・専門医・指導医のつどい 【指導医講習会】		自由集会10 公衆衛生医師の集い			
シンポジウムA3-3 超高齢社会と人口偏在社会における複合災害への備えをどうするか 座長：安村誠司、高島毛敏雄	シンポジウムA3-4 地域包括ケアと災害医療対策1：更なる広がりを目指して 座長：松本良二、佐藤拓代	シンポジウムA3-5 地域包括ケアと災害医療対策2：多職種連携の展開はリハ専門職、保健師、そして福祉へ 座長：松本良二、石田久美子	自由集会6 保健医療福祉専門職としての薬剤師活動を考える会					
シンポジウムA4-3 多施設DPCデータ活用の実践と今後の展望 座長：猪飼 宏、佐々木典子	シンポジウムA4-4 成育基本法と健やか親子21 座長：山縣然太郎、市川香織	シンポジウムA4-5 改正健康増進法、全面施行！進捗評価と今後の推進方策 座長：田淵貴大、姜 英	自由集会7 公衆衛生における歯科保健を考える～行政に勤務する歯科職種の人材育成～					
教育講演A5-3 高齢者研究を続ける中で、やっぱり気になる子どもたち 演者：木村みさか	シンポジウムA5-4 ペットと人の健康におけるエビデンス構築の展望 座長：小林真朝				自由集会8 東日本大震災と新型コロナウイルス感染症対策から今後の公衆衛生看護活動のあり方を検討する			
					自由集会9 男性保健師の会			
一般演題 (口演) <input type="checkbox"/> オンデマンド								
一般演題 (示説) <input type="checkbox"/> オンデマンド								

第2日目：10月21日（水）

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00
第1会場	50		50		
	感染症事例のリスクアセスメント研修会		定刻 ライブ		
第2会場	50	55	55	05	55
	定刻	定刻	定刻	定刻	定刻
	教育講演B2-1 The planet, economic growth and our health: learning from the Japanese experience 演者：Eric Brunner	教育講演B2-2 地域包括ケアと医療・介護のデータベース活用 演者：松田晋哉	教育講演B2-3 地域住民を対象とした大規模認知症コホート研究の展開 演者：二宮利治	スポンサーセッション5 腸内環境を介した免疫制御の理解とウィズコロナ時代に向けた生体防御システムの構築 株式会社はくばく	
第3会場	定刻	定刻	定刻	定刻	ライブ
	教育講演B3-1 環境要因と遺伝要因の相互作用から探る予防医学 演者：原田浩二	教育講演B3-2 行動経済学と健康：ナッジ、インセンティブとその背景 演者：後藤 励	教育講演B3-3 データヘルス時代の母子保健情報の利活用 演者：山縣然太郎	スポンサーセッション6 脂肪肝をターゲットとした新しい健康戦略 - 佐久スマートプロジェクトとその展開 - 株式会社メディカルメンバーシステム	
第4会場	30		定刻 ライブ		
	優秀口演賞選考会				
第5会場	定刻 ライブ	20 30	定刻 ライブ	定刻 ライブ	定刻 ライブ
	シンポジウムB5-1 難病対策地域協議会を活かす取り組み 座長：鈴木仁一、江口 尚		シンポジウムB5-2 睡眠と健康を考える 座長：谷川 武、兼板佳孝	スポンサーセッション7 社会的協業によるヘルスケアの可能性 - 一般財団法人日本予防医学協会	
第6会場	定刻 ライブ		定刻 ライブ		
	シンポジウムB6-1 地域包括ケア時代における高齢者就労の現状と課題 座長：藤原佳典、服部真治		シンポジウムB6-2 6ナショナルセンターが連携して行う医療政策研究と情報提供 座長：植木浩二郎、東 尚弘		
第7会場	定刻 ライブ		定刻 ライブ		
	シンポジウムB7-1 健康経営と地域・職域連携 座長：仁賀建夫、津下一代		シンポジウムB7-2 地域共生社会に向けた「保健活動」の他分野連携戦略と戦術 座長：大澤絵里、藤原佳典		
第8会場	定刻 ライブ		定刻 ライブ		
	シンポジウムB8-1 Life-course Immunizationの実現に向けて～生涯を通じた予防接種の重要性～ 座長：角野文彦		シンポジウムB8-2 社会的協働による健康都市・空間デザインの可能性 座長：近藤克則、岡野郊子		
第9会場					公衆衛生 モニタリング・レポート 拡大委員会
一般演題 口演	一般演題（口演） <input type="checkbox"/> オンデマンド				
一般演題 示説	一般演題（示説） <input type="checkbox"/> オンデマンド				

オンデマンド：会期中、時間に関係なくいつでもご覧いただけます
 定 刻：時間通りに配信されます
 ラ イ ブ：ライブ配信を行い、セッションにより討議があり質問・コメントを受け付けます

※2020年9月10日時点の情報です。最新情報は総会ホームページをご確認ください。

13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
	10	40						
定刻 ライブ 特別講演Ⅳ 医療研究開発に おける AMEDの取り組み 演者：三島良直	定刻 ライブ 教育講演B1-5・研修会 あなたを活かす 国際キャリア形成の手ほどき 演者：中谷比呂樹					ライブ オンライン 懇親会・表彰式		
定刻 教育講演B2-4 新興感染症の制御 と数理モデル：SARS、 MERS、COVID-19 演者：西浦 博	定刻 教育講演B2-5 健康の社会的要因 (Social Determinants of Health: SDH) 演者：近藤克則							
定刻 教育講演B3-4 まちぐるみの認知 症予防と共生社会 演者：玉井 顯	定刻 教育講演B3-5 気候変動と健康 ～グローバル＆ ローカルの視点から～ 演者：橋爪真弘	定刻 教育講演B3-6 オーラルフレイル 予防の必須対策： 公衆衛生的アプローチ 演者：三浦宏子						
定刻 奨励賞受賞講演	定刻 ライブ 国際参加賞 受賞者セッション							
				20	50			
定刻 ライブ シンポジウムB6-3 いま、社会医学系 医師を考える 座長：磯 博康、今中雄一	定刻 ライブ シンポジウムB6-4 日本における最近の 低出生体重の現状分析と 出生コホート連携の展望 座長：栗山進一、岸 玲子	定刻 ライブ シンポジウムB6-5 生きることの包括的支援と 社会的協働 -その未来づくりに向けて 座長：金子善博、本橋 豊						
定刻 ライブ シンポジウムB7-3 高齢者の保健事業と 介護予防の一体的な 実施の推進に向けて 座長：新開省二、安田誠史	定刻 ライブ シンポジウムB7-4 改めて問う、 「保健指導」の意義と役割 座長：磯 博康、表志津子	定刻 ライブ シンポジウムB7-5 公衆衛生分野におけるナッジ 活用の現状と可能性：政策への 応用と産官学連携に向けて 座長：村山洋史						
定刻 ライブ シンポジウムB8-3 新型インフルと 新型コロナから ～未来への教訓～ 座長：稲葉静代、伊東則彦	定刻 ライブ シンポジウムB8-4 現場の活動からCOVID-19 対応の社会的協働を展望する 座長：古屋好美、中瀬克己	定刻 ライブ シンポジウムB8-5 JAPAN-CDCの 創設に向けて： アカデミアからの提言 座長：門田守人、森本兼義						
一般演題（口演） <input type="checkbox"/> オンデマンド								
一般演題（示説） <input type="checkbox"/> オンデマンド								

第3日目：10月22日（木）

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00
第1会場					
第2会場			30	05	55
第3会場	50	20			
第4会場					
第5会場					
第6会場					
一般演題 口演				一般演題（口演）	オンデマンド
一般演題 示説				一般演題（示説）	オンデマンド

オンデマンド：会期中、時間に関係なくいつでもご覧いただけます
 定 刻：時間通りに配信されます
 ラ イ ブ：ライブ配信を行い、セッションにより討議があり質問・コメントを受け付けます

※2020年9月10日時点の情報です。最新情報は総会ホームページをご確認ください。

13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
	10	10 20	50		30 40		10	
市民公開講座Ⅰ 人生100年時代を健康に生きる ～食・運動・地域の繋がりを考える～ 演者：鎌田 實	市民公開講座Ⅱ 「森林と健康」EBMに立脚したShinrin-yoku(森林浴)について 演者：今井通子	メインシンポジウムⅡ 新型コロナウイルス感染症感染の実像を考える 座長：中島一敏、前田秀雄	メインシンポジウムⅢ 新型コロナウイルス感染症対策と地域社会における連携 座長：高島毛敏雄、白井千香			自由集会12 へき地保健師のつどい		
シンポジウムC2-3 公衆衛生活動と専門職教育の統合：新型肺炎対応をきっかけとして 座長：橋本英樹、古川壽亮	シンポジウムC2-4 災害・事故時の化学物質のリスク評価・管理 ～河川や大気のリスクの見える化～ 座長：奥村二郎、鈴木規之					自由集会13 アクションリサーチにおける住民主体とリーダーシップ		
シンポジウムC3-3 薬機法改正と社会資源としての薬剤師との協働による公衆衛生の向上及び増進 座長：川崎直人、多根井重晴	シンポジウムC3-4 10年後に目指すべき自治体管理栄養士の姿を考える 座長：由田克士、澁谷いづみ					自由集会14 大規模災害時の保健医療調整に向けた保健所の取組と実践		
シンポジウムC4-3 医療計画とがん計画の中間評価～あるべきインパクト評価とEBPM普及への道～ 座長：今村知明、埴岡健一	シンポジウムC4-4 「健康長寿・笑顔のまち・京都」の実現に向けた地域の健康関連データの有効活用 座長：中山健夫、中条桂子					自由集会15 公衆衛生活動における開業保健師の可能性と展望		25
シンポジウムC5-3 スマホ・ネット・ゲーム依存対策の社会的協同～学術知見から実地臨床まで～ 座長：井谷 修、尾崎米厚	シンポジウムC5-4 年代別の引きこもりの疾患、予防・対策 座長：堤 明純、野村恭子					自由集会16 住民とともに活動する保健師の会：「人生を育むための教育」教材を用いて、子どもたちの人生を守ろう		55
保健師職能研修						自由集会17 全国衛生行政研究会セミナー		
一般演題（口演） <input type="checkbox"/> オンデマンド								
一般演題（示説） <input type="checkbox"/> オンデマンド								

自由集会の日程

○お申し込み・お問い合わせはホームページ・各代表世話人へご連絡ください。

10月19日（月） 15:00–16:00

No.	自由集会の名称	代表世話人名	代表世話人連絡先
1	結核集団発生の対策に関する自由集会	加藤 誠也 (公益財団法人結核予防会結核研究所)	TEL 042-493-5704 FAX 042-492-4600 E-mail: yhoshino@jata.or.jp
	<p>結核の集団発生における様々な事例を取り上げながら、発生の状況や対策の進め方などを振り返ると共に、今後の対策のあり方を参加者と情報共有することを目的とします。</p> <p>今回は、「京都市内の医療機関から発生した集団感染事例」と、「東京都のK ネットを活用した MDR 集団感染事例の広域連携」について取り上げます。ZOOM ミーティングのチャット機能により、講演者へのご質問も可能です。</p> <p>ご参加いただく場合は、事前にメールでご所属、ご氏名をお知らせください。折り返し、返信メールにてパスコードをお知らせします。この集会のご案内チラシは結核研究所 HP (https://jata.or.jp/tp_list.php) に掲載しております。参加登録先メールアドレス: yhoshino@jata.or.jp 担当: 星野 ミーティング URL: https://zoom.us/j/98361302435 ミーティング ID: 983 6130 2435</p> <p>ZOOM ミーティング・ソフトウェアにつきましては、事前にご確認ください。スマートフォン、タブレットでもご参加いただけます。</p>		

10月19日（月） 18:00–19:30

No.	自由集会の名称	代表世話人名	代表世話人連絡先
2	公衆衛生に国境はない	大西真由美 (長崎大学生命医科学域 (保健学系))	TEL 095-819-7943 FAX 095-819-7907 E-mail: mohnishi@nagasaki-u.ac.jp
	<p>「感染症とユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC)」</p> <p>グローバル社会における感染症との付き合い方と“だれ一人取り残さない”ためのユニバーサルヘルスカバレッジの役割について考える。</p> <p>【話題提供者 (予定)】</p> <p>1) エボラウイルス病だけではない、コンゴ民主共和国 (仲佐 保氏)</p> <p>2) 感染症と文明-共生の道をさぐる (山本太郎氏)</p> <p>3) 現場最前線: 新型コロナ対策 (都内保健所長等を予定)</p>		
3	離島医療について考える (新型コロナウイルス感染症他の診療・搬送等を踏まえて)	伊東 則彦 (道立江差保健所・江差高等看護学院)	TEL 0139-52-1053 FAX 0139-52-1074 E-mail: ruebenrumoito@hotmail.com
	<p>離島医療機関において、新型コロナウイルス感染症に係る診療及び搬送については、医療従事者、病床、設備等大きな制約、隘路が有る。感染症病床無し、人工呼吸器無しも多い。PCR 検体の衛生研究所等への配送もより日数が掛かる。更には、合併症、重症患者 (擬似症を含む) において、離島から本土の感染症病床有り基幹病院等搬送においても、救急車～航空機又は巡視船等～救急車への手配、同乗を要する。その際、悪天候を踏まえ、搬送に係る海上保安署、消防その他との調整、交渉についても多くの難題、課題を有する。先ず、奥尻島の南檜山二次医療圏より話題提供したい。</p>		

10月19日（月） 18:00–19:00

No.	自由集会の名称	代表世話人名	代表世話人連絡先
4	普及と実装科学としての政策移転と先進優良事例の横展開を考える	岡本 玲子 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)	TEL 06-6879-2550 E-mail: reiko@sahs.med.osaka-u.ac.jp
	<p>エビデンス・プラクティスギャップの解決のため、アメリカを中心に1990年代より D&I 科学 (Dissemination and Implementation science: 普及と実装科学) が発展してきている。2009年には CFIR (Consolidated Framework for Implementation Research: 実装研究統合枠組み) が考案され、各国の保健事業やプログラムの実装や評価に活用されている。</p> <p>本自由集会では、保健師を対象としたエビデンスに基づく D&I の実態調査の結果を提示し、参加者と、今後 D&I を推進するための、政策移転や先進優良事例の横展開の方向性や、学習支援モデルについて検討する。</p>		

10月20日（火）18:10-19:10

No.	自由集会の名称	代表世話人名	代表世話人連絡先
5	～知ろう・語ろう・取り組もう～一歩先行く 健やか親子21（第2次） 第6回 健やか親子21（第2次）と成育基本法	山縣然太郎 (山梨大学大学院総合研究部医学域社会学講座)	TEL 055-273-9566 FAX 055-273-7882 E-mail: zenymgt@yamanashi.ac.jp
	～知ろう・語ろう・取り組もう～一歩先行く 健やか親子21（第2次）の自由集会は、今年で第6回目を迎えます。昨年は、健やか親子21（第2次）の中間評価を受けて、これまでの振り返りと、これからの取り組みの方向性を話し合いました。今年も、2019年12月1日から施行されている成育基本法のもとでの健やか親子21（第2次）の在り方について皆様と語り合いたいと思います。成育基本法の基本的施策に挙がっている「成育過程にある者等に対する保健」や「教育及び普及啓発」は、まさに健やか親子21（第2次）が国民運動計画として取り組んできている領域であり、今後は成育基本法に後押しされる形で益々発展していくことが期待できそうです。また、今年も新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う社会活動の大きな変化があり、母子保健への影響も見逃せない状況です。このことについても時間の許す限り、皆様と情報共有を図りたいと思います。行政、教育・研究機関等問わず、多くの皆様のご参加をお待ちしております。		
6	保健医療福祉専門職としての薬剤師活動を考える会	戸張 裕子 (東京薬科大学薬学部)	TEL 042-676-5152 E-mail: tobari@toyaku.ac.jp
	薬剤師は「薬の専門家」として、医療機関や薬局だけでなく、製薬企業、医薬品などの卸・販売業、薬事、食品、環境関係の行政や試験研究部門、学校など様々な分野で地域住民の健康の向上及び増進に寄与すべく活躍しています。薬学教育6年制導入後、医療分野で活躍する薬剤師の養成は進んでいます。地域住民の健康の保持・向上及び増進に寄与する「保健医療福祉専門職」としての活動は、まだ発展途上の段階と言えます。今回、公衆衛生分野において活動を行っている薬剤師の先生方と情報交換を行い、「保健医療福祉専門職」の一員として薬剤師の職能を生かした活動を広めるために自由集会を企画しました。世話人より「禁煙支援サポート薬剤師」の養成活動について話題提供を致しますが、参加者の相互ネットワークづくりを主な目的としておりますので、参加者の皆さんからの話題提供を歓迎いたします。この機会に一人でも多くの薬剤師が集まり、情報交換ができることを期待しています。		

10月20日（火）18:10-19:40

No.	自由集会の名称	代表世話人名	代表世話人連絡先
7	公衆衛生における歯科保健を考える～行政に勤務する歯科職種の人材育成～	福田 英輝 (国立保健医療科学院)	TEL 048-458-6208 E-mail: fukuda.h.aa@niph.go.jp
	全国の地方公共団体（以下、行政とする）に勤務する歯科医師・歯科衛生士の配置状況や業務は、都道府県、市区町村ごとに異なり、画一化することが困難な状況にあります。人材育成についても全国的な実態の把握はなされていません。さらに、行政の歯科医師・歯科衛生士は少数職種であることから、必ずしも同職種による人材育成が成り立つわけではなく、職種として、また職位に応じて求められる能力を獲得する体制がないことが大きな課題となっています。昨年度、全国行政歯科技術職連絡会では、行政に勤務する歯科職種の中で最も会員数が多い、市区町村歯科衛生士を対象に新任期人材育成ガイドラインを作成しました。ガイドラインでは、行政の歯科衛生士として最終的に目指すのは、歯・口腔の健康だけに留まらず『住民が幸せに暮らせるまちづくり』であるとし、将来的に政策づくりを担う人材へと成長することを掲げました。以前は、市区町村の歯科衛生士の業務は対人サービスが多くを占めていましたが、現在は地方公共団体の職員としての基本的な能力をベースに、庁内の部署間連携はじめ、地域の関係団体及び多職種との連携といった企画調整に関する業務が増えています。歯と口に関する専門職として住民に寄り添い、将来的に政策づくりの担い手として活躍するためには、行政の歯科衛生士全体のボトムアップを図ると共に、各地方公共団体の実情に合った人材育成マニュアルなどを作成することが必要です。本会ではガイドライン作成の経緯と活用について紹介し、多職種で係る人材育成について意見交換を図りたいと考えています。		

10月20日（火）18:10-19:55

No.	自由集会の名称	代表世話人名	代表世話人連絡先
8	東日本大震災と新型コロナウイルス感染症対策から今後の公衆衛生看護活動のあり方を検討する	渡會 睦子 (住民とともに活動する保健師の会（東京医療保健大学医療保健学部）)	TEL 090-2272-0122 FAX 03-5421-3133 E-mail: m-watarai@thcu.ac.jp
	東日本大震災と新型コロナウイルス感染症対策の共通点から今後の公衆衛生看護活動のあり方を検討する 新型コロナウイルス感染症が世界中にもたらした災禍は、多くの命・健康をうばい、経済を含む国民の生活を揺るがす問題を生じさせた。また、復興途上にある東日本大震災（以下、3.11）の被災地も容赦なく襲い、原発事故後の原子力緊急事態宣言発令後の状況と同じように新型コロナウイルスでの緊急事態宣言下での自粛の中でも、「不安」「不信」「差別」「排除」「分断」等の様々な課題を生じさせた。3.11時も、今回の新型コロナウイルス感染症への対応においても、保健師たちは、刻々と変化する状況の中で生命にかかわるリスク対応が求められ、それぞれの現場で地域住民の命を守ることを再優先とする公衆衛生活動を行ってきた。双方とも混沌とした中で対策を作り上げ、その後も通常の住民の生活・健康を取り戻すための長期的対策が必要である点でも共通する点が多い。私たちは、第76、77、78回の本学会では、公衆衛生看護活動のあり方について考えるシンポジウムや自由集会を開催し、東北3県（福島県・宮城県・岩手県）での取り組みから、地域での保健活動の現状と課題を共有し今後の震災に備えた公衆衛生活動のあり方について考えてきた。本自由集会では、9年が経過した東日本大震災後の活動に加え、新型コロナウイルス感染症対策において東京都で指揮を取った保健師の報告を受け、今後の中長期視点での公衆衛生看護活動のあり方について探る。 1.新型コロナウイルス感染症への東京都・その他保健所の公衆衛生活動 2.東日本大震災における福島県・宮城県・岩手県の中長期的対策 3.住民の通常の生活・健康を取り戻すための、中長期視点での公衆衛生看護活動のあり方を探る		

10月20日 (火) 18:10-19:40

No.	自由集会の名称	代表世話人名	代表世話人連絡先
9	男性保健師の会	桂 敏樹 (天理医療大学)	TEL 075-751-4154 E-mail : hosokawa.rikuya.4r@kyoto-u.ac.jp
	<p>背景： 男性保健師の活躍の場は多様化してきています。本会では、全国の男性保健師が集い、男性保健師の視点や強みを活かした活動などについての情報共有やネットワークづくりを行いたいと考えています。本会は、2013年より開始し、本年で8回目を迎えます。</p> <p>目的： 男性保健師の情報共有・ネットワークづくり</p> <p>対象： 男性保健師だけでなく、学生、大学教員、女性の方なども大歓迎です。</p> <p>内容： 「男性保健師の強みを活かした保健師活動」をテーマに、現場で活躍する男性保健師に活動紹介をしてもらい、その後、全体でのディスカッションを予定しています。</p>		

10月20日 (火) 19:20-20:20

No.	自由集会の名称	代表世話人名	代表世話人連絡先
10	公衆衛生医師の集い	武智 浩之 (群馬県利根沼田保健福祉事務所)	TEL 0278-23-2185 FAX 0278-22-4479 E-mail : takechi-hiroyuki@pref.gunma.lg.jp
	<p>全国保健所長会の地域保健総合推進事業「公衆衛生医師の確保と育成に関する調査及び実践事業」研究班が主催する自由集会で、今年度で8回目になります。全国の公衆衛生医師が集い、自由に発言できる場は限られることから、次第に参加人数も増加し、毎回活発な意見交換や情報共有が行われ、参加者から好評を得ています。また、本会は、公衆衛生医師同士が交流を深め、ネットワークを形成するための場にもなっており、公衆衛生医師としてのモチベーションの維持高揚や日常業務に役立つ情報収集の場として活用いただいています。</p> <p>今年度も「公衆衛生医師の確保に向けた自治体の取組」(仮)をテーマにします。全国には公衆衛生に関心を持つ医学生、医師を増やし、集めようと様々な取組を進めている自治体があります。実際に独自の取組を行っている自治体職員に講師をお願いし、工夫している点や実施上の課題、関係機関との連携の仕方等について発表していただく予定です。公衆衛生医師の確保に苦勞している自治体の参考となるよう、情報共有・意見交換する機会にしたいと考えています。</p>		

10月22日 (木) 9:00-12:00

No.	自由集会の名称	代表世話人名	代表世話人連絡先
11	京都大学社会健康医学系専攻20周年記念シンポジウム「これからの公衆衛生学-社会健康医学とNew Public Health」	佐藤 俊哉、古川 壽亮 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻)	TEL 075-753-4454 FAX 075-753-4455 E-mail : heqm-office@umin.net
	<p>京都大学の社会健康医学系専攻は、2000年に我が国初の公衆衛生大学院 School of Public Health として設立された。疫学、統計、倫理、経済、政策、情報、行動、環境、国際など多分野をもって包括的に健康、医療、福祉の課題を研究し、高度専門人材を育成する専門職大学院(2003までは専門大学院)として設置された。わが国の大学院として初めて Master of Public Health (MPH)、Doctor of Public Health (DrPH) を輩出するようになり、多くの大学院で MPH を出すべく公衆衛生の人材育成プログラムが生まれ、現在、5つの専門職大学院を含む約20の大学院で MPH (またはそれに相当) を出すようになった。20周年を記念し、これからの公衆衛生学-社会健康医学を議論する。</p>		

10月22日 (木) 18:40-20:10

No.	自由集会の名称	代表世話人名	代表世話人連絡先
12	へき地保健師のつどい	中村 好一 (自治医科大学)	TEL 080-5074-7457 E-mail : hekichihokenshi@gmail.com
	<p>Covid-19により私たちの生活は大きく変わりました。へき地・離島は、もともと医療資源が乏しいうえに、保健所が地区内にはないところがほとんどです。へき地・離島で感染症が発生すると、どういったことが問題となるのでしょうか。今回のつどいでは、離島での感染症発生時の保健師活動の紹介をした後、へき地・離島での感染症対応について話し合い、明日からの活力を得る場としたいと思います。へき地での保健師活動に関心のある方なら、職種問わず、是非ご参加ください。</p> <p>世話人：青木さき里 (自治医科大学)、大野祐子 (NPO 法人へき地保健師協会)、五藤幸根 (NPO 法人へき地保健師協会)、櫻井純子 (NPO 法人へき地保健師協会)</p>		
13	アクションリサーチにおける住民主体とリーダーシップ	柴 喜崇 (北里大学医療衛生学部)	TEL 042-778-9693 E-mail : y-shiba@kitasato-u.ac.jp
	<p>【アクションリサーチ】 アクションリサーチとは、地域が抱える問題・課題の発見から活動の計画、解決のための行動、そしてその評価等、そのすべての段階において解決の糸口を与える手段といえます。</p> <p>本集会上では、アクションリサーチにおける住民主体の活動を展開するうえで、リーダーの存在が必須であることから、まず、リーダーシップとは何かについて概説し、住民が主体となり自主的な活動を20年以上にわたり運営しているグループについて、特にリーダーに共通する資質とは何なのかについて考えます。最後にリーダー養成のあり方やリーダー養成に必要な視点について話題を提供いたします。</p> <p>ここ十数年、人口構造の変化により人口減少が進み右肩下がり時代の時代にご必要といえる地域住民のニーズから生じた仮説生成を如何に再構築し直すのかという視点、その一つの回答がアクションリサーチであるといえるのではないのでしょうか。限られた時間ではございますが本集会通过して、その基本から実際をお復習し、明日からの研究・実践活動に活かすことができるのであれば世話人として望外の幸せてございます。</p> <p>なお、総勢60名ほどのアクションリサーチに関心を持たれる方々(専門家および実践家)のメーリングリストを運営しております。是非こちらにもご参加いただきメーリングリストでの連絡を取り合い情報共有のプラットフォームとなることを願っております。</p> <p>【さらに勉強を深めるために】 芳賀博(編著)：アクションリサーチの戦略-住民主体の健康なまちづくり- 株式会社 ワールドプランニング、2020年3月10日第1版</p>		

No.	自由集会の名称	代表世話人名	代表世話人連絡先
14	大規模災害時の保健医療調整に向けた保健所の取組と実践	三沢あき子 (京都府山城南保健所)	TEL 0774-72-4300 FAX 0774-72-8412 E-mail : amisawa@koto.kpu-m.ac.jp
	<p>熊本地震の検証後、厚生労働省通知「大規模災害時の保健医療活動に係る体制の整備について」(H29年7月)により、被災都道府県は保健医療調整本部を設置すること、保健所は圏域の市町村及び関係機関と連携して保健医療調整を行うことが示されました。地域保健総合推進事業や全国保健所長会による研修等のバックアップもあり、保健所での平時からの災害時に備えた関係機関との連携の取組が進められています。また、保健所が把握している難病患者、小児慢性特定疾病児童等への市町村との情報共有の仕組みも必要とされています(H31年4月 事務連絡「難病患者等に係る避難支援等体制の整備について」)。</p> <p>このような背景を踏まえ、第72回近畿保健所長会総会の京都府提案議題として「大規模災害時の保健医療調整に向けた保健所の取組」に関するアンケート調査を対象として実施し(令和2年2~3月)、近畿圏内55保健所から返信をいただきました(回収率87%)。災害時の保健医療体制について関係機関との協議する場を「設置している」が75%、「今後設置予定」を含めると89%、大規模災害を想定した保健医療体制に関わる訓練も87%で実施されていました。H28年4月以降(熊本地震含む)の被災地応援「あり」は98%におよび、最近3年間の健康危機管理対応を行った災害の経験「あり」は42%でした。また、難病・小児慢性特定疾病(以下、小慢)患者等の災害時避難支援体制に関する協議実施:76%、在宅人工呼吸器使用患者の災害時の電源確保を含めた個別支援計画策定支援「ほぼ全員策定」:45%・「一部策定」:40%、難病・小慢患者等の災害時避難訓練実施は33%でした。</p> <p>自由記載には多くの取組やご意見・ご提言をいただいております、工夫、実践、成果、課題及び好事例などを共有し、災害時の近隣府県間での円滑な連携支援体制につなげる機会として、自由集會を企画します。</p>		

10月22日(木) 18:40-20:25

No.	自由集会の名称	代表世話人名	代表世話人連絡先
15	公衆衛生活動における開業保健師の可能性と展望	井倉 一政 (岐阜協立大学)	TEL 0584-84-2550 E-mail : info@jhna.net
	<p>保健師の働き方は、「みる・つなぐ・動かす」と言われています。かつて、私たちが保健所で勤務していた時代にも、地域の健康課題をみつけ、その課題に関連する関係機関や地域資源につなぎ、解決に向けての動きを作り出してきました。しかし、時に、地域の既存の制度やサービスに限界を感じることがありました。また、自治体の首長が交代したり、制度の見直し等で、予算の動きが大きく変わると、昨日まで地域住民が必要とし、取り組んできた地域保健活動から撤退しなければならないという局面にも何度か遭遇してきました。その時に感じた無力感、社会的課題の解決に貢献したいという保健師の志をしばしば揺るがし、疲弊と諦めをもたらしました。</p> <p>開業保健師は、自身が「社会的課題」と認識した事象を、既存の制度やサービスの中で解決できないとなると、何が必要かを考え、行動し、新しいしくみやサービスを創り出しています。それは、地域の中で新たなしくみやサービスを構築してきた先輩保健師たちが実践してきた地域保健活動、すなわち、個人の健康課題という点を、担当地域の中で線にし、組織の中で面にし、展開してきました。それは、保健師本来の役割であることに気づかされます。</p> <p>開業保健師という働き方自体は新しくは見えますが、社会的課題を見つけ解決しようという保健師本来の役割を、自らの志と責任で行うことを決意し自立した保健師です。</p> <p>既存の制度やサービスの隙間を埋めるだけではなく、創造性を発揮し、新たなしくみやサービスを作り出す開業保健師の存在は、従来の保健師の在り方、働き方、可能性に一石を投じるものとなり、保健師の可能性をさらに広げるものだと思います。</p> <p>公衆衛生分野における開業保健師の可能性と展望について、現状報告と意見交換の場として自由集會を開催します。</p>		
16	住民とともに活動する保健師の会：「人生を育むための教育」教材を用いて、子どもたちの人生を守ろう	渡會 睦子 (住民とともに活動する保健師の会(東京医療保健大学医療保健学部))	TEL 090-2272-0122 FAX 03-5421-3133 E-mail : m-watarai@thcu.ac.jp
	<p>現在、日本ではいじめ、命の軽視・自殺、性の低年齢化、人工妊娠中絶、性感染症、人権問題など、さまざまな問題が起こっています。その背後には、虐待等の影響により乳幼児期の愛着・絆の形成が果たされず自己肯定感が低く、淋しい・誰かに認めてほしい等の理由から、リストカットや性問題を繰り返している若者の自虐的行動や、人付き合いが苦手・面倒な若者が増加し、コミュニケーションに深く悩みを持つ者も多いことも関連しています。事実、若者の性経験率は激減している現状もあります。</p> <p>これまでこれらの問題を予防するため、小・中・高校生向け性教育として「生きるための心の教育(性教育)」教材を作成し、約20年間、家庭・児童養護施設・学校・地域・行政等あらゆるところで活用されながら、改定を加えてきました。そのような中、性教育という言葉を使い限局したイメージを与えるよりも、「人生を育むための教育」として伝えた方がよいという意見が多くなりました。そして、2020年度本教材は10年に1度の学習指導要領の改訂と内容もあわせ、さらに幅広く活用できる、子どもたちのからだ・こころ・性発達を支える、「人生を育むための教育」として改訂しました。</p> <p>家庭で傷つてきた子どもであっても、地域の大人の言葉や態度、そして教育から「あなたを大切に思っている存在である」と感じてもらい、「ありのままの自分を受け止め、自己の否定的な側面もふくめて、自分が自分であっても大丈夫という感覚」である自己肯定感を高め、自分を大切にしながら人生を送ることができるよう構成されています。</p> <p>本自由集會では、人生を育むための教育教材を用い、家庭・学校・児童養護施設・地域・行政が連携した公衆衛生看護活動の取り組みを紹介していきます。</p> <p>そして、皆様の地域の子どもたちが、幸せな人生を育んでいくことができるようみんなでディスカッションしてまいります。</p>		

10月22日(木) 18:40-19:55

No.	自由集会の名称	代表世話人名	代表世話人連絡先
17	全国衛生行政研究会セミナー	嶋村 清志 (滋賀県長浜保健所)	TEL 0749-65-6660 FAX 0749-63-2989 E-mail : shimamura-kiyoshi@pref.shiga.lg.jp
	<p>新型コロナウイルス感染症に対する保健所や行政、医療機関の取り組みについて考察する。</p>		

特別プログラム

学会長講演

10月20日（火） 10:10～10:50 第1会場

健康医療介護の未来づくり：社会的協働

座長：小林 廉毅（東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学）

演者：今中 雄一（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野、京都大学超高齢社会デザイン価値創造ユニット）

特別講演Ⅰ

10月20日（火） 11:00～12:00 第1会場

COVID-19の対策：これまでそしてこれから

座長：今中 雄一（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野、京都大学超高齢社会デザイン価値創造ユニット）

演者：尾身 茂（独立行政法人地域医療機能推進機構）

特別講演Ⅱ

10月20日（火） 14:10～15:00 第1会場

柏プロジェクトの今後の展開：地域包括ケアシステム

座長：山田 典子（京都市保健所）

演者：辻 哲夫（東京大学高齢社会総合研究機構）

特別講演Ⅲ

10月20日（火） 15:00～15:50 第1会場

京都府におけるスマートシティづくり

座長：山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）

演者：山下 晃正（京都府副知事）

特別講演Ⅳ

10月21日（水） 13:00～14:00 第1会場

医療研究開発におけるAMEDの取り組み

座長：磯 博康（大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学）

演者：三島 良直（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）

メインシンポジウム I

10月20日 (火) 15:50~18:00 第1会場

健康医療介護とスマートシティ・まちづくり

座長：辻 哲夫 (東京大学高齢社会総合研究機構)
今中 雄一 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野、京都大学超高齢社会デザイン価値創造ユニット)

演者：スマートシティ会津若松とヘルスケア事業のとりくみ
宮森健一郎 (会津若松市役所健康福祉部高齢福祉課)

公共交通の活性化とデータ利活用による健康寿命の延伸とスマートシティの推進
本田 信次 (富山市政策監)

サスティナブル・スマートタウン ウェルネスサービスへの挑戦
荒川 剛 (Fujisawa SST マネジメント株式会社)

京都地域包括ケア推進機構の取組ー高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるためにー
東原 勲 (京都府健康福祉部高齢者支援課、京都地域包括ケア推進機構)

メインシンポジウム II

10月22日 (木) 15:20~16:50 第1会場

新型コロナウイルス感染症感染の実像を考える

座長：中島 一敏 (大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科)
前田 秀雄 (東京都北区保健所)

演者：分析疫学の立場から
押谷 仁 (東北大学大学院医学系研究科微生物学分野)

COVID-19の現状分析：理論疫学の立場から
西浦 博 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻環境衛生学分野)

新型コロナウイルス SARS-CoV-2のゲノム分子疫学調査
黒田 誠 (国立感染症研究所・病原体ゲノム解析研究センター)

医療機関の立場から
大曲 貴夫 (国立国際医療研究センター国際感染症センター)

メインシンポジウムⅢ

10月22日（木） 17:00～18:30 第1会場

新型コロナウイルス感染症対策と地域社会における連携

座長：高鳥毛敏雄（関西大学社会安全学部・社会安全研究科）
白井 千香（枚方市保健所）

演者：医師会の立場から
茂松 茂人（一般社団法人大阪府医師会）

看護協会の立場から
～新型コロナウイルス感染症に関する日本看護協会の取り組み～
鎌田久美子（公益社団法人日本看護協会）

研究教育機関の立場から：帝京大学と東京都北区との連携の経験をもとに
福田 吉治（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）

NPOの立場で見た外国人のCOVID-19対策の課題と連携
沢田 貴志（神奈川県勤労者医療生活協同組合港町診療所、シェア＝国際保健協力市民の会）

Covid-19下での「人権」の視座
谷口真由美（大阪芸術大学）

市民公開講座Ⅰ

10月22日（木） 13:00～14:00 第1会場

人生100年時代を健康に生きる～食・運動・地域の繋がりを考える～

座長：今中 雄一（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野、京都大学超高齢社会デザイン価値創造ユニット）

演者：鎌田 實（諏訪中央病院）

市民公開講座Ⅱ

10月22日（木） 14:10～15:10 第1会場

『森林と健康』 EBMに立脚したShinrin-yoku（森林浴）について

座長：今中 雄一（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野、京都大学超高齢社会デザイン価値創造ユニット）

演者：今井 通子（International Society of Forest Medicine（INFOM）、特定非営利活動法人（NPO）森林セラピーソサエティー）

教育講演 A1-3

10月20日（火） 13:00～14:00 第1会場

持続可能な福祉社会—コロナ後の社会構想と人口減少社会のデザイン

演者：広井 良典（京都大学こころの未来研究センター）

教育講演 A5-3

10月20日（火） 13:30～14:30 第5会場

高齢者研究を続ける中で、やっぱり気になる子どもたち

演者：木村みさか（同志社女子大学看護学研究科、京都先端科学大学アクティブヘルス機構）
協賛：株式会社社会保険研究所、株式会社ルネサンス、NPO 法人日本健康運動指導士会、
公益財団法人健康・体力づくり事業財団

教育講演 B2-1

10月21日 (水) 8:50~9:50 第2会場

The planet, economic growth and our health: learning from the Japanese experience

演者: Eric Brunner (Social and biological epidemiology, Whitehall II study, UCL Institute of Epidemiology and Health Care.Osaka University Grad. School Medicine)

教育講演 B3-1

10月21日 (水) 8:50~9:50 第3会場

環境要因と遺伝要因の相互作用から探る予防医学

演者: 原田 浩二 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻環境衛生学分野)

教育講演 B2-2

10月21日 (水) 9:55~10:55 第2会場

地域包括ケアと医療・介護のデータベース活用

演者: 松田 晋哉 (産業医科大学医学部公衆衛生学教室)

教育講演 B3-2

10月21日 (水) 9:55~10:55 第3会場

行動経済学と健康: ナッジ、インセンティブとその背景

演者: 後藤 励 (慶應義塾大学大学院経営管理研究科)

教育講演 B2-3

10月21日 (水) 11:00~12:00 第2会場

地域住民を対象とした大規模認知症コホート研究の展開

演者: 二宮 利治 (九州大学大学院医学研究院衛生・公衆衛生学分野)

教育講演 B3-3

10月21日 (水) 11:00~12:00 第3会場

データヘルス時代の母子保健情報の利活用

演者: 山縣然太郎 (山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座)

教育講演 B2-4

10月21日 (水) 13:00~14:00 第2会場

新興感染症の制御と数理モデル: SARS、MERS、COVID-19

演者: 西浦 博 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻環境衛生学分野)

教育講演 B3-4

10月21日 (水) 13:00~14:00 第3会場

まちぐるみの認知症予防と共生社会

演者: 玉井 顯 (医療法人敦賀温泉病院、認知症疾患医療センター、介護老人保健施設ゆなみ)

教育講演 B1-5・研修会

10月21日（水） 14:10～15:40 第1会場

あなたを活かす国際キャリア形成の手ほどき

演者：中谷比呂樹（グローバルヘルス人材戦略センター、慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート）

教育講演 B2-5

10月21日（水） 14:05～15:05 第2会場

健康の社会的要因（Social Determinants of Health: SDH）

演者：近藤 克則（千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門、国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター老年学評価研究部、日本老年学的评价研究機構）

教育講演 B3-5

10月21日（水） 14:05～15:05 第3会場

気候変動と健康～グローバル&ローカルの視点から～

演者：橋爪 真弘（東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学）

教育講演 B3-6

10月21日（水） 15:10～16:10 第3会場

オーラルフレイル予防の必須対策：公衆衛生的アプローチ

演者：三浦 宏子（北海道医療大学歯学部保健衛生学分野）

シンポジウム A2-3

10月20日（火） 13:00～14:30 第2会場

これからの検疫を考える－COVID-19の経験から－

座長：垣本 和宏（厚生労働省那覇検疫所）
上野 健一（厚生労働省関西空港検疫所）

演者：国際空港における旅客機など航空機に対する検疫の経験について
竹内 聡礼（厚生労働省関西空港検疫所）

クルーズ客船などの船舶に対する検疫の経験と課題について
梅田 恭子（横浜検疫所検疫衛生課）

検疫業務における自衛隊の災害派遣について
名越 究（島根大学医学部環境保健医学講座）

検疫制度、検疫所の歴史的変遷について
柏樹 悦郎（厚生労働省大阪検疫所）

検疫業務に課せられた、今後の期待と責務について
奥村 二郎（近畿大学医学部環境医学・行動科学教室）

シンポジウム A3-3

10月20日 (火) 13:00~14:30 第3会場

超高齢社会と人口偏在社会における複合災害への備えをどうするか

座長：安村 誠司（福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座）
高鳥毛敏雄（関西大学社会安全学部・社会安全研究科）

演者：災害の激甚化の時代にいかに立ち向かうか
室崎 益輝（兵庫県立大学大学院減災復興研究科）

COVID-19流行期に大規模災害が発生した場合の感染防止対策
砂川 富正（国立感染症研究所感染症疫学センター）

複合災害の感染予防と健康支援対策の課題
大森 純子（東北大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学分野）

COVID-19流行期に自然災害が発生した場合の課題-地方自治体と保健所の立場から
白井 千香（枚方市保健所）

シンポジウム A4-3

10月20日 (火) 13:00~14:30 第4会場

多施設 DPC データ活用の実践と今後の展望

座長：猪飼 宏（京都府中丹西保健所）
佐々木典子（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野）

演者：臨床疫学研究における限界を突破するための他データとのリンケージの事例
森島 敏隆（大阪国際がんセンターがん対策センター）

地域医療構想の推進に向けた多施設 DPC データ分析
小林 大介（神戸大学大学院医学研究科医療システム学分野医療経済・病院経営学部門）

DPC データと医療の質
國澤 進（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野）

臨床疫学の見地から見た、大規模医療データベース（DPC データベースを中心に）
松居 宏樹（東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻臨床疫学・経済学）

DPC データによる分析に資するデータ精度の向上
村上 玄樹（産業医科大学病院医療情報部）

シンポジウム A2-4

10月20日 (火) 14:40~16:10 第2会場

地方衛生研究所研修フォーラム「新型コロナウイルス感染症への対応と課題」

座長：四宮 博人（愛媛県立衛生環境研究所）
調 恒明（山口県環境保健センター）

演者：地方衛生研究所における新型コロナウイルス検査対応
四宮 博人（愛媛県立衛生環境研究所）

保健所支援から考える新型コロナウイルス感染症の課題と対策
草深 明子（東京都健康安全研究センター）

保健所の新型コロナウイルス感染症への対応
緒方 剛（茨城県土浦保健所）

クラスター対策とサーベイランス
鈴木 基（国立感染症研究所感染症疫学センター）

新型コロナウイルス感染症への対応と課題
梅田 浩史（厚生労働省健康局）

シンポジウム A3-4

10月20日 (火) 14:40~16:10 第3会場

地域包括ケアと災害医療対策1：更なる広がりを目指して

座長：松本 良二（千葉県野田保健所）
佐藤 拓代（公益社団法人母子保健推進会議、元大阪母子医療センター母子保健情報センター）

演者：医師不足地域の災害医療対策は地域包括ケアから：令和元年台風の教訓を踏まえて
石田久美子（茨城県潮来保健所）

保健所・市町村と協働した予防医学の視点による災害医療対策の必要性
植田 信策（石巻赤十字病院呼吸器外科）

災害対応を通じた平時の母子保健体制強化とネットワーク構築
吉田 穂波（神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科）

災害時小児周産期医療体制と子育て世代包括支援センターとの連携の重要性
岬 美穂（国立病院機構本部 DMAT 事務局）

シンポジウム A4-4

10月20日 (火) 14:40~16:10 第4会場

成育基本法と健やか親子21

座長：山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）
市川 香織（東京情報大学看護学部）

演者：成育基本方針について
小林 秀幸（厚生労働省子ども家庭局母子保健課）

健やか親子21の成育基本法委における位置づけ
山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）

小児保健医療における成育基本方針
山崎 嘉久（あいち小児保健医療総合センター）

学童期における成育基本方針
松浦 賢長（福岡県立大学看護学部）

成育基本法における周産期医療の方向性
市川 香織（東京情報大学看護学部）

シンポジウム A5-4

10月20日 (火) 14:40~16:10 第5会場

ペットと人の健康におけるエビデンス構築の展望

座長：小林 真朝（聖路加国際大学大学院看護学研究科）

演者：ペットの人間に対する健康効用
星 且二（東京都立大学都市政策科学）

子どもの健康増進とペットの存在
山本 和弘（帝京科学大学生命環境学部アニマルサイエンス学科）

我が国の小児及び高齢者におけるペット飼育の効果
谷口 優（国立環境研究所環境リスク・健康研究センター、東京都健康長寿医療センター研究所）

シンポジウム A2-5

10月20日 (火) 16:20~17:50 第2会場

ダイヤモンド・プリンセス号における COVID-19への対応

座長：中澤よう子（神奈川県健康医療局）
大久保一郎（横浜市衛生研究所）

演者：DMAT による769人の搬送調整の経験と教訓
阿南 英明（藤沢市民病院）

神奈川県の役割について
村岡 広代（神奈川県厚木保健福祉事務所）

ダイヤモンド・プリンセス号・横浜市の対応
種子田太郎（横浜市医療局）

ダイヤモンド・プリンセス号に対する国の支援について
堀岡 伸彦（厚生労働省）

シンポジウム A3-5

10月20日（火） 16:20～17:50 第3会場

地域包括ケアと災害医療対策2：多職種連携の展開はリハ専門職、保健師、そして福祉へ

座長：松本 良二（千葉県野田保健所）
石田久美子（茨城県潮来保健所）

演者：地域包括ケアと災害医療対策 ～地域におけるリハビリテーション専門職の活動～
清水 兼悦（一般社団法人日本作業療法士協会、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会）

行政リハビリテーション専門職に期待する役割～東日本大震災の好事例から～
築場 玲子（宮城県気仙沼保健福祉事務所）

災害派遣福祉チーム京都 DWAT 平時から災害時へ：多職種・地域連携で二次被害ゼロ
宮村 匡彦（京都府健康福祉部健康福祉総務課）

公民協働による災害時の福祉支援体制構築と他職種連携に向けた課題
名取 直美（株式会社富士通総研行政経営グループ、株式会社富士通総研公共政策研究センター）

シンポジウム A4-5

10月20日（火） 16:20～17:50 第4会場

改正健康増進法、全面施行！進捗評価と今後の推進方策

座長：田淵 貴大（大阪国際がんセンターがん対策センター疫学統計部）
姜 英（産業医科大学産業生態科学研究所）

演者：第一種施設における受動喫煙防止対策の状況
大和 浩（産業医科大学産業生態科学研究所健康開発科学研究室）

飲食店における受動喫煙防止の状況
村木 功（大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学）

「自治体における改正健康増進法施行後の状況」
風間 昌美（滋賀県庁）

保健所の状況および上乗せ条例の影響
加治 正行（静岡市保健所）

指定発言：樺田 尚樹（産業医科大学産業保健学部産業・地域看護学）

シンポジウム B5-1

10月21日（水） 8:50～10:20 第5会場

難病対策地域協議会を活かす取り組み

座長：鈴木 仁一（相模原市保健所）
江口 尚（産業医科大学産業生態科学研究所産業精神保健学研究室）

演者：難病相談支援センターと難病対策地域協議会の連携について
小森 哲夫（国立病院機構箱根病院神経筋・難病医療センター）

難病対策地域協議会の活用と地域支援体制整備-保健活動、難病事業、行政計画の必要性-
小倉 朗子（公益財団法人東京都医学総合研究所）

滋賀県における難病対策地域協議会の取り組みについて
村井 あき（滋賀県庁健康寿命推進課難病・小児疾病係）

難病対策地域協議会～相模原市での取り組み～
中村 淳代（相模原市健康福祉局保健衛生部疾病対策課）

シンポジウム B6-1

10月21日（水） 8:50～10:20 第6会場

地域包括ケア時代における高齢者就労の現状と課題

座長：藤原 佳典（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）
服部 真治（一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構、東京都健康長寿医療センター）

演者：高齢期の就労の効果：高齢者本人への健康影響と周囲への恩恵の好循環
村山 洋史（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）

なにが高齢者を元気にするのか -ものづくりの取り組みから-
小川 敬之（京都橋大学健康科学部作業療法学科）

デイサービスにおける就労的活動「sitte プロジェクト」の取り組みからみえたこと
河本 歩美（（福）京都福祉サービス協会高齢者福祉施設西院、NPO 法人地域共生開発機構「ともつく」）

高齢者就労を支援する政策的意義と課題
北川 博巳（京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室）

シンポジウム B7-1

10月21日（水） 8:50～10:20 第7会場

健康経営と地域・職域連携

座長：仁賀 建夫（経済産業省ヘルスケア産業課）
津下 一代（あいち健康の森健康科学総合センター）

演者：地域・職域連携推進ガイドラインと健康経営
津下 一代（あいち健康の森健康科学総合センター）

健康経営銘柄企業としての取り組み
須山有輝子（ワコール健康保険組合）

福井県二次医療圏における地域・職域連携推進事業の現状と課題
新田 和美（福井県福井健康福祉センター）

小規模事業場に対する健康支援
渡井いずみ（浜松医科大学地域看護学講座）

NDB 特定健診項目の二次医療圏単位での集計ー地域・職域連携推進の基礎資料として
加藤 源太（京都大学医学部附属病院診療報酬センター）

シンポジウム B8-1

10月21日（水） 8:50～10:20 第8会場

Life-course Immunization の実現に向けて～生涯を通じた予防接種の重要性～

座長：角野 文彦（滋賀県健康医療福祉部）

演者：Life course Immunization について

岡部 信彦（川崎市健康安全研究所）

思春期・青年期のワクチン<HPV ワクチン>

田中 敏博（静岡厚生病院小児科）

現役ミドル世代のワクチン（MR ワクチン）

多屋 馨子（国立感染症研究所感染症疫学センター）

シニア世代のワクチン 肺炎球菌ワクチン

鈴木 智之（滋賀県衛生科学センター）

シンポジウム B5-2

10月21日（水） 10:30～12:00 第5会場

睡眠と健康を考える

座長：谷川 武（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座）

兼板 佳孝（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）

演者：高齢者の睡眠

尾崎 章子（東北大学大学院医学系研究科老年・在宅看護学分野）

妊娠時の睡眠状態の母児に及ぼす健康影響とその公衆衛生学的意義について

小橋 元（獨協医科大学医学部公衆衛生学講座）

小児の睡眠

山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）

睡眠呼吸障害と健康

和田 裕雄（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座）

6 ナショナルセンターが連携して行う医療政策研究と情報提供

座長：植木浩二郎（国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部、国立国際医療研究センター研究所糖尿病研究センター）

東 尚弘（国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター）

演者：国立高度専門医療研究センターの今後の在り方に関する議論について

天辰 優太（厚生労働省医政局医療経営支援課）

国立循環器病研究センターにおける NDB を含むレセプト DPC データの活用事例について

西村 邦宏（国立循環器病研究センター予防医学・疫学情報部）

NDB を用いた成育医療に関する研究の紹介

森崎 菜穂（国立成育医療研究センター社会医学研究部）

確かながん情報を国民に届けるために：情報の信頼性、中立性、迅速性をどう担保するか

高山 智子（国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部）

糖尿病に関する医療政策研究と情報提供、GNC 連携への展望

杉山 雄大（国立国際医療研究センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター、筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野）

地域共生社会に向けた「保健活動」の他分野連携戦略と戦術

座長：大澤 絵里（国立保健医療科学院国際協力研究部）

藤原 佳典（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）

演者：健康施策を推進するための市町村保健センターの連携機能とは

大澤 絵里（国立保健医療科学院国際協力研究部）

生活支援体制整備事業を通じた地域包括ケアシステム構築のプロセス

徳田 元子（岡山市保健所健康づくり課）

大都市部における多世代交流・互助の地域づくりのプロセスとポイント

野中久美子（東京都健康長寿医療センター研究所）

組織内と組織間のソーシャルキャピタル醸成を軸にした今後の地域保健の展開

尾島 俊之（浜松医科大学健康社会医学講座）

シンポジウム B8-2

10月21日（水） 10:30～12:00 第8会場

社会的協働による健康都市・空間デザインの可能性

座長：近藤 克則（千葉大学予防医学センター、国立研究開発法人国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター）
岡野 郊子（パシフィックコンサルタンツ株式会社）

演者：産官学研究による健康都市・空間デザインのキーテクノロジー開発と社会実装
花里 真道（千葉大学予防医学センター）

産官学研究への期待・企業の課題とアカデミアへの期待
岡野 郊子（パシフィックコンサルタンツ株式会社サービスプロバイダー事業部）

産学共創の研究開発と社会実装・ファウンダーの視点
蔭 赫（国立研究開発法人科学技術振興機構イノベーション拠点推進部 OPERA グループ）

暮らしているだけで健康になる「むつざわスマートウェルネスタウン」の取り組み
市原 武（睦沢町）

シンポジウム B6-3

10月21日（水） 13:00～14:30 第6会場

いま、社会医学系医師を考える

座長：磯 博康（大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学）
今中 雄一（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野、京都大学超高齢社会デザイン価値創造ユニット）

演者：社会医学系医師に期待され、求められるもの
佐々木昌弘（厚生労働省大臣官房厚生科学課）

保健所の仕事（新型コロナウイルス対策含む）と期待される医師像
内田 勝彦（大分県東部保健所）

公衆衛生・衛生行政医師の確保と育成に関する調査と実践事業の成果と今後の方向性
宮園 将哉（大阪府健康医療部）

大学の立場から「学部・大学院の社会医学系医師の育成」
玉腰 暁子（北海道大学大学院医学研究院公衆衛生学）

公衆衛生等の社会医学系分野で活躍する医師の育成・確保に向けて
和田 裕雄（順天堂大学大学院医学研究科）

指定発言：

社会医学系専門医への期待
宇田 英典（地域医療振興協会地域医療研究所ヘルスプロモーション研究センター）

シンポジウム B7-3

10月21日（水） 13:00～14:30 第7会場

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の推進に向けて

座長：新開 省二（女子栄養大学栄養学部地域保健・老年学研究室、東京都健康長寿医療センター研究所）
安田 誠史（高知大学医学部公衆衛生学教室）

演者：高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について—健康寿命の延伸に向けて—
増田 利隆（厚生労働省保険局高齢者医療課）

フレイルに対する公衆衛生的アプローチ—研究者の立場から—
北村 明彦（東京都健康長寿医療センター研究所）

地域の孤立高齢者へのアプローチ
岸 恵美子（東邦大学大学院看護学研究科）

通いの場から見た保健事業との一体的実施への期待と推進のための留意点
植田 拓也（東京都健康長寿医療センター研究所東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター）

鳩山町における「高齢者の保険事業と介護予防の一体化」への取り組み
山口貴代美（埼玉県鳩山町役場長寿福祉課地域包括支援センター）

シンポジウム B8-3

10月21日（水） 13:00～14:30 第8会場

新型インフルと新型コロナから ～未来への教訓～

座長：稲葉 静代（岐阜県岐阜保健所）
伊東 則彦（北海道江差保健所・江差高等看護学院）

演者：新型コロナウイルスのクラスター対策と保健所の役割
押谷 仁（東北大学大学院医学系研究科微生物学分野）

新型インフルエンザ等特措法 新型コロナへの運用を振り返る
正林 督章（厚生労働省健康局）

パンデミックに耐えられる医療体制とは
大曲 貴夫（国立国際医療研究センター国際感染症センター）

新型インフルと新型コロナから ～未来への教訓～
中澤よう子（神奈川県健康医療局）

新型コロナウイルスウイルス感染症と保健所機能 2つのパンデミックを振り返る
中里 栄介（佐賀県鳥栖保健所）

シンポジウム B6-4

10月21日 (水) 14:40~16:10 第6会場

日本における最近の低出生体重の現状分析と出生コホート連携の展望

座長：栗山 進一（東北大学災害科学国際研究所災害公衆衛生学分野）
岸 玲子（北海道大学環境健康科学研究教育センター）

演者：DOHaD 学説と臨床疫学研究から見た日本の低出生体重の現状
森崎 菜穂（国立研究開発法人国立成育医療研究センター社会医学研究部）

胎児期の環境要因と低出生体重：環境と子どもの健康に関する北海道スタディ
宮下ちひろ（北海道大学環境健康科学研究教育センター）

出生コホート連携に基づく胎児期から乳幼児期の環境と母児の予後との関連に関する研究
栗山 進一（東北大学災害科学国際研究所災害公衆衛生学分野）

千葉こども調査（C-MACH）について-探索的研究としての役割-
櫻井 健一（千葉大学予防医学センター栄養代謝医学分野）

成育母子コホート研究
堀川 玲子（国立成育医療研究センター内分泌代謝科）

シンポジウム B7-4

10月21日 (水) 14:40~16:10 第7会場

改めて問う、「保健指導」の意義と役割

座長：磯 博康（大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学）
表 志津子（金沢大学医薬保健研究域保健学系看護科学領域）

演者：心筋梗塞発症予防のための保健指導への期待
横井 宏佳（国際医療福祉大学）

医療経済評価からみた保健指導の意義と役割
福田 敬（国立保健医療科学院保健医療経済評価研究センター）

効果的な保健指導を考える～J-HARP 研究結果をもとに
野口 緑（大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学）

新たな時代の保健指導ツール～AI を活用した保健事業の展開
加澤 佳奈（広島大学大学院医系科学研究科成人看護開発学）

住民が行動する「受療行動促進モデル」を用いた保健指導実践の結果から
堀内麻紀子（山梨県笛吹市役所健康づくり課）

シンポジウム B8-4

10月21日（水） 14:40～16:10 第8会場

現場の活動から COVID-19対応の社会的協働を展望する

座長：古屋 好美（甲府市保健所）
中瀬 克己（吉備国際大学保健医療福祉学部）

演者：COVID-19対策の現場（保健所長会緊急アンケート等）からの報告
白井 千香（枚方市保健所、全国保健所長会健康危機管理に関する委員会）

新型コロナウイルス感染症の集団発生（クラスター）対策等に関する支援
八幡裕一郎（国立感染症研究所感染症疫学センター）

PCR 検査の実務から見た課題と現実的な検査体制について
内田 勝彦（大分県東部保健所）

大阪府入院フォローアップセンターの立ち上げ
島田 秀和（大阪府岸和田保健所）

健康危機管理モニタリング活動から見た学術・実務の協働とリスク・コミュニケーション
中瀬 克己（吉備国際大学保健医療福祉学部）

シンポジウム B6-5

10月21日（水） 16:20～17:50 第6会場

生きることの包括的支援と社会的協働-その未来づくりに向けて

座長：金子 善博（労働者健康安全機構）
本橋 豊（いのち支える自殺対策推進センター）

演者：医療安全の観点からの患者の自殺予防
松村 由美（京都大学医学部附属病院医療安全管理部）

労働者のメンタルヘルスと自殺対策
堤 明純（北里大学医学部公衆衛生学単位）

児童期虐待を生き延びた人々への包括支援
金 吉晴（国立精神・神経センター精神保健研究所）

地域における包括的な自殺対策：滋賀県の取り組み
辻本 哲士（滋賀県立精神保健福祉センター）

シンポジウム B7-5

10月21日（水） 16:20～17:50 第7会場

公衆衛生分野におけるナッジ活用の現状と可能性：政策への応用と産官学連携に向けて

座長：村山 洋史（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）

演者：行動経済学と公衆衛生学から見たナッジ

竹林 正樹（青森県立保健大学大学院、株式会社キャンサーズキャン、横浜市行動デザインチーム）

世界と日本におけるナッジの動向

池本 忠弘（環境省、日本版ナッジ・ユニット）

地方自治体におけるナッジユニット～横浜市行動デザインチーム（YBiT）の取組～

春日 潤子（横浜市健康福祉局健康安全部保健事業課）

検診・健診の未受診者対策におけるナッジ活用の可能性

福吉 潤（株式会社キャンサーズキャン）

地方自治体におけるナッジ活用の現状と課題

高橋 勇太（横浜市行動デザインチーム（YBiT）、神奈川県横浜市健康福祉局）

シンポジウム B8-5

10月21日（水） 16:20～17:50 第8会場

JAPAN-CDCの創設に向けて：アカデミアからの提言

座長：森本 兼曩（一般財団法人産業医学研究財団常務理事）

門田 守人（日本医学会連合・日本医学会会長）

演者：COVID-19後の公衆衛生対応の強化に向けて：米国 CDC の概説と日本版 CDC 構想への論点整理

杉山 雄大（国立国際医療研究センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター、筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野）

健康を守る学術的な正しさと政策権者との関わりーCOVID-19第一波を振り返って

新村 和哉（国立保健医療科学院、日本医師会）

健康づくりでの難敵：弘前大学 COI 活動より

中路 重之（弘前大学大学院医学研究科社会医学講座）

災害と健康栄養行動の変容

阿部 圭一（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所）

ポストコロナの第4次産業革命を健康社会革命に

秋葉 澄伯（弘前大学）

指定発言：

近藤 克則（千葉大学大学院医学系研究科／予防医学センター）

谷川 武（順天堂大学大学院医学系研究科）

田宮菜奈子（筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野）

岸 玲子（北海道大学環境健康科学研究教育センター）

シンポジウム C3-1

10月22日（木） 8:50～10:20 第3会場

小児の在宅医療支援—脳性麻痺児の看護・介護の実態

座長：小林 廉毅（東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学）

演者：産科医療補償制度について

鈴木 英明（公益財団法人日本医療機能評価機構産科医療補償制度運営部）

脳性麻痺児の障害福祉サービス等の利用に影響を与える因子と社会的費用

後藤 励（慶應義塾大学大学院経営管理研究科）

脳性麻痺児の介護負担感に影響を与える要因

森脇 睦子（東京医科歯科大学医歯学総合研究科）

小児在宅医療支援の現状

三沢あき子（京都府山城南保健所）

シンポジウム C4-1

10月22日（木） 8:50～10:20 第4会場

若手研究者の公衆衛生二次データ活用に向けて—国民生活基礎調査の例から

座長：田宮菜奈子（筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野）

小橋 元（獨協医科大学医学部公衆衛生学講座）

演者：健康政策が健康格差に与えた影響の分析

田淵 貴大（大阪国際がんセンターがん対策センター疫学統計部）

国民生活基礎調査匿名データを用いた教育の実践

高橋 由光（京都大学大学院医学研究科健康情報学）

韓国の保健医療データの活用事例の紹介

Jeon Boyoung（Korea National Rehabilitation Center、筑波大学医学医療系ヘルスサービス開発研究センター）

学生として基礎調査データ申請から論文作成までを経験して学んだこと

塚崎栄里子（筑波大学医学群医学類）

利用申請・データ整備についての情報共有と研究事例、米国 NHANES の紹介

渡邊多永子（厚生労働省、筑波大学ヘルスサービス開発研究センター）

シンポジウム C5-1

10月22日（木） 8:50～10:20 第5会場

健康長寿のために住宅はどうあるべきか（国立保健医療科学院企画）

座長：曾根 智史（国立保健医療科学院）
小林 健一（国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部）

演者：世界保健機関（WHO）の住宅と健康のガイドライン
東 賢一（近畿大学・医学・環境医学・行動科学）

住環境因子と健康との関連 –平城京スタディからわかったこと–
佐伯 圭吾（奈良県立医科大学医学部疫学予防医学教室）

健康長寿を実現するスマートウェルネス住宅
伊香賀俊治（慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科）

福祉施設における室内環境管理の実態と課題
阪東美智子（国立保健医療科学院生活環境研究部建築・施設管理研究領域）

健康増進に向けた住宅環境整備のための研究
林 基哉（北海道大学大学院）

シンポジウム C2-2

10月22日（木） 10:30～12:00 第2会場

今後の災害精神保健医療福祉活動のあり方

座長：太刀川弘和（筑波大学医学医療系災害・地域精神医学）
宇田 英典（地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター）

演者：これまでの DPAT 活動と支援側からみた課題
五明佐也香（獨協医科大学埼玉医療センター救急医療科、DPAT 事務局）

災害時精神保健医療福祉体制の受援側からみた課題
中原 由美（福岡県宗像・遠賀保健福祉環境事務所）

「4Ws、つなぎマップ」を用いた災害時精神保健心理社会的支援における地域連携の検討
丸山 嘉一（日本赤十字社医療センター国内・国際医療救援部、日本赤十字社災害医療統括監）

災害時の精神保健医療福祉活動マニュアル試案について
高橋 晶（筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、茨城県立こころの医療センター精神科）

災害後中長期の精神保健福祉体制のガイドライン試案
辻本 哲士（滋賀県立精神保健福祉センター）

シンポジウム C3-2

10月22日（木） 10:30～12:00 第3会場

地域で進める歯周病対策の方向性と課題

座長：尾崎 哲則（日本大学歯学部医療人間科学分野）
福田 英輝（国立保健医療科学院）

演者：歯科口腔保健施策における歯周病対策の動向と課題
三浦 宏子（北海道医療大学歯学部保健衛生分野）

地域住民の歯周病改善に関する疫学的検討：福岡県久山町での歯科健診結果からの知見
古田美智子（九州大学大学院歯学研究院口腔予防医学分野）

働き盛り世代の糖尿病・メタボリックシンドロームの関連と医科歯科連携
福田 洋（順天堂大学大学院医学研究科先端予防医学・健康情報学講座）

シンポジウム C4-2

10月22日（木） 10:30～12:00 第4会場

沖縄県における医療計画、がん計画、専門的がん医療機関の選定とレコード・リンケージ

座長：中村 幸志（琉球大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学講座）
糸数 公（沖縄県保健医療部）

演者：沖縄県におけるロジックモデルを基礎とした医療計画策定
埴岡 健一（国際医療福祉大学）

沖縄県におけるロジックモデルとがん登録等のデータを基礎にしたがん計画策定
増田 昌人（琉球大学病院がんセンター）

沖縄県におけるがん登録等のデータを基礎にした専門的がん医療機関の選定条件策定
伊佐 奈々（琉球大学病院がんセンター）

医療施策の評価を目的とした保健医療情報のレコード・リンケージの方法と精度
井岡亜希子（琉球大学医学部、まるレディースクリニック）

シンポジウム C5-2

10月22日（木） 10:30～12:00 第5会場

モニタリングレポート委員会による「賛否の分かれる公衆衛生対策に関するディベート」

座長：尾崎 米厚（鳥取大学医学部環境予防医学分野）

演者：COVID-19予防のための、学童期の長期休校の賛否
高橋美保子（埼玉医科大学医学部社会医学）
後藤 あや（福島県立医科大学総合科学教育研究センター）

新型コロナウイルス感染症に対する PCR 検査を増やすべきか
鈴木 貞夫（名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野）
吉田 都美（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻薬剤疫学分野）

モニタリングレポート委員会による「賛否の分かれる公衆衛生対策に関するディベート」
坂野 晶司（板橋区志村健康福祉センター）

シンポジウム C2-3

10月22日（木） 13:00～14:30 第2会場

公衆衛生活動と専門職教育の統合；新型肺炎対応をきっかけとして

座長：橋本 英樹（東京大学大学院公共健康医学専攻）
古川 壽亮（京都大学大学院医学研究科健康増進・行動学分野）

演者：新型肺炎対応によって公衆衛生教育（修士以上の専門職）に突き付けられた課題
橋本 英樹（東京大学大学院公共健康医学専攻）

帝京大学における学内外での連携活動と教育実践
福田 吉治（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）

COVID-19健康危機における「ひろしま CDC」と大学教育機関の関わり
田中 純子（広島大学大学院医系科学研究科疫学・疾病制御学）

北海道大学における取組とオンライン教育の課題について
玉腰 暁子（北海道大学大学院医学研究院公衆衛生学）

神奈川県立保健福祉大学における専門職教育と公衆衛生活動の統合に向けた取り組み
鄭 雄一（神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科、東京大学大学院医学系研究科）

シンポジウム C3-3

10月22日（木） 13:00～14:30 第3会場

薬機法改正と社会資源としての薬剤師との協働による公衆衛生の向上及び増進

座長：川崎 直人（近畿大学薬学部公衆衛生学、近畿大学アンチエイジングセンター）
多根井重晴（日本薬科大学薬学部）

演者：医師・薬局経営者から見た地域医療資源としての薬局・薬剤師
狭間 研至（ファルメディコ株式会社）

保健所と地区薬剤師会との協働事業

松田 岳彦（茨木保健所生活衛生室薬事課）

薬機法改正と社会資源としての薬剤師との協働による公衆衛生の向上及び増進

金山 美沙（株式会社ゆうホールディングス在宅事業部）

がん患者を地域で支えるためにがん薬物療法認定薬剤師ができること

櫻井登代子（医療法人社団洛和会洛和会音羽病院）

地域医療を担う薬剤師に求められる新たな薬局機能への挑戦

中林 保（京都府薬剤師会、おれんじ薬局）

シンポジウム C4-3

10月22日（木） 13:00～14:30 第4会場

医療計画とがん計画の中間評価～あるべきインパクト評価と EBPM 普及への道～

座長：今村 知明（奈良県立医科大学）
埴岡 健一（国際医療福祉大学）

演者：医療計画・がん計画の中間評価のためのマニュアルによる支援
埴岡 健一（国際医療福祉大学）

医療計画・がん計画の評価指標データセット提供による支援

渡部 鉄兵（株式会社ウェルネス）

沖縄県医療計画の中間評価の試みから

高嶺 公子（沖縄県保健医療部医療政策課）

奈良県がん対策推進計画の中間評価の試みから

大井久美子（奈良県中和保健所健康増進課）

日本の EBPM と医療計画・がん計画の評価の進展状況

前村 聡（日本経済新聞社）

シンポジウム C5-3

10月22日 (木) 13:00~14:30 第5会場

スマホ・ネット・ゲーム依存対策の社会的協同～学術知見から実地臨床まで～

座長：井谷 修 (日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)
尾崎 米厚 (鳥取大学医学部環境予防医学分野)

演者：スマホ・ネット依存，ゲーム障害の最新大規模調査の結果について
金城 文 (鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野)

なぜゲームに依存するのか 臨床現場における診療の取り組み
松崎 尊信 (国立病院機構久里浜医療センター精神科)

新しいスマートフォン依存尺度の開発～スマホ依存対策に向けて～
戸田 雅裕 (ノートルダム清心女子大学大学院人間生活学研究科)

eスポーツの現状について～公衆衛生学の立場より～
井谷 修 (日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)

シンポジウム C2-4

10月22日 (木) 14:40~16:10 第2会場

災害・事故時の化学物質のリスク評価・管理—河川や大気のリスクの見える化—

座長：奥村 二郎 (近畿大学医学部環境医学・行動科学教室)
鈴木 規之 (国立環境研究所環境リスク・健康研究センター)

演者：災害・事故時の化学物質対策に係る行政施策—事故事例とリスク管理の基盤構築—
太田志津子 (環境省大臣官房環境保健部環境安全課)

災害・事故時及びそれに備えた水道水源水質の異常検知と影響予測手法の開発
浅見 真理 (国立保健医療科学院生活環境研究部、京都大学大学院)

大阪市浄水場におけるビックデータの解析—水質の異常検知と影響予測—
市川 学 (芝浦工業大学システム理工学部)

水質事故迅速モニタリング手法の開発
小林 憲弘 (国立医薬品食品衛生研究所生活衛生化学部第三室)

迅速予測手法統合プラットフォームの開発—大気、河川への化学物質等流出を想定して—
高橋 邦彦 (東京医科歯科大学 M&D データ科学センター)

シンポジウム C3-4

10月22日 (木) 14:40~16:10 第3会場

10年後に目指すべき自治体管理栄養士の姿を考える

座長：由田 克士 (大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座公衆栄養学)
澁谷いづみ (愛知県一宮保健所)

演者：市町村に勤務する自治体管理栄養士の目指すべき姿
田中 和美 (神奈川県立保健福祉大学栄養学科)

都道府県型保健所に勤務する自治体管理栄養士の目指すべき姿
磯部 澄枝 (新潟県新津保健所)

都道府県庁主管部局に勤務する自治体管理栄養士の目指すべき姿
諸岡 歩 (兵庫県健康福祉部健康局健康増進課)

自治体管理栄養士が身につけるべきデータ分析スキルを考える
横山 徹爾 (国立保健医療科学院生涯健康研究部)

シンポジウム C4-4

10月22日（木） 14:40～16:10 第4会場

『健康長寿・笑顔のまち・京都』の実現に向けた地域の健康関連データの有効活用

座長：中山 健夫（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学）
中条 桂子（京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室）

演者：地域の大学と共に取り組む健康長寿のまち・北区～インターバル速歩による自主活動～
濱野 強（京都産業大学現代社会学部、島根大学地域包括ケア教育研究センター）

京の食文化と健康づくり～幼少期からの食育推進から見えること～
鵜飼 治二（近又七代目又八）

京都市フレイル対策モデル事業におけるデジタル技術の可能性
望月 斉弘（日本電気株式会社産業ソリューション事業部）

「健康長寿のまち・京都いきいきポイント」～産・官・学・民連携の未来～
白崎晃太郎（京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室健康長寿企画課）

シンポジウム C5-4

10月22日（木） 14:40～16:10 第5会場

年代別の引きこもりの疾患、予防・対策

座長：堤 明純（北里大学医学部公衆衛生学）
野村 恭子（秋田大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

演者：なぜ日本にひきこもりが多発するのか
高塚 雄介（明星大学）

「ひきこもり」問題における「来訪型」支援の限界と「訪問型」支援の在り方の検討
谷口 仁史（認定特定非営利活動法人スチューデント・サポート・フェイス）

研究と実践の循環「ふらっと」：混合研究手法を用いたひきこもり自立支援への提言
Yong Roseline（秋田大学衛生学・公衆衛生学講座）

社会的フレイル・介護予防の視点からとらえた高齢期の閉じこもり支援
藺牟田洋美（東京都立大学健康福祉学部）

奨励賞受賞講演

10月21日（水） 13:00～14:30 第4会場

座長：今中 雄一（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野、京都大学超高齢社会デザイン価値創造ユニット）

演者：日本人における生活習慣や健診所見とその影響に関する疫学研究
梅澤 光政（獨協医科大学医学部）

地域社会における災害対策・危機管理に関する公衆衛生学的研究
富尾 淳（東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学）

健康長寿社会の実現に向けた疫学研究と公衆衛生活動
富岡 公子（奈良県立医科大学県民健康増進支援センター）

グローバル化社会における保健所の役割に関する研究活動
劔 陽子（熊本県人吉保健所）

座長：上原 里程（京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学）
内田 勝彦（大分県東部保健所）
曾根 智史（国立保健医療科学院）

演者：特定健康診査の糖尿病薬処方に関する質問項目のバリデーション研究
西岡 祐一（奈良県立医科大学公衆衛生学講座、奈良県立医科大学附属病院糖尿病センター）

大規模レセプトデータを用いた百寿者及び非百寿者の死亡前医療費の比較
中西 康裕（奈良県立医科大学公衆衛生学講座）

東日本大震災による事故直後の就業状況と PTSD 及び心理的苦悩の経年変化の関係
田島 朋知（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座）

接触者健診における60歳以上の者に対する IGRA 検査についての考案
蒲田脩圭里（大阪市保健所感染症対策課）

Gaming disorder and its associated factors among elementary school children
Yamada Masaaki（University of Toyama Dept. of Epidemiology and Health Policy）

がん診療連携拠点病院指定要件の妥当性の検討：年間手術件数と生存率の関連性より
大川 純代（大阪国際がんセンターがん対策センター）

機械学習を用いた医療・介護・健診・所得からの個人将来要介護度予測に関する研究
林 慧茹（株式会社エクサウィザーズ、京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野）

高齢 COPD 患者における在宅医療・介護サービス利用状況と入院との関連
北村 智美（東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻高齢者在宅長期ケア看護学／緩和ケア看護学分野）

Mental, physical and social health among older Japanese with public assistance
Kino Shiho（The University of Tokyo, Department of Health Education and Health Sociology）

COVID-19蔓延によるデイサービスの長期欠席が運動機能と ADL に及ぼす影響
原 広司（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野、京都大学産官学連携本部）

要介護認定後2年間の累積骨折発生率と医療費—介護予防の一体的実施に係る指標づくり
陣内 裕成（日本医科大学衛生学公衆衛生学、筑波大学ヘルスサービス開発研究センター）

地域レベルの社会参加と介護給付費との関連：JAGES 縦断データによるマルチレベル分析
宮國 康弘（国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター老年学評価研究部）

口演賞

各分科会にて発表

演者：レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）：HIV/AIDSの現在通院患者数の把握
野田 龍也（奈良県立医科大学公衆衛生学講座）

Bullying victimization among adolescents and risk factors across 71 countries
Hosozawa Mariko (Institute for Global Health Policy Research, National Center for Global Health and Medicine)

COVID-19 Prevention Among Congolese Healthcare Workers and Safety Imperatives
Ngatu Nlandu (Kagawa University Faculty of Medicine)

介護事業所における職員の精神的健康状態と利用者のQOL、組織文化との関連
中部 貴央（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野）

介護福祉施設入所者の医療費の実態および関連要因
酒井 晶子（筑波大学医学群医学類）

スポンサードセッション1

10月20日（火） 12:05～12:55 第2会場

座長：二宮 利治（九州大学大学院医学研究院衛生・公衆衛生学分野）

演者：ハイリスク者への効果的な「保健指導」を考える～J-HARP 研究「受療行動促進モデル」を中心に
野口 緑（大阪大学大学院医学研究科公衆衛生学）

共催：アムジェン株式会社・アステラス製薬株式会社

スポンサードセッション2

10月20日（火） 12:05～12:55 第3会場

演者：地域連携が病院経営を左右する時代に

渡辺 優（野村ヘルスケア・サポート&アドバイザー株式会社）

共催：野村ヘルスケア・サポート&アドバイザー株式会社

スポンサードセッション3

10月20日（火） 12:05～12:55 第4会場

新型コロナウイルス院内感染対策～公衆衛生と地域医療の連携～

座長：宇田 英典（地域医療振興協会地域医療研究所ヘルスプロモーション研究センター）

演者：病院の立場から

吉田 卓義（地域医療振興協会練馬光が丘病院）

診療所の立場から

望月 崇紘（地域医療振興協会君津市国保小櫃診療所）

公衆衛生の立場から

内田 勝彦（全国保健所長会（大分県東部保健所））

共催：公益社団法人地域医療振興協会

スポンサードセッション4

10月20日（火） 12:05～12:55 第5会場

演者：脳卒中予防に関する啓発活動－企業としての取り組み

岸谷健一郎（バイエル薬品株式会社マーケットアクセス本部循環器・腎臓領域マーケットアクセス
&プライシング）

共催：バイエル薬品株式会社

スポンサードセッション5

10月21日（水） 12:05～12:55 第2会場

演者：腸内環境を介した免疫制御の理解とウィズコロナ時代に向けた生体防御システムの構築

國澤 純（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所）

共催：株式会社はくばく

スポンサードセッション6

10月21日（水） 12:05～12:55 第3会場

脂肪肝をターゲットとした新しい健康戦略－佐久スマートプロジェクトとその展開－

座長：大橋 靖雄（中央大学理工学部、東京大学）

演者：尾形 哲（佐久市立国保浅間総合病院）

西森 栄太（佐久市立国保浅間総合病院）

共催：株式会社メディカルメンバーシステム

スポンサードセッション7

10月21日（水） 12:05～12:55 第5会場

社会的協業によるヘルスケアの可能性～健診・保健指導・重症化予防、インフラとDATA活用～

座長：福田 治久（九州大学大学院医学研究院医療経営管理学講座）

コメンテーター：岡田 邦夫（NPO 法人健康経営研究会）

演者：一般財団法人日本予防医学協会

大日本印刷株式会社

株式会社ウェルクル

シミックヘルスケア・インスティテュート株式会社

NPO 法人健康経営研究会

共催：一般財団法人日本予防医学協会

スポンサードセッション8

10月22日（木） 12:05～12:55 第2会場

演者：電磁過敏症って本当にあるの？－WHOの見解を紹介します－

大久保千代次（一般財団法人電気安全環境研究所電磁界情報センター）

共催：一般財団法人電気安全環境研究所

スポンサードセッション9

10月22日（木） 12:05～12:55 第3会場

演者：公衆衛生における診療ガイドラインの意義・役割

中山 健夫（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野）

Minds とは:ガイドラインをもっと使いやすく、作りやすく、役立つように

福岡 敏雄（公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院、公益財団法人日本医療機能評価機構）

共催：公益財団法人日本医療機能評価機構

一般演題（口演）一覧

※「口演 - 分科会No - セッションNo - 演題発表No」

例) O-1-1-1

第1分科会	疫学・保健医療情報	O-1-1-1～O-1-4-5
第2分科会	ヘルスプロモーション	O-2-1-1～O-2-2-6
第3分科会	生活習慣病・メタボリックシンドローム	O-3-1-1～O-3-5-6
第4分科会	保健行動・健康教育	O-4-1-1～O-4-1-4
第5分科会	親子保健・学校保健	O-5-1-1～O-5-3-5
第6分科会	高齢者のQOLと介護予防	O-6-1-1～O-6-7-5
第7分科会	高齢者の医療と福祉	O-7-1-1～O-7-2-5
第8分科会	地域社会と健康	O-8-1-1～O-8-3-4
第9分科会	難病・障害の医療と福祉	O-9-1-1～O-9-1-5
第10分科会	精神保健福祉	O-10-1-1～O-10-2-4
第11分科会	口腔保健	O-11-1-1～O-11-1-4
第12分科会	感染症	O-12-1-1～O-12-3-6
第13分科会	健康危機管理	O-13-1-1～O-13-5-5
第14分科会	医療制度・医療政策	O-14-1-1～O-14-3-5
第15分科会	公衆衛生従事者育成	O-15-1-1～O-15-1-7
第16分科会	保健所・衛生行政・地域保健	O-16-1-1～O-16-2-5
第17分科会	公衆栄養	O-17-1-1～O-17-2-6
第19分科会	食品衛生・薬事衛生	O-19-1-1～O-19-1-3
第20分科会	産業保健	O-20-1-1～O-20-1-6
第21分科会	環境保健	O-21-1-1～O-21-1-3
第22分科会	国際保健	O-22-1-1～O-22-1-5
第23分科会	保健医療介護サービス研究	O-23-1-1～O-23-2-5
EO	English Session	O-E-1-1～O-E-7-5

※English Session は75頁に掲載

第1分科会 疫学・保健医療情報

座長：今村 知明（公立大学法人奈良県立医科大学）

- 0-1-1-1 土田 哲也（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻薬剤疫学分野）
乳児期の抗菌薬処方とアトピー性皮膚炎診断との関連：大規模レセプトデータによる検討
- 0-1-1-2 鈴木 知子（国際医療福祉大学医学部公衆衛生学）
医療系大学生の留年、退学のリスク 2年間の追跡調査より
- 0-1-1-3 細野 覚代（国立がん研究センター社会と健康研究センター検診研究部）
大学病院勤務者におけるB型肝炎ワクチン接種効果の検討
- 0-1-1-4 瀬川 嘉之（高木学校）
新たな医療被ばくの線量管理・記録を情報共有するために患者や市民が持つ記録手帳

座長：石見 拓（京都大学環境安全保健機構健康管理部門／健康科学センター）

- 0-1-2-1 久保慎一郎（奈良県立医科大学公衆衛生学講座）
NDBを用いた難病患者（潰瘍性大腸炎）における患者数の推計
- 0-1-2-2 森田 雅士（奈良医科大学公衆衛生学講座）
NDBオープンデータを用いた画像検査数の将来推計—タスクシフト・シェアを見据えて—
- 0-1-2-3 菅河真紀子（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科）
我が国の免疫グロブリン製剤の使用状況に関する研究
- 0-1-2-4 田中 里奈（弘前大学大学院医学研究科）
異なる集団の期待生存率を用いることでのがんの相対生存率の違い
- 0-1-2-5 池田 奈由（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所国際栄養情報センター）
循環器疾患による障害調整生存年におけるナトリウム高摂取の寄与割合の推移

座長：佐藤 俊哉（京都大学大学院医学研究科医療統計学分野）

- 0-1-3-1 西岡 祐一（奈良県立医科大学公衆衛生学講座）
特定健康診査の糖尿病薬処方に関する質問項目のバリデーション研究
- 0-1-3-2 新居田泰大（奈良県立医科大学公衆衛生学講座）
糖尿病／非糖尿病での死亡時年齢と健康寿命の比較
- 0-1-3-3 菅野 沙帆（奈良県立医科大学公衆衛生学講座）
透析患者における骨折発症リスク：KDBを用いた検討
- 0-1-3-4 今田 寛人（広島大学大学院医系科学研究科疫学・疾病制御学）
ロボット支援手術導入による術中出血量の減少が輸血用血液使用量の減少に与えた影響
- 0-1-3-5 高橋 秀人（国立保健医療科学院）
国際生活機能分類（ICF）に基づく社会統計の特徴化—生活のしづらさ調査を例に—

座長：曾根 智史（国立保健医療科学院）

- 0-1-4-1 今村 知明（奈良県立医科大学公衆衛生学講座）
KDBを用いた奈良県における後期高齢者医療費と保険料水準の理論推計
- 0-1-4-2 次橋 幸男（奈良県立医科大学公衆衛生学）
医療・介護レセプトデータを用いた人工栄養開始後の療養場所に関する追跡調査
- 0-1-4-3 西 巧（福岡県保健環境研究所管理部企画情報管理課）
国保データベースを活用した、死亡月の療養場所と死亡前一年間の療養場所把握の試み

- 0-1-4-4 陣内 裕成（日本医科大学衛生学公衆衛生学）
要介護認定後2年間の累積骨折発生率と医療費—介護予防の一体的実施に係る指標づくり

- 0-1-4-5 逢見 憲一（国立保健医療科学院生涯健康研究部）
1899～1975年のわが国のインフルエンザ超過死亡：“スペインかぜ”と公衆衛生

第2分科会 ヘルスプロモーション

座長：新開 省二（女子栄養大学）

- 0-2-1-1 松本真由美（大阪府豊能町まちづくり創造課）
産官学連携健康寿命延伸プラットフォーム1～伴走型事業支援～
- 0-2-1-2 高橋 愛（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）
産官学連携健康寿命延伸プラットフォーム2～地域みまもり推進事業～
- 0-2-1-3 南 拓磨（埼玉県立大学保健医療福祉学部）
埼玉県コバトン健康マイレージ事業の効果の検証
- 0-2-1-4 仁賀 建夫（経済産業省ヘルスケア産業課）
健康経営銘柄制度の政策効果
- 0-2-1-5 山口 将大（つくばウエルネスリサーチ）
ICTインセンティブ事業における冬季積雪地域の身体活動量増加に関する研究-SWCPJ55-

座長：武林 亨（慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学）

- 0-2-2-1 田中 昌子（三重県志摩市役所健康福祉部健康推進課）
『元気づくりウォーキング』を通じた日常生活における運動定着の評価
- 0-2-2-2 村松 賢治（東京大学未来ビジョン研究センターデータヘルス研究ユニット）
活動量計を用いた運動プログラムによるBMIやプレゼンティーズム等に関する介入研究
- 0-2-2-3 北 奈央子（聖路加国際大学大学院看護学研究科）
ヘルスリテラシーの視点でみる女性の健康を扱う女性による主体的な活動への参加の変化
- 0-2-2-4 高野 晃輔（新潟医療福祉大学医療経営管理理学部医療情報管理学科）
「実家の茶の間・紫竹」参加者の意識からみたコミュニティの構造要因の検討
- 0-2-2-5 高瀬 秀人（花王株式会社生物科学研究所）
職域における内臓脂肪低減のための食事プログラムの社会実装
- 0-2-2-6 杉本 九実（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）
ナッジおよび行動経済学のCOVID-19対策における教育機関での応用事例

第3分科会 生活習慣病・メタボリックシンドローム

座長：斉藤 功（大分大学医学部公衆衛生・疫学講座）

- 0-3-1-1 横道 洋司（山梨大学医学部社会医学講座）
糖尿病性腎症患者におけるBMIと死亡率の関係：バイオバンク・ジャパンコホート
- 0-3-1-2 柴田 健雄（東海大学健康学部健康マネジメント学科）
ピアサポート型習慣化アプリを用いた糖尿病重症化予防のための生活習慣改善効果
- 0-3-1-3 今井由希子（慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学）
血圧、糖尿病、喫煙、高脂血症と心血管疾患死亡の生涯リスクの関連：EPOCH-JAPAN
- 0-3-1-4 井上 英耶（滋賀県衛生科学センター健康科学情報係）
メタボリックシンドローム該当者に対する動機づけ支援ツールの開発
- 0-3-1-5 栗山 長門（京都府立医科大学医学部大学院医学研究科地域保健医療疫学教室）
高齢者の血管性認知低下（Vas MCI）における骨量減少とPTHシグナル～住民検診の解析～

座長：上原 里程（京都府立医科大学地域保健医療疫学）

- 0-3-2-1 高橋 祥（北海道大学大学院医学研究院公衆衛生学教室）
北海道内の二次医療圏単位にみた大腸がん発見に関する研究
- 0-3-2-2 大川 純代（大阪国際がんセンターがん対策センター）
がん診療連携拠点病院指定要件の妥当性の検討：年間手術件数と生存率の関連性より
- 0-3-2-3 中山 富雄（国立がん検診センター社会と健康研究センター検診研究部）
高齢者の大腸がん検診受診は抑制できるのか？
-がん検診の不利益は理解されるか？-
- 0-3-2-4 岡田結生子（野村證券健康保険組合）
職域でのがん検診における健診機関別要精検率の検討
- 0-3-2-5 石井加奈子（大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学）
子宮頸がん・乳がん・大腸がん検診を組み合わせた受診・未受診パターンに関連する要因

座長：白澤 貴子（昭和大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

- 0-3-3-1 山城 海渡（近畿大学薬学部公衆衛生学研究室）
大学生における血圧と生活習慣との関連性
- 0-3-3-2 酒井 一樹（秋田大学医学部）
H30年度協会けんぽ秋田支部被保険者の高血圧と高血圧保険点数に与える因子の検討
- 0-3-3-3 吉村 力（福岡大学医学部衛生・公衆衛生学教室）
飲酒と高血圧発症との関連：ISSA-CKD
- 0-3-3-4 坪井 良樹（藤田医科大学大学院保健学研究所）
住民健診受診者における白血球 DNA メチル化率と循環器疾患の死亡リスクとの関連
- 0-3-3-5 安川 純代（岡山大学大学院保健学研究所）
東日本大震災後の出産経験の有無別による避難と精神的健康及び循環器疾患との関連

座長：嶽崎 俊郎（鹿児島大学学術研究院医歯学域医学系鹿児島大学大学院医歯学総合研究科国際島嶼医療学講座国際離島医療学分野）

- 0-3-4-1 石田晋太郎（福岡大学医学部歯科口腔外科学講座）
一般住民における白血球数と高血圧症発生率の関連性：ISSA-CKD 研究
- 0-3-4-2 松本みな美（慶應義塾大学衛生学公衆衛生学）
都市部健康住民における塩味味覚閾値の上昇と生活習慣・食習慣との関連：神戸研究
- 0-3-4-3 木原 朋未（大阪大学）
中高年者における高感度 CRP と早期死亡との関係：JACC Study
- 0-3-4-4 山本 彩萌（いなべ市役所健康こども部健康推進課）
いなべ市における医療費と腎疾患の関連について
- 0-3-4-5 松本 吉史（近畿大学奈良病院リハビリテーション部）
当院の包括的呼吸リハビリチームの取り組みー作業療法士としての働きー

座長：八谷 寛（藤田医科大学）

- 0-3-5-1 猪川（湊）聡美（愛媛大学大学院農学研究科地域健康栄養学分野）
出生体重およびお腹いっぱい食べることと肥満との関連：東温スタディ
- 0-3-5-2 安部 泰子（広島大学大学院医歯薬保健研究科地域・在宅看護開発学）
特定保健指導での行動変容ステージに関する文献検討
- 0-3-5-3 Koyama Teruhide（Department of Epidemiology for Community Health and Medicine Kyoto Prefectural University of Medicine）
Impact of Daily Physical Activity Behaviors on Visceral Fat

- 0-3-5-4 郷司 純子（尼崎市健康福祉局）
尼っこ健診（11歳、14歳）におけるHbA1cの検討
- 0-3-5-5 鎌塚 真（秋田大学医学部衛生学・公衆衛生学講座）
秋田県被保険者80311名6年間追跡調査における危険飲酒の肝機能障害に与える影響
- 0-3-5-6 二階堂雄平（福島県立医科大学医学部疫学講座）
東日本大震災による福島市への避難者における罹患構成の分析

第4分科会 保健行動・健康教育

座長：赤羽 学（国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部）

- 0-4-1-1 井坂ゆかり（筑波大学人間総合科学研究科）
タバコ広告と脱・たばこメディアキャンペーンが加熱式タバコ製品の認識に与える影響
- 0-4-1-2 桑原 祐樹（鳥取大学医学部環境予防医学分野）
産業保健の現場における減酒支援ブリーフインターベンションの効果検証に関する研究
- 0-4-1-3 北野 尚美（和歌山県立医科大学地域・国際貢献推進本部地域医療支援センター）
飲食店選択における secondhand-smoke 回避の性差：日高地方における成人式喫煙防止事業
- 0-4-1-4 野村 悠樹（広島大学医系科学研究科疫学疾病制御学）
広島市・大阪市の献血ルーム来訪者における複数回献血者の特徴と地域差の検討

第5分科会 親子保健・学校保健

座長：中島 正夫（椋山女学園大学教育学部）

- 0-5-1-1 渡辺 美佳（学校法人医療創生大学岡山・建部医療福祉専門学校）
予防接種を受ける子どもの母親の意思決定に関する検討
- 0-5-1-2 加藤 承彦（国立成育医療研究センター社会医学研究部）
乳幼児を養育するシングルマザーのメンタルヘルスと生活の状況
- 0-5-1-3 的場 大輔（東京大学大学院・学際情報学府・社会情報学コース・大庭研究室）
対話型アプリによる子育てコミュニケーション形成の可能性
- 0-5-1-4 松本小百合（東大阪市保健所）
スマートフォン用双方向性睡眠教育アプリを用いた子育て支援の介入研究
- 0-5-1-5 木村美世子（聖マリアンナ医科大学予防医学教室）
新型コロナウイルス感染症流行時に生じたネガティブサポートと母親の精神健康への影響

座長：山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）

- 0-5-2-1 松島えり子（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）
日本語版思春期ストレス質問票の信頼性・妥当性の検討
- 0-5-2-2 石川 裕哲（あいち健康の森健康科学総合センター）
学校教員（養護教諭・保健主事）を対象とした子どもの健康課題に関する意識調査
- 0-5-2-3 三瓶舞紀子（国立成育医療研究センター研究所社会医学研究部）
コロナ×子ども全国初回調査における保護者が求める情報及び必要に関する研究
- 0-5-2-4 西嶋真理子（愛媛大学大学院医学系研究科）
保育所・幼稚園等で発達障害児を担当する上で保育者が感じる困難
- 0-5-2-5 前田日登美（北栄町教育総務課子育て世代包括支援センター）
鳥取県北栄町における保健・学校行政協働型『生きるための心の教育』の推進

座長：西條 泰明（旭川医科大学社会医学講座公衆衛生学・疫学分野）		0-6-3-4	清野 諭	（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム） 高齢者の身体活動、多様な食品摂取、社会参加が新規要介護認定に及ぼす累積的影響
0-5-3-1	吉田 智子（関西創価中学校・高等学校） 学校教職員における応急手当普及員免許取得の必要性	0-6-3-5	成田 美紀	（東京都健康長寿医療センター研究所） 在宅高齢者における食品摂取多様性及びその変化と二年後のフレイル発生との関連
0-5-3-2	柳 奈津代（東京大学大学院薬学系研究科育薬学講座） 保育所における与薬に関する保護者の意識と行動	座長：玉腰 暁子（北海道大学大学院医学研究院社会医学分野公衆衛生学教室）		
0-5-3-3	湊屋 街子（北海道大学環境健康科学研究教育センター） 妊娠中の母のフタル酸エステル類曝露と子どもの肥満の関連の検討	0-6-4-1	坪田 恵	（岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座） 東日本大震災被災高齢者における居住形態と貧血発症の関連：The RIAS Study
0-5-3-4	財津 将嘉（獨協医科大学医学部公衆衛生学講座） 妊娠中の職場の受動喫煙と妊娠高血圧症候群：OSAN 研究	0-6-4-2	舟久保徳美	（福島県立医科大学医学部疫学講座） 福島県の避難区域住民における食事・社会活動とフレイルとの関連
0-5-3-5	山崎 嘉久（あいち小児保健医療総合センター） NDB を活用した乳幼児健康診査の医療経済学的分析に関する研究	0-6-4-3	後藤 悦	（京都大学大学院医学研究科社会健康医療学専攻医療経済学分野） 通所リハビリテーションにおける Timed Up & Go 維持改善の要因分析

第6分科会 高齢者のQOLと介護予防

座長：安田 誠史（高知大学教育研究部医学学系（公衆衛生学））

0-6-1-1	小嶋 雅代（国立長寿医療研究センターフレイル研究部） 社会参加とフレイル：関節リウマチ患者と「健康とくらしの調査2016」参加者との比較	0-6-4-4	塩谷竜之介	（千葉大学） 都市型介護予防モデルでは1年後のIADL低下が少ない：JAGES 松戸プロジェクト縦断研究
0-6-1-2	上地 香杜（国立長寿医療研究センターフレイル研究部） フレイル状態にある関節リウマチ患者と地域在住高齢者の比較検討	0-6-4-5	松尾 奏瑛	（社会医療法人社団カレスサポロ時計台記念病院リハビリテーション部理学療法科） 地域在住高齢者の積雪凍結路面での転倒と転倒しない自信の関係性についての調査
0-6-1-3	安岡実佳子（国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センターフレイル研究部） 関節リウマチ患者におけるソーシャルサポートと抑うつとの関連	座長：植木 章三（大阪体育大学教育学部）		
0-6-1-4	南部 泰士（日本赤十字秋田看護大学公衆衛生看護学） 農村地域高齢者の社会的相互扶助と心理的ストレス（K6）の関連	0-6-5-1	佐伯 みか	（（株）ポラリス） COVID-19蔓延によるデイサービス欠席が歩行機能に及ぼす影響
0-6-1-5	新開 省二（女子栄養大学栄養学部地域保健・老年学研究室） 孤食とフレイルまたは精神的健康との関連に社会的支援および孤立は交絡するか	0-6-5-2	原 広司	（京都大学大学院医学研究科社会健康医療学専攻医療経済学分野） COVID-19蔓延によるデイサービスの長期欠席が運動機能とADLに及ぼす影響

座長：森 満（北海道千歳リハビリテーション大学）

0-6-2-1	井上 京子（堺市役所健康福祉局長寿社会部地域包括ケア推進課） 堺市介護予防「あ・し・た」プロジェクト～成果運動型委託契約の成果指標と課題～	0-6-5-3	吉村 典子	（東京大学医学部附属病院22世紀医療センター口コモ予防学講座） 高齢者の自立度を測定する効果的調査票の開発
0-6-2-2	花家 薫（堺市健康福祉局長寿社会部地域包括ケア推進課） 堺市介護予防「あ・し・た」プロジェクトの概要と参加者の特性	0-6-5-4	渡辺修一郎	（桜美林大学大学院老年学研究科） 農村部に在住する後期高齢者の体重の春と夏の間違の実態とその関連要因
0-6-2-3	井手 一茂（長谷川病院） 高齢者の地域組織参加の種類別頻度と認知症発症の関連：JAGES2010-2016縦断研究	0-6-5-5	澤岡 詩野	（（公財）ダイヤ高齢社会研究財団） シニアボランティアポイント制度登録者の近隣との日常の支え合い意識と地域活動の関連
0-6-2-4	東馬場 要（ロツツ株式会社） 高齢者の地域組織参加の数・種類と要介護認定の関連：JAGES2013-2016縦断研究	座長：尾島 俊之（浜松医科大学健康社会医学講座）		
0-6-2-5	飯塚 玄明（亀田ファミリークリニック館山） 通いの場（サロン）への参加はサロン以外の社会参加を促進するか：JAGES 縦断研究	0-6-6-1	衛藤 佑喜	（兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科） 主介護者に対する対処方略の助言による介護負担感への影響：第1報

座長：近藤 克則（千葉大学予防医学センター）

0-6-3-1	永吉 真子（名古屋大学大学院医学系研究科予防医学） 高齢者サロンへの参加状況と味覚・舌圧との関連	0-6-6-2	福川 泰代	（兵庫教育大学大学院人間発達教育専攻） 要支援・要介護高齢者の栄養指導における10品目群チェックシートの活用：第2報
0-6-3-2	飯坂 真司（淑徳大学看護栄養学部栄養学科） 地域在住高齢者の食料品アクセス尺度得点と地理的買い物環境指標の関連	0-6-6-3	岸田 里恵	（筑波大学社会健康医学） 食品の摂取状況とプレサロコペニア発症に関する追跡研究：CIRCS 研究
0-6-3-3	石田 幸枝（神奈川県大和市役所健康福祉部健康づくり推進課） 管理栄養士における保健事業と介護予防の一体的実施：通いの場の社会的フレイルの課題	0-6-6-4	堀 紀子	（東京都健康長寿医療センター研究所） 地域在住高齢者における視覚機能と転倒の関連の検討 SONIC Study70歳データを用いて
		0-6-6-5	酒井 晶子	（筑波大学医学群医学類） 介護福祉施設入所者の医療費の実態および関連要因
		座長：岡本 希（兵庫教育大学）		
		0-6-7-1	矢野 朋子	（佛教大学保健医療技術学部） 地域在住高齢者における年代別体重減少と6年後調査脱落との関連

- 0-6-7-2 木村 仁美 (筑波大学)
運動習慣とサルコペニア発症に関する追跡研究：
CIRCS 研究
- 0-6-7-3 出井 涼介 (地域ケア経営マネジメント研究所)
Barthel Index の因子不変性と安定性の検討
- 0-6-7-4 澁木 琢磨 (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室)
足圧センサーを用いた自動測定による歩行速度測定：
手動測定法との比較
- 0-6-7-5 嶋 政弘 (九州看護福祉大学看護福祉学部社会福祉学科)
認知症高齢者に対するコミュニケーションを伴う
ハンドケアの取り組み

第7分科会 高齢者の医療と福祉

座長：鈴木隆一郎 (大阪府医師会調査委員会)

- 0-7-1-1 古賀 千絵 (千葉大学予防医学センター)
高齢者虐待と地域レベルの社会的凝集性との関連
マルチレベル横断研究 JAGES2016
- 0-7-1-2 吉江 悟 (東京大学高齢社会総合研究機構)
要介護高齢者における主観的幸福感ほか各種主観
的指標と療養場所との関連
- 0-7-1-3 児玉 康子 (十日町市役所市民福祉部医療介護課地域包括ケ
アシステム推進係)
高齢者介護施設に勤務する介護職員の感染予防対
策に関するニーズ
- 0-7-1-4 中谷 友哉 (奈良県立医科大学公衆衛生学講座)
医療・介護職の多職種連携における課題とその発
生要因に関する研究
- 0-7-1-5 建部 壮 (奈良県立医科大学公衆衛生学講座)
心肺蘇生を望まない心肺停止傷病者の救急搬送に
関する奈良県広域消防組合の対応分析

座長：二宮 利治 (九州大学大学院医学研究院衛生・公衆衛生学分野)

- 0-7-2-1 神出 計 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)
人生の最終段階における意思決定支援に関する全
国調査
- 0-7-2-2 里村 一成 (京都大学医学部公衆衛生学教室)
KDB システムから見た後期高齢者終末期医療費
の現状
- 0-7-2-3 長谷田真帆 (東京大学大学院医学系研究科健康教育・社会学
分野)
希望する最期の場所の選びにくさと社会経済的状
況の関連：JAGES 横断研究
- 0-7-2-4 北村 智美 (東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学
専攻高齢者在宅長期ケア看護学／緩和ケア看護学
分野)
高齢 COPD 患者における在宅医療・介護サービ
ス利用状況と入院との関連
- 0-7-2-5 上月 渉 (大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学
研究科)
回復期リハビリテーション病棟における患者家族
の「介助効力感」に関連する要因

第8分科会 地域社会と健康

座長：栗山 長門 (京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫
学教室)

- 0-8-1-1 高杉 友 (千葉大学大学院医学薬学部)
地域レベルの教育年数と認知症リスクの関連：
JAGES 6年間の縦断コホート研究
- 0-8-1-2 宮國 康弘 (国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研
究センター老年学評価研究部)
地域レベルの社会参加と介護給付費との関連：
JAGES 縦断データによるマルチレベル分析

- 0-8-1-3 片岡 徳祐 (国際医療福祉大学大学院)
町田市N地区のある老人クラブにおける健康関連
QOL と生活習慣の関連調査
- 0-8-1-4 西垣 美穂 (千葉大学医学薬学府先進予防医学共同専攻)
高齢者のうつと地域の水辺の関連：JAGES
2016横断研究
- 0-8-1-5 渡邊 路子 (新潟青陵大学看護学部)
新潟県阿賀町の成人期から高齢期における睡眠の
実態調査

座長：井原 一成 (弘前大学大学院医学研究科社会医学講座)

- 0-8-2-1 尾島 俊之 (浜松医科大学健康社会医学講座)
人口減少と抑うつとの関連
- 0-8-2-2 渡邊 良太 (津島市民病院)
青壮年者の社会参加の種類・数とメンタルヘルス
の関係
—大都市における横断研究—
- 0-8-2-3 藤原 佳典 (東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と
地域保健研究チーム)
世代別にみた対面・非対面交流が心身の健康の低
下ならびに改善に及ぼす影響
- 0-8-2-4 金森万里子 (東京大学大学院医学系研究科)
都市／農村の抑うつの格差：市町村・小学校区の
地区単位別の検討 JAGES
- 0-8-2-5 岩田 豊人 (秋田大学医学部衛生学・公衆衛生学講座)
疾病分類表小分類を用いた保険診療点数集計の試
み (全国健康保険協会秋田県データ)

座長：亀井美登里 (埼玉医科大学)

- 0-8-3-1 畑野 相子 (敦賀市立看護大学)
A 市の生活環境における10代の若者の生活習慣
と健康意識の実態 (第1報)
- 0-8-3-2 野沢 和也 (敦賀市立看護大学)
A 市出身者と転入者別に見た成人の生活習慣と健
康意識の実態 (第2報)
- 0-8-3-3 越智真奈美 (国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部)
学校における所得格差が子どもの自己評価に与え
る影響 A-CHILD 調査より
- 0-8-3-4 前田 恵 (九州大学大学院医学研究院医療経営管理理学講座)
心不全患者における低所得と発症時重症度との関
連：LIFE Study

第9分科会 難病・障害の医療と福祉

座長：岩隈 美穂 (京都大学大学院医学研究科医学コミュニケーション
学分野)

- 0-9-1-1 戸田 真里 (京都難病相談・支援センター)
支援者講座から分析する難病患者のコミュニケー
ション支援の現状
- 0-9-1-2 丸谷 美紀 (国立保健医療科学院)
難病患者支援従事者研修 (保健師等) における演
習方法の開発
- 0-9-1-3 空保 紀子 (京都府立医科大学大学院保健看護学研究科)
介護支援専門員の神経難病患者の意思決定支援に
おける困難感と関連要因の検討
- 0-9-1-4 井上 由佳 (川崎市立看護短期大学)
SLE 療養女性の就労実態と QOL に関連する要
因
- 0-9-1-5 大久保 豪 (株式会社 BMS 横浜)
感染症発生時の中心的公的機関による情報提供：
OECD 諸国の手話動画公開状況

第10分科会 精神保健福祉

座長：金子 善博（独立行政法人労働者健康安全機構）

- 0-10-1-1 阿部 一昭（医療法人社団翠会陽和病院）
地域で生活する統合失調症を有する当事者の結婚
についての訪問看護師のとりえ
- 0-10-1-2 森川 梢（秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生
学講座）
秋田県北部 A 町住民における過去1か月間の希死
念慮に与えるリスク因子の検討
- 0-10-1-3 山本 泰輔（北海道大学大学院医学研究院・医学院公衆衛生
学教室）
覚せい剤依存症患者の特徴と治療予後の関連
- 0-10-1-4 中村 恒穂（千葉大学予防医学センター）
都道府県単位におけるソーシャル・キャピタル指
標と自殺との関連分析

座長：本橋 豊（自殺総合対策推進センター）

- 0-10-2-1 杉浦 寛奈（東京大学）
精神科強制入院決定の患者・家族・医師の経験：
協働質的研究
- 0-10-2-2 大内 誌（山梨県峡東保健福祉事務所）
精神保健福祉法第23条による警察官通報の実態
分析
- 0-10-2-3 二飯田真由美（川口市保健所疾病対策課）
精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築
におけるアウトリーチ事業の考察
- 0-10-2-4 伊藤 弘人（労働者健康安全機構）
メンタルヘルスの観点からみた災害への備え

第11分科会 口腔保健

座長：福田 雅臣（日本歯科大学生命歯学部衛生学講座）

- 0-11-1-1 渡邊 瑞穂（富士・東部保健福祉事務所）
富士・東部保健所管内市町村の乳幼児う歯予防対
策推進における保健所の役割
- 0-11-1-2 山家 祐美（汐田総合病院）
歯周病と肥満との関連の男女差に関する研究
- 0-11-1-3 梅原 典子（東北大学大学院歯学研究科）
口腔機能と現在歯数の死亡との関連：地域在住高
齢者における JAGES 縦断研究
- 0-11-1-4 藤久保美紀（株式会社 DentaLight）
レセプトデータを用いた糖尿病患者の歯科受診状
況と抜歯の分析

第12分科会 感染症

座長：前田 秀雄（東京都北区保健所）

- 0-12-1-1 若林チヒロ（埼玉県立大学健康開発学科健康行動科学専攻）
健康状態15年間の変化―「HIV 陽性者の健康と
生活に関する全国調査」(第1報)
- 0-12-1-2 生島 嗣（ぶれいす東京）
地域における HIV 検査―「HIV 陽性者の健康と
生活に関する全国調査」の結果から
- 0-12-1-3 大木 幸子（杏林大学保健学部看護学科）
高齢期の備えと関連要因―「HIV 陽性者の健康
と生活に関する全国調査」(第3報)―
- 0-12-1-4 野田 龍也（奈良県立医科大学公衆衛生学講座）
レセプト情報・特定健診等情報データベース
(NDB)：HIV/AIDS の現在通院患者数の把握
- 0-12-1-5 駒田 謙一（国立国際医療研究センター国際医療協力局）
ベトナム中南部における HBS 抗原保有率の推定
による B 型肝炎予防接種プログラムの評価

座長：西浦 博（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻環境
衛生学分野）

- 0-12-2-1 岸本 知大（東京都葛飾区保健所）
東京都葛飾区における新型コロナウイルス感染者
の第一波の特徴について
- 0-12-2-2 谷村 晋（三重大学大学院医学系研究科広域看護学領域）
納豆消費と COVID-19 死亡数の地域相関：地理
加重ゼロ過剰ポアソン回帰モデルによる検討
- 0-12-2-3 蒲田脩圭里（大阪市保健所感染症対策課）
接触者健診における60歳以上の者に対する
IGRA 検査についての考察
- 0-12-2-4 堀 愛（筑波大学医学医療系国際社会医学研究室）
2019年度40代男性の風疹第5期定期接種制度
利用に関連する要因の検討
- 0-12-2-5 大谷 成人（兵庫医科大学医学部公衆衛生学教室）
水痘・帯状疱疹ウイルスの各種抗体検査法におけ
る感度・特異度の検討

座長：白井 千香（枚方市保健所）

- 0-12-3-1 中村 撰（福岡市博多区保健福祉センター）
福岡市博多区における結核集団感染への取り組み
「日本語学校生への DOTS 支援」
- 0-12-3-2 松本 昌子（練馬区健康部豊玉保健相談所）
診断が遅れたため集団感染に至った中耳結核の一
事例
- 0-12-3-3 伊藤陽一郎（岐阜県関保健所）
子育て支援目的で入国した外国出生者から小児結
核が発生した2事例
- 0-12-3-4 岡田 麻友（東京都健康安全研究センター）
東京都における結核対策～行動調査票を用いた感
染源探索～
- 0-12-3-5 阿曾沼里奈（八王子市保健所）
日本語教育機関における結核対策への取組み
- 0-12-3-6 太田 正樹（公財結核予防会結核研究所対策支援部）
処遇困難結核患者の疫学，2013-2014

第13分科会 健康危機管理

座長：奥田 博子（国立保健医療科学院）

- 0-13-1-1 森山 信彰（福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座）
東日本大震災後の成人における運動習慣と精神的
健康状態の関係：福島県県民健康調査
- 0-13-1-2 田島 朋知（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座）
東日本大震災による事故直後の就業状況と
PTSR 及び心理的苦悩の経年変化の関係
- 0-13-1-3 崎坂香屋子（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）
東日本大震災の被災3県におけるアウトリーチ型
料理教室の影響と関連要因に関する研究
- 0-13-1-4 中山 千尋（福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座）
原発事故後の福島県浜通り・避難地域の放射線次
世代影響不安と情報源・メディアの関連
- 0-13-1-5 黒田佑次郎（福島県環境創造センター研究部）
福島県における食の安心感の推移と社会的つなが
りの関係：事故前後10年間の縦断調査
- 座長：安村 誠司（福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座）
- 0-13-2-1 種村菜奈枝（慶應義塾大学薬学部）
市民参加型のリスクコミュニケーションデザイン
開発に向けた検討
- 0-13-2-2 田辺 正樹（三重県医療保健部）
三重県における麻疹アウトブレイクへの対応
- 0-13-2-3 渡邊 康平（芝浦工業大学大学院理工学研究科システム理工
学専攻）
災害発生時の避難行動に影響を与える要因に関す
る調査

- 0-13-2-4 松井陽太郎 (芝浦工業大学理工学研究科システム理工学専攻) 感染症まん延時の予防行動選択に影響する要因の整理
- 0-13-2-5 堀池 諒 (高知県須崎福祉保健所) GISを用いた公園の過密状態の算出と対策シミュレーション
- 0-13-2-6 齋藤 智也 (国立保健医療科学院健康危機管理研究部) 感染症危機管理強化に向けた脆弱性評価と自治体間ピアレビュー手法の検討

座長：池田 雄史 (京都市保健福祉局医療衛生推進室)

- 0-13-3-1 三木紗矢香 (大阪府茨木保健所) 新型コロナウイルス感染症の保健所対応から茨木保健所職員が捉えた課題
- 0-13-3-2 荒田 恵 (京都府中丹西保健所保健課) 新型コロナウイルス第一波における京都府北部の保健所での対応経験
- 0-13-3-3 須釜 千宏 (八尾市保健所) 中核市保健所における新型コロナウイルス感染症流行時の検査・受診体制の整備について
- 0-13-3-4 原 康之 (三重県医療保健部) 三重県における新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の対応状況について
- 0-13-3-5 平尾 晋 (公益財団法人結核予防会結核研究所対策支援部) 東京都北区特別養護老人ホームへの保健所及び健康福祉部による新型コロナ対策巡回活動

座長：市川 学 (芝浦工業大学システム理工学部)

- 0-13-4-1 木村 香菜 (名古屋市保健所西保健センター) スポーツ関連施設での新型コロナウイルス感染症のクラスター感染事例の記述疫学報告
- 0-13-4-2 田邊 裕 (名古屋市保健所中保健センター) 新型コロナウイルス感染症発生初期における保健センターでの対応についての報告
- 0-13-4-3 遠藤 幸男 (総合南東北病院予防医学研究所) 新型コロナウイルス感染症における地域の取り組み
- 0-13-4-4 中森 知毅 (労働者健康安全機構横浜労災病院救命救急センター救急災害医療部) ダイヤモンド・プリンセス号の船内医療対策本部初動時の問題と理想的解決案
- 0-13-4-5 佐久間信行 (北海道日高振興局保健環境部保健行政室 (北海道浦河保健所)) 新型コロナ感染症対応で、保健所として悩ましかったことやこれからの対応
- 0-13-4-6 山田 由佳 (佐賀県健康福祉部健康増進課) 大規模災害における行政保健師の活動に関する研究

座長：宮園 将哉 (大阪府健康医療部)

- 0-13-5-1 村上 達典 (大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科) COVID19の影響で面会禁止となった患者家族との情報共有に ICT を用いた取り組み
- 0-13-5-2 喜多 桂子 (帝京大学大学院公衆衛生学研究科) 大学における包括的な COVID-19対策：帝京大学板橋キャンパスの取り組み
- 0-13-5-3 奥田 祐亮 (和歌山県福祉保健部健康局健康推進課) 新型コロナウイルス感染症患者へのイムノクロマト法検査に関する疫学的有用性の検討
- 0-13-5-4 千々木祥子 (筑波大学大学院人間総合科学学術院) 外出自粛による健康悪影響へのプロセス-SWC プロジェクト56-

- 0-13-5-5 武田 光史 (埼玉医科大学医学部社会医学) 特別養護老人ホームにおける COVID-19感染者発生経緯と今後の対策

第14分科会 医療制度・医療政策

座長：岡本 悦司 (福知山公立大学地域経営学部)

- 0-14-1-1 白倉 悠企 (新潟大学医歯学総合研究科十日町いきいきエイジング講座) 新潟県十日町市の小地域における人口推計を用いた医療・介護需要の予測
- 0-14-1-2 板谷 智也 (金沢大学医薬保健研究域) レセプト・健診データの結合による医療費に関する記述疫学的研究
- 0-14-1-3 中西 康裕 (奈良県立医科大学公衆衛生学講座) 大規模レセプトデータを用いた百寿者及び非百寿者の死亡前医療費の比較
- 0-14-1-4 近藤 尚己 (東京大学大学院医学系研究科健康教育・社会学分野) 独居・不就労と頻回受診：生活保護受給者管理情報と医療扶助レセプトの連結データ解析
- 0-14-1-5 慎 重虎 (京都大学大学院医学研究科社会健康医療学専攻医療経済学分野) 急性心筋梗塞患者における PCI 実施割合の地域差とその関連要因：NDB を用いた分析

座長：里村 一成 (京都大学医学部社会健康医学系健康政策・国際保健学)

- 0-14-2-1 小川 裕貴 (奈良県立医科大学公衆衛生学講座) 奈良県における心房細動に対するカテーテルアブレーション治療時の麻酔管理の現状
- 0-14-2-2 大塚 駿 (国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院) 医療放射線に係るリスクコミュニケーションの実態調査
- 0-14-2-3 田頭祥之助 (東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室) 商業誌の病院ランキングとがん登録に基づくがん患者アウトカムの関連
- 0-14-2-4 加藤 浩樹 (医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所国際栄養情報センター) 栄養政策による循環代謝疾患予防の将来予測的シミュレーションに関するレビュー
- 0-14-2-5 山口 一郎 (国立保健医療科学院生活環境研究部) 介助が必要な患者の放射線検査時における医療従事者の放射線安全確保

座長：林田 賢史 (産業医科大学病院医療情報部)

- 0-14-3-1 前田 恵理 (秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座) 都道府県等における特定不妊治療実施医療機関の認定審査状況
- 0-14-3-2 左 勝則 (埼玉医科大学産科婦人科) 生殖補助医療を利用する患者の所得と特定不妊治療支援事業利用状況の関連
- 0-14-3-3 文 靖子 (京都大学大学院医学研究科医療経済学分野) 小児がん領域における制吐剤ガイドラインの一致率と疾患の関連調査
- 0-14-3-4 糸島 尚 (京都大学大学院医学研究科医療経済学分野) 免疫化学療法時の固形腫瘍患者への B 型肝炎ウイルスのスクリーニングと再活性化の検討
- 0-14-3-5 田中 素子 (筑波大学人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻ヒューマンケア科学プログラム保健医療政策学・医療経済学) 百日咳含有ワクチンの就学前児童への追加接種に関する費用効果分析

第15分科会 公衆衛生従事者育成

座長：麻原きよみ（聖路加国際大学大学院看護学研究所）

- 0-15-1-1 吉松 美美（帝京大学大学院公衆衛生学研究所）
公衆衛生学教育としての感染対策活動：コンピテンシー向上への効果（学生の視点から）
- 0-15-1-2 中沢 真也（慶應義塾大学）
医科大学・医学部の研究成果に関するプレスリリース制作・発行の現状報告
- 0-15-1-3 佐々木典子（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野）
若手医師の診療ガイドライン活用の関連要因—教育、電子媒体への嗜好と病院IT環境
- 0-15-1-4 牛山 明（国立保健医療科学院）
国立保健医療科学院における養成訓練での効果的なオンライン研修の実践と課題
- 0-15-1-5 石崎 美保（千里金蘭大学看護学部）
地域診断における市町村人口を基にした比較基準の確立：e-Statを活用した疫学的検討
- 0-15-1-6 前川 桐子（神戸大学大学院保健学研究科）
医療機関に所属する新任臨床検査技師のコンピテンシー
- 0-15-1-7 塩見 美抄（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻）
ARによる実践改善プログラムに参加した保健師組織の地域アセスメントの変化

第16分科会 保健所・衛生行政・地域保健

座長：岡本 玲子（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）

- 0-16-1-1 亀田 義人（千葉大学医学部附属病院）
新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づくCOVID-19臨時病院設置の法的実務的課題
- 0-16-1-2 柳生 善彦（奈良県吉野保健所）
公衆衛生の定義（C.E.A.Winslow, 1920）の2020年における保健所への適用と適応の検証
- 0-16-1-3 玉川 淳（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部）
「公衆衛生」を目的に規定する法律の制定状況
- 0-16-1-4 武野 真澄（大分県こころとからだの相談支援センター）
看護の地域ネットワークを通じた地域包括ケアシステムの推進

座長：荒木田美香子（川崎市立看護短期大学）

- 0-16-2-1 橋本 明弓（東京大学大学院健康科学・看護学専攻）
都道府県における母子保健対策の生産効率性
- 0-16-2-2 三浦 直美（大分県東部保健所）
青壮年期の運動定着推進の取組～業種に応じた運動プログラムの活用をめざして～
- 0-16-2-3 山野 貴司（和歌山県立医科大学地域・国際貢献推進本部地域医療支援センター）
医学部学生教育のリモート化と地域保健医療グループワークへの影響の検証
- 0-16-2-4 高田 大輔（京都大学大学院医学研究科医療経済学分野）
従事産業による腎機能低下リスク：健診受診者大規模データ解析
- 0-16-2-5 星 真奈実（東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野）
都道府県間の健康寿命の差に関連する要因の検討

第17分科会 公衆栄養

座長：中村美詠子（浜松医科大学健康社会医学講座）

- 0-17-1-1 山本かおり（東洋大学食環境科学研究所）
地域在住高齢者の認知機能・生活機能に対する多様な食品摂取と睡眠の質の複合的な関連

- 0-17-1-2 於 タオ（慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究所）
85歳以上の高齢者の食事パターンの抽出及び栄養素摂取と身体的特徴との関連
- 0-17-1-3 加藤 祐子（京都府丹後保健所）
スーパーマーケットと連携した適塩の取組み～中食世代に向けた総菜の塩分表示～
- 0-17-1-4 櫻井 勝（金沢医科大学医学部衛生学）
主食・主菜・副菜のそろった栄養バランスの良い食事と体重増加の関連
- 0-17-1-5 西牧 光希（会津大学コンピュータ理工学部）
BDHQ データを用いた食事パターン地域差比較の基礎検討

座長：井上 清美（姫路獨協大学看護学部）

- 0-17-2-1 根津 のあ（静岡県立大学食品栄養科学部公衆衛生学研究室）
肥満に対するアミノ酸摂取量と腸内細菌叢の関連：四季食事調査の横断的検討
- 0-17-2-2 袴田 菜月（静岡県立大学食品栄養科学部公衆衛生学研究室）
肥満に対する四季食事調査のn-6 PUFA 摂取量と赤血球膜構成割合、遺伝要因の横断的検討
- 0-17-2-3 古郡かすみ（静岡県立大学食品栄養科学部公衆衛生学研究室）
肥満に対するアルコール摂取量と遺伝要因の関連：四季食事調査の横断的検討
- 0-17-2-4 可児 美月（静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府食品栄養科学専攻公衆衛生学研究室）
多重代入法を用いた血清アディポネクチン濃度と遺伝要因、食事要因、季節の関連
- 0-17-2-5 五領田小百合（辻料理教育研究所研究部門）
実店舗におけるナッジを用いた健康的な食行動を促す仕組みの効果はいつまで続くのか
- 0-17-2-6 東 あかね（京都府立大学大学院生命環境科学研究科健康科学研究室）
3歳児健診における児と両親の尿中食塩、ナトリウムカリウム比および食習慣調査

第19分科会 食品衛生・薬事衛生

座長：神奈川芳行（奈良県立医科大学公衆衛生学講座）

- 0-19-1-1 伊東 則彦（北海道江差保健所）
北海道南檜山管内における野生大麻撲滅対策について
- 0-19-1-2 森永 八江（山口大学教育学部家政教育選修）
ハチミツを原因とする乳児ボツリヌス症について
- 0-19-1-3 栗原裕香理（名古屋保健所北保健センター健康安全課）
老人福祉施設における給食の衛生に関する考察

第20分科会 産業保健

座長：伊藤 俊弘（旭川医科大学医学部看護学科看護学講座）

- 0-20-1-1 須賀 万智（東京慈恵会医科大学環境保健医学講座）
治療と仕事の両立支援の現状と課題 ～全国労働者12,000名のアンケート調査より
- 0-20-1-2 藤村 裕子（富山大学地域連携推進機構地域医療・保健支援部門）
労働者の生活の質と介護の度合いとの関係：日本公務員研究
- 0-20-1-3 福田 洋（順天堂大学大学院医学研究科先端予防医学・健康情報学講座）
企業の新型コロナウイルスへの対応と産業保健活動へのインパクト
- 0-20-1-4 立瀬 剛志（富山大学学術研究部疫学・健康政策学講座）
1年後の仕事満足度の決定要因：仕事のどの側面による充足が全体満足に寄与するか
- 0-20-1-5 高田 理浩（味の素株式会社バイオ・ファイン研究所）
アミノ酸濃度バランスの検査導入による労働生産性の効果に関する肺がんを事例とした一考

0-20-1-6 小田原 幸 (国立がん研究センター社会と健康研究センター
行動科学研究部実装科学研究室)
実装マッピングを使用した職域におけるがん予防
対策の実装戦略開発

0-23-2-2 小宮山 潤 (筑波大学大学院フロンティア医科学専攻ヘルス
サービスリサーチ分野)
高齢者の心疾患術後における外来心臓リハビリ
テーション実施状況と実施関連因子の検討

0-23-2-3 塚尾 晶子 (つくばウエルネスリサーチ)
データヘルスによる EBPM への転換と業務量削
減効果の検証—SWCPJ (54)

0-23-2-4 石丸 美穂 (筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分
野)
歯科医師勤務病院の病院特性と医科歯科連携加算
の地域格差の検討

0-23-2-5 小池 創一 (自治医科大学地域医療学センター地域医療政策
部門)
プライマリケアへのアクセスを確保するために必
要な医師数に関する検討

第21分科会 環境保健

座長：原田 浩二 (京都大学大学院医学研究科環境衛生学分野)

0-21-1-1 西浜柚季子 (国立環境研究所)
妊娠期のパーソナルケア製品使用と新生児の先天
性腎尿路異常との関連

0-21-1-2 陳 ユル (千葉大学大学院医学薬学府)
街路の接続性と高齢者うつとの関連：JAGES
2013-2016縦断研究

0-21-1-3 須曾 淳磨 (順天堂大学医学部衛生学講座)
飲水の PFOA 濃度が大阪府の肝臓癌による年齢
調整死亡率を全国一位にした

第22分科会 国際保健

座長：町田 宗仁 (金沢大学医学系国際保健学)

0-22-1-1 中澤 眞生 (筑波大学人間総合科学研究科)
カンボジア・バタンバン州における中学生の月
経マネジメント

0-22-1-2 佐々木由理 (国立保健医療科学院)
ミャンマーの都市部と農村部の男女高齢者のうつ
リスク要因の相違

0-22-1-3 長嶺由衣子 (東京医科歯科大学介護・在宅医療連携システム
開発学講座)
ミャンマーの高齢者における Wealth Index と
高血圧治療アドヒアランスの関連

0-22-1-4 瀬川 裕美 (京都大学医学研究科医療経済学分野)
精神的健康状態と自殺企図の要因：ブータン王国
第三次国民総幸福量調査より

0-22-1-5 新杉 知沙 (医薬基盤・健康・栄養研究所)
スリランカ小学生における問題行動と栄養不良と
の関連

第23分科会 保健医療介護サービス研究

座長：田宮菜奈子 (筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野、
筑波大学ヘルスサービス開発研究センター)

0-23-1-1 林 慧茹 (株式会社エクスウィザーズ)
機械学習を用いた医療・介護・健診・所得からの
個人将来要介護度予測に関する研究

0-23-1-2 中部 貴央 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻
医療経済学分野)
介護事業所における職員の精神的健康状態と利用
者の QOL、組織文化との関連

0-23-1-3 山田 和輝 (同志社大学大学院理工学研究科数理環境科学専
攻統計ファイナンス研究室)
患者満足度の自然言語処理における感情分析モデ
ルの有効性の検証と判定

0-23-1-4 堀内 美佐 (東京大学総括プロジェクト機構「プラチナ社会」
総括寄付講座)
PDCA サイクルの実践に向けた自治体の業務プ
ロセス分析：健康づくり啓発イベントの例

座長：高橋 秀人 (国立保健医療科学院)

0-23-2-1 谷口 雄大 (筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科
学研究群医学学位プログラム)
死因別、療養場所別にみた要介護高齢者の病院死
割合の推移

一般演題（示説）一覧

※「示説 - 分科会No - セッションNo - 演題発表No」

例) P-1-1-1

第1分科会	疫学・保健医療情報	P-1-1-1～P-1-2-11
第2分科会	ヘルスプロモーション	P-2-1-1～P-2-3-10
第3分科会	生活習慣病・メタボリックシンドローム	P-3-1-1～P-3-5-11
第4分科会	保健行動・健康教育	P-4-1-1～P-4-4-10
第5分科会	親子保健・学校保健	P-5-1-1～P-5-7-10
第6分科会	高齢者の QOL と介護予防	P-6-1-1～P-6-6-10
第7分科会	高齢者の医療と福祉	P-7-1-1～P-7-4-8
第8分科会	地域社会と健康	P-8-1-1～P-8-4-10
第9分科会	難病・障害の医療と福祉	P-9-1-1～P-9-1-11
第10分科会	精神保健福祉	P-10-1-1～P-10-2-10
第11分科会	口腔保健	P-11-1-1～P-11-2-11
第12分科会	感染症	P-12-1-1～P-12-3-10
第13分科会	健康危機管理	P-13-1-1～P-13-5-9
第14分科会	医療制度・医療政策	P-14-1-1～P-14-2-9
第15分科会	公衆衛生従事者育成	P-15-1-1～P-15-2-11
第16分科会	保健所・衛生行政・地域保健	P-16-1-1～P-16-2-13
第17分科会	公衆栄養	P-17-1-1～P-17-3-11
第18分科会	健康運動指導	P-18-1-1～P-18-1-4
第19分科会	食品衛生・薬事衛生	P-19-1-1～P-19-1-10
第20分科会	産業保健	P-20-1-1～P-20-3-9
第21分科会	環境保健	P-21-1-1～P-21-2-8
第22分科会	国際保健	P-22-1-1～P-22-1-7
第23分科会	保健医療介護サービス研究	P-23-1-1～P-23-2-8
EP	English Session	P-E-1-1～P-E-3-7

※English Session は77頁に掲載

第1分科会 疫学・保健医療情報

座長：馬場園 明（九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座）

- P-1-1-1 今井 博久（東京大学大学院医学系研究科地域医薬システム学講座）
全国調査による在宅医療の抗認知症薬に関する薬剤疫学（1）
- P-1-1-2 中尾 裕之（宮崎県立看護大学）
全国調査による在宅医療の抗認知症薬に関する薬剤疫学（2）
- P-1-1-3 上野 悟（地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター認知症未来社会創造センター）
国際的な課題解決に向けた超高齢社会研究におけるデータの利活用
- P-1-1-4 大丸 香（筑波大学人間総合科学研究群公衆衛生学学位プログラム）
地域健康診断における聴力低下と関連因子
- P-1-1-5 荒井今日子（埼玉県衛生研究所）
循環器系疾患、悪性新生物による死亡と市町村別の特定健康診査結果との関連
- P-1-1-6 富岡 公子（奈良県立医科大学県民健康増進支援センター）
喫煙と心の健康との量反応関係における性差－国民生活基礎調査の匿名データより
- P-1-1-7 Gu Yan-Hong（大阪医科大学衛生学・公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ教室）
日本における日本人と日本における外国人の年齢別人口と慢性疾患の統計指標の比較研究
- P-1-1-8 新野真理子（国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター）
全国がん登録情報を利用した悪性中皮腫の罹患数等調査
- P-1-1-9 木下 優（日本大学大学院医学研究科社会医学系衛生・公衆衛生学専攻）
中高生における睡眠同伴症（寝ぼけ・悪夢・金縛り）の男女別発症の縦断的疫学研究
- P-1-1-10 石原 裕也（藤田医科大学大学院保健学研究科）
住民健診受診者における白血球中 TXNIP 遺伝子の DNA メチル化率と血清脂質との関連
- P-1-1-11 佐野 堯（自治医科大学公衆衛生学部門）
Google API を用いた位置座標特定による川崎病クラスターの抽出（1989-1998）

座長：田原 康玄（京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター）

- P-1-2-1 渡瀬 博俊（江戸川保健所）
COVID-19の治療に必要となる地域入院医療資源の検討
- P-1-2-2 窪山 泉（岡山医療専門職大学）
OECD データベース各国の保健医療指標と COVID-19の死亡率
- P-1-2-3 佐藤 洋子（静岡県立総合病院リサーチサポートセンター統計解析室）
静岡県国民健康保険（SKDB）と健保組合（JMDC）における慢性疾患有病率の比較
- P-1-2-4 川島 正敏（東海旅客鉄道株式会社健康管理センター東京健康管理室）
5年間の体重変化と高血圧の新規発症との関連性について
- P-1-2-5 井手野由季（群馬大学数理データ科学教育研究センター）
我が国の自然閉経後女性におけるホルモン補充療法利用者の特性
- P-1-2-6 内田 博之（城西大学大学院薬学研究科医療栄養学専攻）
埼玉県市町村別の75歳以上人口指数の地域集積性とその関連要因
- P-1-2-7 三重野牧子（自治医科大学情報センター医学情報学）
医療施設の曜日別診療状況と患者調査の総患者数の推計方法

- P-1-2-8 福西 広晃（東京工科大学コンピュータサイエンス学部）
レセプトデータを用いた機械学習による要介護リスク予測方法の開発
- P-1-2-9 尾崎 悦子（京都府立医科大学地域保健医療疫学）
血中25ヒドロキシビタミンD濃度の分布と食品摂取との検討
- P-1-2-10 有吉真季子（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学教室）
母親の喫煙による乳児期受動喫煙と8歳時点の問題行動
- P-1-2-11 三輪のり子（大阪大学大学院医学系研究科）
年齢・時代・世代特性の視点で健康戦略を考えるための基盤情報 Web サイトの開発

第2分科会 ヘルスプロモーション

座長：井上 茂（東京医科大学公衆衛生学分野）

- P-2-1-1 茂木 望（前橋市健康部保健所健康増進課）
A市の企業との協働による健康づくり推進事業登録企業の健康経営に対する取組の実態
- P-2-1-2 宇山 響子（熊本県人吉保健所）
企業の健康づくり活動への支援について
- P-2-1-3 鈴木 研太（日本医療科学大学保健医療学部）
地域ヘルスプロモーションにおける運動動機づけ：運動習慣と脳機能の関連
- P-2-1-4 古川 照美（青森県立保健大学健康科学部看護学科）
健康的な社会をつくるためのシビックプライド尺度開発予備的研究－一親と子の関連－
- P-2-1-5 谷川 涼子（青森県立保健大学健康科学部看護学科）
尺度開発のための予備的検討－シビックプライド尺度開発のための質的研究－
- P-2-1-6 戸沼 由紀（弘前医療福祉大学看護学科）
シビックプライド尺度開発のための予備的研究－地方と都市の比較－
- P-2-1-7 大西 基喜（青森県立保健大学）
青森県立保健大学のヘルスリテラシー向上推進活動
- P-2-1-8 芳我ちより（岡山大学大学院保健学研究科）
健康ポイント事業による医療費抑制効果の検討
- P-2-1-9 吉井 智晴（東京医療学院大学保健医療学部リハビリテーション学科）
大学の授業場面を活用した世代間交流プログラムの検討
- P-2-1-10 月野木ルミ（日本赤十字看護大学看護学部地域看護学領域）
実装研究のための統合フレームワーク（CFIR）における日本版チェックシートの作成
- P-2-1-11 西岡 大輔（東京大学大学院医学系研究科健康教育・社会学分野）
医療機関で用いる患者の生活困窮評価尺度の開発

座長：川村 孝（京都大学大学院医学研究科予防医療学分野）

- P-2-2-1 酒井理紗子（広島大学大学院医系科学研究科）
中学生の主観的健康感と中学生および保護者の生活習慣との関連
- P-2-2-2 新宅 葉月（広島大学大学院医系科学研究科地域学校看護開発学）
中学1年生時から小学4年生時に遡って考える早期からの生活習慣病予防の必要性
- P-2-2-3 山崎 智子（広島大学大学院医系科学研究科）
中学生の食生活におけるエネルギー量の認識
- P-2-2-4 赤松ひなの（日本女子大学家政学部食物学科管理栄養士専攻）
大学生による乳がん予防情報についての認知度調査（白百祭2019）

P-2-2-5	荒木 裕子 (高知学園大学健康科学部管理栄養学科) 大学生におけるヘルスリテラシー	P-3-1-3	町井 涼子 (国立がん研究センターがん対策情報センターが ん医療支援部検診実施管理支援室) 職域検診における「精度管理のためのチェックリ スト」の妥当性、実行可能性について
P-2-2-6	柳田 昌彦 (同志社大学スポーツ健康科学部) 京都府京田辺市主催の「一休さんウォーク」に参 加したウォーカーの社会的特性	P-3-1-4	加藤 佳子 (神戸大学大学院人間発達環境学研究所) 勤労者の食行動および運動の動機づけとメタボ リックシンドロームとの関連
P-2-2-7	李 相潤 (青森県立保健大学健康科学部) 健康な若年女性における部位別体組成と日常の活 動強度が骨密度に及ぼす影響	P-3-1-5	我妻ゆき子 (筑波大学医学医療系) 握力、体組成と糖尿病の関連についての観察研究
P-2-2-8	八木 麻未 (大阪大学医学部産婦人科) HPV ワクチン勧奨中止下での自治体の個別送付 の重要性：いすみ市の成果	P-3-1-6	岡田 武夫 (大阪がん循環器病予防センター) 高 LDL コレステロール血症とそれに関連する食 習慣の推移
P-2-2-9	尾崎伊都子 (名古屋市立大学大学院看護学研究科) 中小企業における運動および健康的な食生活の推 進のための組織的取り組みの実態	P-3-1-7	嶋田誠太郎 (横浜市役所健康福祉局保険年金課) 特定健診無償化により受診行動は促されるのか？ 横浜市国民健康保険での検証
P-2-2-10	鈴川 一宏 (日本体育大学体育学部) 地方と都市における主観的健康感に関連する社 会・地域環境の質の比較	P-3-1-8	高橋 拓耶 (全国健康保険協会富山支部) 特定健診受診者のリスクパターン別生活習慣
P-2-2-11	山口 大輔 (明治安田厚生事業団体力医学研究所) 企業における無関心層が参加する運動の取組みの 特徴—ナッジ理論に基づく質的分類—	P-3-1-9	平良あゆみ (群馬県健康福祉部保健予防課) 持続血糖モニター (FGM) を用いた糖尿病予防 指導プログラムの検討
座長：古川 壽亮 (京都大学大学院医学研究科健康増進・行動学分野教 授)		P-3-1-10	高森 行宏 ((公財) 田附興風会北野病院健康管理センター) 高齢女性における継続的サプリメント摂取および 運動習慣と健康状態との関連について

P-2-3-1	吹田 晋 (慶應義塾大学看護医療学部) 小規模事業場における従業員のメンタルヘルス対 策に対する管理者の認識
P-2-3-2	西 圭司 (安芸太田町) 中山間地域における小規模事業場の管理者の視点 から考える地域・職域連携の推進方法
P-2-3-3	中村健士郎 (高知大学医学部環境医学教室) 高知県四万十市における就労者年代別の主観的健 康観に関わる因子の検討
P-2-3-4	片田江由佳 (福岡地域戦略推進協議会) ソーシャル・インパクト・ボンドを活用したフレ イル予防実証事業の多面的展開と評価
P-2-3-5	芝田登美子 (三重県医療保健部健康推進課) 三重県における地方創生を見据えた健康づくり
P-2-3-6	石田 紀子 (桑名市役所保健福祉部保健医療課) 「卓球珈琲 (カフェ)」健康プログラムの参加者 に与える効果と保健師の役割
P-2-3-7	阿部 巧 (東京都健康長寿医療センター研究所) 高齢期の社会参加が健康行動の継続に及ぼす影 響：社会活動の種類に着目した縦断研究
P-2-3-8	野中久美子 (東京都健康長寿医療センター研究所) Roles of municipal government in order to promote civic activities
P-2-3-9	本田 順子 (兵庫県立大学看護学部) 糖尿病予防を目的としたポピュレーションアプ ローチ：先駆的事例の文献レビュー
P-2-3-10	櫻井 純子 (慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科) 離島における講演会と簡易介入 (B I) 実施1年 後の評価に基づく減酒支援方法の提案

第3分科会 生活習慣病・メタボリックシンドローム

座長：森島 敏隆 (大阪国際がんセンターがん対策センター)	
P-3-1-1	櫻井しのぶ (順天堂大学医療看護学部) 若年女性の隠れ肥満に関連する生活要因 [第1報] -20代における「歩行速度」との関係-
P-3-1-2	中西 唯公 (順天堂大学スポーツ健康科学部) 若年女性の隠れ肥満に関連する生活要因 [第2報] -「20歳からの体重増加」との関係-

座長：渡邊 能行 (京都先端科学大学健康医療学部看護学科)	
P-3-2-1	由田 克士 (大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科 学講座公衆栄養学) 特定健康診査成績をもとにした階層化基準を変更 した場合の影響評価
P-3-2-2	竹内 正人 (京都大学大学院医学研究科薬剤疫学分野) 特定健診の受検間隔と糖尿病発症に関する検討： parametric g-formula によるリスク推定
P-3-2-3	横川 吉晴 (信州大学医学部保健学科) 特定健診受診者の不眠症評価と健診項目の関連
P-3-2-4	岩永 直美 (全国健康保険協会愛媛支部) 特定保健指導における推定塩分摂取量検査活用の 生活習慣改善意識変化への影響
P-3-2-5	荒川美穂子 (滋賀県甲賀健康福祉事務所 (甲賀保健所)) 特定健診糖尿病要医療者に対する糖尿病連携医を 核とした地域連携システムについて
P-3-2-6	鈴木 康司 (藤田医科大学医療科学部臨床検査学科) 住民健診受診者における血清 microRNA と5年 間の血圧変化及び高血圧罹患との関連
P-3-2-7	山崎 千穂 (群馬大学大学院医学系研究科公衆衛生学) 特定健診受診者における2年間の治療状況と血糖 コントロール状況の変化
P-3-2-8	山田 真司 (青森県立保健大学健康科学部看護学科) 共分散構造分析による保健指導の健康改善意識、 行動変容、健康改善効果への影響の分析
P-3-2-9	前田 圭介 (藤田医科大学大学院保健学研究科) 住民健診受診者における白血球中 TXNIP 遺伝 子の DNA メチル化率と血糖変化との関連
P-3-2-10	仲 文子 (旭化成株式会社環境安全部) 40歳未満の労働者における生活習慣とワーク・ エンゲイジメントの関連

座長：鈴木 貞夫 (名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野)	
P-3-3-1	清水 悠路 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療学 分野) 甲状腺嚢胞の影響を考慮した潜在性甲状腺機能低 下症と高血圧の関係
P-3-3-2	久松 隆史 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学 分野) 地域住民における JSH2019 にもとづく高血圧 の有病率・認知率・治療率・管理率：益田研究

- P-3-3-3 澤村 早苗 (兵庫県淡路市役所)
糖尿病予防に関連する住民の意識と行動：効果的なアプローチの開発に向けた検討
- P-3-3-4 深澤 明美 (帝京山梨看護専門学校基礎看護学領域)
糖尿病性腎症により透析導入に至る関連要因の地域相関研究による探索
- P-3-3-5 金 光宇 (医療法人社団成和会西新井病院)
児童・生徒による行動変容に着目した足立区における生活習慣病対策の取り組み
- P-3-3-6 藤井 俊吾 (島根県出雲保健所)
島根県における糖尿病の管理状況とその課題に関する分析
- P-3-3-7 長井 万恵 (群馬大学大学院保健学研究科)
女性看護職コホートにおける大豆製品の摂取習慣が骨粗鬆症へ与える影響の断面的検討
- P-3-3-8 大澤 康子 (群馬県立県民健康科学大学看護学部)
地方都市勤労者の血管年齢測定値と生活習慣の関連
- P-3-3-9 眞鍋 佳世 (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室)
尿中Na/Kを考慮した家庭血圧とCardio-ankle vascular index (CAVI) の関連
- P-3-3-10 久保田芳美 (兵庫医科大学環境予防医学講座)
血液凝固・線溶系マーカーの軽度高値と腎機能低下との関連：篠山研究
- P-3-5-3 山本 千穂 (北九州市役所)
循環器病予防対策における介入群の検討【第3】生活習慣病が心不全重症化に与える影響
- P-3-5-4 大岡 忠生 (山梨大学医学部社会医学講座)
Deep Learningを活用して健康診断結果から糖尿病発症を予測する方法の検討
- P-3-5-5 恩幣 宏美 (群馬大学大学院保健学研究科)
乳幼児を育児する妊娠糖尿病既往女性における生活習慣の特徴
- P-3-5-6 高村智重子 (隠岐の島町役場)
A町の国保データからみた壮年期における肺がん検診の意義
- P-3-5-7 堀籠 衣子 (筑波大学人間総合科学研究群公衆衛生学学位プログラム)
握力、体組成変動の腎機能への影響：コホート研究
- P-3-5-8 郡山 千早 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科疫学・予防医学)
就寝時の消灯習慣と乳がん発症リスクについて
- P-3-5-9 岡崎可奈子 (福島県立医科大学新医療系学部設置準備室)
東日本大震災後5年間における生活習慣病発症に及ぼす避難の影響
- P-3-5-10 林 史和 (福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター)
震災後の脂質異常の発症と心理社会的要因との関連：福島県県民健康調査

座長：祖父江友孝 (大阪大学大学院医学系研究科)

- P-3-4-1 金子 千歳 (京都市保健福祉局生活福祉部保険年金課)
京都市国保 特定保健指導の質の確保についての検討
- P-3-4-2 服部 慎一 (全国健康保険協会埼玉支部)
埼玉県における職域保険者と自治体の合同集団健診について
- P-3-4-3 長澤 徹 (帝京大学医学部医学科)
平成24年度秋田県協会けんぽ健診データを用いた身長が高血圧症へ与える影響
- P-3-4-4 黒川 浩美 (大阪青山大学健康科学部健康栄養学科)
年代別朝食摂取状況と血液生化学検査値の関連
- P-3-4-5 諸岡 歩 (兵庫県健康福祉部健康局健康増進課)
骨折リスク因子に関する全国分布と兵庫県の実態—国民健康・栄養調査による検討
- P-3-4-6 藤田ゆうか (名古屋女子大学家政学部食物栄養学科)
服薬有無別による高血圧者の栄養素・食品別摂取量の現状—三重県企業男性社員の事例
- P-3-4-7 黒川 通典 (摂南大学農学部食品栄養学科)
血清尿酸値と関連要因
- P-3-4-8 野上絵理子 (和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科)
中高年男性における累積喫煙量が骨格筋量の減少に及ぼす影響
- P-3-4-9 吾妻 有貴 (西宮市保健所)
対策型検診のマンモグラフィ非検出乳癌における自覚症状を踏まえた視触診の意義
- P-3-4-10 西田 大介 (梅花女子大学看護保健学部看護学科)
滋賀県内がん相談支援センターにおける相談の実態第3報 社会生活・経済的相談の分析
- P-3-4-11 後藤 広恵 (梅花女子大学看護保健学部看護学科)
滋賀県内がん相談支援センターにおける相談の実態 第4報 治療状況別相談内容の特徴

座長：岡村 智教 (慶應義塾大学医学部)

- P-3-5-1 藤本 賢治 (産業医科大学産業保健データサイエンスセンター)
循環器病予防対策における介入群の検討【第1】循環器病が要介護認定に与える影響
- P-3-5-2 淵上 真侑 (北九州市役所)
循環器病予防対策における介護群の検討【第2】要介護者への介入が医療費に与える影響

- P-3-5-11 長尾 匡則 (福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター)
東日本大震災後の肥満発生に対するリスク要因の探索：福島県「県民健康調査」

第4分科会 保健行動・健康教育

座長：平尾 智広 (香川大学医学部公衆衛生学)

- P-4-1-1 宮田瑠里子 (名古屋市立大学大学院看護学研究科)
喫煙者が加熱式タバコを「タバコを吸い続けるための逃げ道」とするプロセス
- P-4-1-2 中野 裕紀 (福島県立医科大学医学部疫学講座)
福島県における東日本大震災の震災前後の喫煙状況：NDB データの解析から
- P-4-1-3 村上 慶子 (東北大学東北メディカル・メガバンク機構)
妊婦の配偶者における喫煙継続・屋内喫煙に関連する社会的要因：三世代コホート調査
- P-4-1-4 西尾 信宏 (和歌山県立医科大学公衆衛生学教室)
医学部付属病院勤務者の喫煙状況の検討 (加熱式タバコ等を含む)
- P-4-1-5 木村 友昭 (一般財団法人 MOA 健康科学センター)
喫煙者而非喫煙者における生活の質 (QOL) および精神性の検討 (第2報)
- P-4-1-6 萩本 明子 (同志社女子大学看護学部)
加熱式たばこの使用実態と使用者の心理—単独使用者と紙巻たばこ併用者の比較
- P-4-1-7 小山史穂子 (大阪国際がんセンターがん対策センター)
日本における電子タバコヘビーユーザーは切り替えてではなく、併用している？
- P-4-1-8 末富 花菜 (京都女子大学家政学部生活福祉学科)
屋外喫煙所内及びその周囲の通路における受動喫煙の程度
- P-4-1-9 稲葉 洋平 (国立保健医療科学院生活環境研究部)
国内で販売されるメンソールたばこ銘柄の主流煙の有害化学物質の分析
- P-4-1-10 渡邊由梨奈 (吹田市立保健センター)
吹田市禁煙治療費助成事業の展望について

座長：田高 悦子（横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野）

- P-4-2-1 笠巻 純一（新潟大学人文社会科学系）
女子学生の間食行動と心理的ストレスの関連：第1学年から第3学年にわたる縦断調査から
- P-4-2-2 石崎 順子（埼玉県立大学保健医療福祉学部）
女子大学生における運動習慣・身体活動量とヘルスリテラシーとの関連
- P-4-2-3 多田 章夫（兵庫大学健康科学部健康システム学科）
大学生における睡眠・メンタルヘルス・自己効力感・ワークエンゲージメントの関連
- P-4-2-4 鈴木 隆史（敦賀市立看護大学）
看護女子大学生の健康状態と身体活動量および食物摂取状況との関連
- P-4-2-5 藤井 麻耶（鳥取大学医学部環境予防医学分野）
未成年の飲酒および喫煙の併存状態による頻度の改善率の差に関する研究
- P-4-2-6 澤村 信哉（筑波大学大学院人間総合科学研究科）
大学生アスリートにおける生活習慣と首尾一貫感との関連
- P-4-2-7 上村 晴子（東京大学未来ビジョン研究センター）
データヘルスを活用した子どもの生活習慣病予防教育からの一考察
- P-4-2-8 松本 悠貴（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）
日本の中高校生における「早寝早起き朝ごはん」の関連因子の調査
- P-4-2-9 田村 晴香（名古屋大学医学系研究科総合保健学公衆衛生看護学）
不眠とスマートフォンの内容別利用時間との関連：高校生を対象とした横断調査の分析
- P-4-2-10 松岡 瑞雄（植草学園大学保健医療学部）
中学生の Screen time と生活習慣病の誘因となる生活習慣との関連

座長：内田 博之（城西大学大学院薬学研究科医療栄養学専攻予防栄養学講座）

- P-4-3-1 埴岡 隆（福岡歯科大学口腔保健学講座）
わが国の歯科診療の実態に則した簡易タバコ介入・トレーニング法の開発
- P-4-3-2 平田紀美子（日本医科大学衛生学公衆衛生学）
有害物質を見える化した加熱式タバコの健康影響教育
- P-4-3-3 濱田 昌範（あかし保健所）
「兵庫県受動喫煙の防止等に関する条例」施行後の病院における喫煙環境の変化
- P-4-3-4 増田 麻衣（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻国際保健学講座健康政策・国際保健学分野）
日本における受動喫煙対策-改正受動喫煙法施行前の各地方自治体の取り組みについて-
- P-4-3-5 鈴木 史明（医療法人定生会谷口病院産婦人科）
A市における11年間の路上喫煙状況の推移
- P-4-3-6 寺村 紗季（筑波大学）
平成20年代における日本人女性の閉経に伴う循環器疾患リスク因子の変化：CIRCS 研究
- P-4-3-7 伊藤 加奈（京都第二赤十字病院看護部）
就業女性における配偶者の存在と乳がん検診受診行動の関連
- P-4-3-8 大野 順子（東京家政大学健康科学部看護学科）
女性の飲酒と健康について-A市の現状と今後の支援のあり方-
- P-4-3-9 田口 良子（鎌倉女子大学家政学部管理栄養学科）
ヘルスリテラシーががん検診の選好の構造に及ぼす影響に関する一考察
- P-4-3-10 渡邊 美貴（名古屋大学大学院医学研究科公衆衛生学分野）
「10年間がん検診未受診」のお知らせがその後のがん検診受診に及ぼす効果の検討

座長：鈴木 孝太（愛知医科大学医学部衛生学講座）

- P-4-4-1 高橋 耕平（全国健康保険協会秋田支部企画総務グループ）
危険飲酒が肝機能に及ぼす影響：H30年度協会けんぽ秋田支部70,533名における検討
- P-4-4-2 小島 亜未（姫路大学）
勤労者の男女別の健康的な食生活に対する行動変容ステージとレジリエンスとの関連
- P-4-4-3 山田 典子（日本赤十字秋田看護大学）
触覚を用いた健康教育の実践 ～障がい者ケアの倫理を考える～
- P-4-4-4 岩佐 由美（森ノ宮医療大学保健医療学部看護学科）
パーキンソン病患者の服薬アドヒアランス-薬を自己調整する患者のニーズ分析-
- P-4-4-5 田村 香奈（群馬県立県民健康科学大学看護学部看護学科）
職場のソーシャル・キャピタルが看護職の予防的保健行動と病気対処行動に及ぼす影響
- P-4-4-6 甲斐村美智子（熊本保健科学大学看護学科）
成熟期女性における月経周期に伴う健康問題の特徴
- P-4-4-7 森河 裕子（金沢医科大学看護学部）
大規模事業所従業員のヘルスリテラシーに関連する要因の横断的分析
- P-4-4-8 杉浦 至郎（あいち小児保健医療総合センター保健室）
愛知県内2市の乳幼児健診における17年間の事故調査
- P-4-4-9 霜触 智紀（新潟大学大学院現代社会文化研究科）
運動部活動の顧問・指導者を対象とした体罰関連要因の尺度開発に向けた因子構造の検討
- P-4-4-10 橋本由利子（東京福祉大学社会福祉学部）
新型コロナウイルス感染症流行時の学生の受診行動と健康観

第5分科会 親子保健・学校保健

座長：川上 浩司（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻薬剤疫学）

- P-5-1-1 関 美雪（埼玉県立大学保健医療福祉学部）
第1子を妊娠している配偶者を対象にしたプレババ教室の取り組みとその効果
- P-5-1-2 船越富喜江（元武庫川女子大学大学院修士課程）
4か月児をもつ母親の妊娠期から育児期における母子保健サービス等の認知と利用状況
- P-5-1-3 志澤 美保（京都府立医科大学大学院保健看護学研究科）
農村地域における切れ目のない子育て支援と体制づくりの検討
- P-5-1-4 稲葉 南（伊根町役場）
伊根町 SST 事業の歩みと展望
- P-5-1-5 湯舟 邦子（東都大学）
産後うつに与える経済状況の感じ方・エジンバラ産後うつ病質問票を活用した調査から-
- P-5-1-6 佐藤 拓代（公益社団法人母子保健推進会議）
母子健康手帳の多言語化と外国人妊産婦への支援第1報：全国市町村の状況
- P-5-1-7 安達久美子（東京都立大学）
母子健康手帳の多言語化及び効果的な支援方法第2報：外国人妊婦への支援
- P-5-1-8 當山 紀子（琉球大学医学部保健学科地域看護学教室）
母子健康手帳の多言語化及び効果的な支援方法第3報：外国人親子への支援事例
- P-5-1-9 植田紀美子（大阪母子医療センター）
母子保健と社会的ハイリスク妊婦 続報～包括支援センター整備後の「にんしん SOS」

P-5-1-10 高山 優紀 (久留米市子ども未来部こども子育てサポートセンター)
久留米市産婦健康診査から見えてきた現状と課題

P-5-1-11 福岡 雅章 (北九州市小倉北区役所保健福祉課地域保健係)
ベトナム国籍妊産婦交流会の開催報告

座長：野村由美子(青森市保健所)

P-5-2-1 廣川 空美 (梅花女子大学看護保健学部)
妊婦の自閉症傾向特性の特徴について：子どもの健康と環境に関する全国調査

P-5-2-2 中島 正夫 (椋山女子大学教育学部)
保育の現場における自閉スペクトラム症の特性がある子どもに対する合理的配慮について

P-5-2-3 周防美智子 (岡山県立大学保健福祉学部保健福祉学科)
児童生徒の問題行動に関する研究 一問題行動と抑うつとの関連に着目して一

P-5-2-4 森永裕美子 (香川大学医学部看護学科)
市町村における幼児の発育に関わる食生活の心配事と支援者の支援内容の実態調査

P-5-2-5 関根恵理香 (高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科)
発達障害児とその家族に対する地方自治体の支援に関する研究の動向と課題

P-5-2-6 山崎 慶子 (高知大学医学部環境医学教室)
日常生活における子どものストレス要因の探索

P-5-2-7 伊藤 聡美 (千葉県船橋市保健所中央保健センター)
児童虐待防止をめざす保健師の地域間連携時の緊急性や支援の必要性の認識の違いと要因

P-5-2-8 須田 由紀 (山梨県立大学看護学部)
自治体規模と育てにくさを感じている親と判断する際の保健師の着目点の重視度との関連

P-5-2-9 後藤 奈穂 (山口大学医学部専攻科保健学専攻)
医療的ケア児に関する個別支援からの地域ケアシステム構築における保健師保健師の役割

P-5-2-10 山出 理恵 (京都府立医科大学保健看護学研究科)
在宅医療的ケア児の母親の生活経験

P-5-2-11 榎原 文 (島根大学医学部看護学科)
特別養子縁組に関する文献的考察

座長：鍋田 淑華(京都市子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部)

P-5-3-1 成田 花奈 (世田谷区玉川総合支所保健福祉センター健康づくり課)
親子支援グループ参加への動機づけと継続意欲をもたらす働きかけ

P-5-3-2 間瀬 知紀 (京都女子大学発達教育学部児童学科)
幼児における体格・体組成に影響を及ぼす生活習慣因子の検討

P-5-3-3 黒谷万美子 (愛知学泉大学家政学部)
幼児の生活習慣と不定愁訴

P-5-3-4 石井 由貴 (筑波大学大学院人間総合科学研究科)
「産後ケア教室」が育休中の母親の精神・身体健康および心理社会的要因に及ぼす効果

P-5-3-5 有本 梓 (横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野)
乳幼児の母親における孤独感に関連する要因一社会的孤立の状況による比較一

P-5-3-6 キット彩乃 (長崎大学生命医科学域保健学系)
1歳6か月児を育てる母親におけるソーシャルサポートに焦点を当てた分析

P-5-3-7 石田実知子 (川崎医療福祉大学保健看護学部保健看護学科)
高校生における自傷行為の経験率に関する3年間の縦断調査

P-5-3-8 井村 亘 (玉野総合医療専門学校)
高校生の性格特性と教師サポートの関連

P-5-3-9 倉内 静香 (青森県立保健大学)
中学生を対象とした SOS の出し方教育におけるピア・サポーター養成について 第2報

P-5-3-10 中川 彩見 (新見公立大学健康科学部看護学科)
就学前児の母親の育児情報リテラシーと援助不安及び精神的健康との関連

座長：白井こころ(大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座)

P-5-4-1 平野かよ子 (宮崎県立看護大学)
乳児健診における保健師の問診と保健指導場面における技術

P-5-4-2 天野こころ (大阪市保健所)
幼児期肥満の発育特性の検討

P-5-4-3 神谷 義人 (名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科)
沖縄県A市の乳幼児における社会経済的状況と生活習慣との関連

P-5-4-4 星 春香 (苫小牧市)
絵本の読み聞かせが養育者と子どもに与える影響

P-5-4-5 渡邊 智 (株式会社バスクリンつくば研究所)
幼少期の入浴の思い出と要因、および入浴剤との関連

P-5-4-6 谷村 美緒 (堺市北保健センター)
子どものメディア利用を含む生活習慣の実態

P-5-4-7 竹内 倫子 (岡山大学病院予防歯科)
1歳6か月児および2歳6か月児におけるう蝕発生要因の比較

P-5-4-8 白石 晶子 (花王株式会社スキンケア研究所)
“楽しさ”が生み出す幼児の手洗い行動変容-保育所2施設の園児の手洗い行動調査-

P-5-4-9 池上 洋未 (慶應義塾大学 SFC 研究所)
母親の就労形態別にみた幼児の睡眠状況の特徴と関連要因

P-5-4-10 竹田美沙希 (筑西市こども部母子保健課)
筑西市のむし歯予防対策事業の現状と課題-親子むし歯予防教室とフッ化物洗口への取組-

座長：藤原 武男(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科国際健康推進医学分野)

P-5-5-1 土田 暁子 (富山大学学術研究部医学系公衆衛生学講座)
富山県の妊婦の妊娠前後の身体活動の傾向について一全国との比較：エコチル調査より

P-5-5-2 笠松 春花 (富山大学エコチル調査富山ユニットセンター)
富山県の母親の産後うつと産後1年時の対児愛着不全一全国との比較：エコチル調査より

P-5-5-3 武内ひかり (相模原市健康福祉局保健衛生部南保健センター)
日本語に不慣れた妊産婦への支援～他課との連携を含めた課題解決に向けた取組み～

P-5-5-4 阿比留千尋 (久留米市子ども未来部こども子育てサポートセンター)
外国人の妊娠・出産及び子育て支援におけるツールの作成

P-5-5-5 板井 麻衣 (順天堂大学医療看護学部公衆衛生看護学)
子育てケアプラン作成に関する効果測定(第6報) ケアプラン使用終了者の調査

P-5-5-6 原田 静香 (順天堂大学医療看護学部公衆衛生看護学)
子育てケアプラン作成に関する効果測定(第7報)一子育て中の母親の精神面の変化一

P-5-5-7 佐藤 玲子 (埼玉県立大学保健医療福祉学部)
首都圏近郊区8市町村の0歳児保護者が受けた予防接種と未接種保護者の状況

P-5-5-8 西田 曜 (和洋女子大学看護学部看護学科)
子育て支援センターを利用している母親の意識調査

P-5-5-9 澤田 優子 (森ノ宮医療大学保健医療学部理学療法学科)
養育者の子育て支援ニーズの質的検討

P-5-5-10 上原 里程 (京都府立医科大学地域保健医療疫学)
子どもの心肺蘇生法に関する保護者の認識：一般住民を対象とした横断研究

座長：中村 晴信 (神戸大学大学院人間発達環境学研究所)

- P-5-6-1 谷口 栄作 (島根県健康福祉部)
島根県における乳幼児健康診査の評価について
- P-5-6-2 松田 宣子 (関西国際大学保健医療学部公衆衛生看護学)
ハイリスク児支援のための看護職間地域連携の実態に関する研究
- P-5-6-3 釜野 桜子 (徳島大学大学院医歯薬学研究部予防医学分野)
母親の妊娠期間中の特性および3歳児の食習慣と児の体格との関連
- P-5-6-4 落合可奈子 (あいち小児保健医療総合センター)
院内保健師による事故予防指導について
- P-5-6-5 岩佐 一 (福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座)
子育て期における父親と母親の精神的健康の関連要因
- P-5-6-6 有本 晃子 (京都市子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部)
乳幼児健診における疾病スクリーニングの評価と課題
- P-5-6-7 安本 理抄 (大阪府立大学大学院看護学研究所)
乳児早期家庭訪問から支援が必要な親子の見極め—訪問日数による分析 (第1報)
- P-5-6-8 上野 昌江 (関西医科大学看護学部)
乳児早期家庭訪問から世代間連鎖が予測される親子の見極め—実母相談の分析 (第2報)
- P-5-6-9 比嘉 憲枝 (名城大学人間健康学部看護学科)
分離による親子関係が青年期の自己概念形成に及ぼす影響に関する文献レビュー
- P-5-6-10 清水 洋子 (東京女子医科大学看護学部)
児童虐待予防のグループ支援の現状と課題—保健師へのインタビュー調査より

座長：中村 幸志 (琉球大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学講座)

- P-5-7-1 南 まりな (高知大学医学部環境医学教室)
親の就労状況が及ぼす子の食生活習慣への影響
- P-5-7-2 中山 久子 (順天堂大学医療看護学部公衆衛生看護学)
運動が苦手な自閉スペクトラム症児の自尊感情を高めるスポーツ教室の環境要因
- P-5-7-3 大河内彩子 (熊本大学大学院生命科学研究部公衆衛生看護学講座)
個人要因・環境要因から支援を要する「気になる子ども」の多職種による評価尺度の開発
- P-5-7-4 石井 陽子 (川崎医療福祉大学保健看護学科)
養育里親の活動満足感に関連する要因—個人レベルのソーシャルキャピタル・地域要因
- P-5-7-5 緑川喜久代 (淑徳大学大学院看護学研究科)
児童虐待予防に向けた母子保健と要保護児童対策調整機関の連携システムに関する研究
- P-5-7-6 大川 聡子 (大阪府立大学看護学類)
保健師が10代妊婦と家族を支援するプロセス—複線径路・等至性モデルを用いた分析—
- P-5-7-7 柴崎 智美 (埼玉医科大学医学部医学教育学)
小地域の小中学校における感染症の発生状況に関する検討
- P-5-7-8 島本太香子 (奈良大学社会学部)
COVID-19感染予防対策による大学生の主観的健康度への影響
- P-5-7-9 伊藤 常久 (東北生活文化大学家政学部)
学生の心肺蘇生法実施に対する自信について—保育士養成課程を対象として—
- P-5-7-10 小島 令嗣 (山梨大学医学部社会学講座)
中学生におけるインターネット依存とうつの関連交差遅延モデルによる解析

第6分科会 高齢者のQOLと介護予防

座長：山本 洋介 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療疫学分野)

- P-6-1-1 今岡 真和 (大阪河崎リハビリテーション大学)
自治体と連携したヘルスチェックにおけるフレイル該当者について
- P-6-1-2 前畑 裕子 (神戸市東灘区役所健康福祉課)
一人暮らしの自立後期高齢女性の健康認識
- P-6-1-3 浅野友佳子 (文屋内科消化器科医院訪問リハビリテーションらいらっく)
地域高齢者の社会参加が減少する要因
- P-6-1-4 岡本名珠子 (岐阜聖徳学園大学看護学部)
運営主体別地域包括支援センターにおけるセルフ・ネグレクト独居高齢者への支援の現状
- P-6-1-5 赤塚 永貴 (横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻地域看護学分野)
住民主体の健康づくりグループ活動参加者の生きがい感及び関連要因の年齢層別比較
- P-6-1-6 高橋 知也 (東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム)
「周囲からの主観的な孤立感尺度」の作成と主観的健康感との関連の検討
- P-6-1-7 平井 一芳 (福井県立大学看護福祉学部看護学科)
地域(都市部、山間部、沿岸部)に在住する高齢者のフレイルと身体活動との関係
- P-6-1-8 門間 貴史 (筑波大学体育系)
地域在住高齢者の首尾一貫感覚に対する運動・スポーツの効果は実施方法により異なるか
- P-6-1-9 中谷 芳美 (福井県立大学看護福祉学部看護学科)
地域で生活する高齢者の地域づくり活動への参加意思と保健事業利用・健康習慣との関連
- P-6-1-10 斎藤 民 (国立長寿医療研究センター)
在宅要介護者における閉じこもり・社会的孤立発生状況とその関連要因

座長：今村 桃子 (国際医療福祉大学福岡看護学部)

- P-6-2-1 林 知里 (兵庫県立大学地域ケア開発研究所)
通所型介護サービス利用者における生活空間の変化-家族形態別による認知機能の効果
- P-6-2-2 栗山真由美 (明治国際医療大学看護学部看護学科生活支援講座)
通所サービス利用中の地域高齢者への認知症予防体操が認知機能及び介護度に及ぼす効果
- P-6-2-3 金子 理恵 (くまもと健康支援研究所)
通所型サービスC参加者の特性(要支援者と事業対象者の比較)
- P-6-2-4 吉澤 裕世 (東京女子医科大学看護学部地域看護学)
通いの場におけるアウトリーチ体制構築に向けた課題-SERVQUALを用いて-
- P-6-2-5 二瓶 健司 (公益財団法人星総合病院)
通いの場の参加高齢者における要介護リスクの1年間の推移について
- P-6-2-6 柴田 陽介 (浜松医科大学健康社会医学講座)
浜松市における高齢者サロンを通じたロコモーショントレーニングの効果
- P-6-2-7 谷本 芳美 (高槻市健康福祉部長寿介護課)
高槻もてもて筋力アップ体操(高槻もてきん体操)の考案
- P-6-2-8 橋本 充代 (獨協医科大学地域医療教育センター)
宇都宮市における高齢者の自主的な介護予防の取り組み

- P-6-2-9 石川 信仁 (京都先端科学大学健康医療学部看護学科)
地域高齢者における予防的介入が要介護度の発生に及ぼす影響に関するコホート研究
- P-6-2-10 吉本 好延 (聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部理学療法学科)
座位行動は中高強度活動と独立して要介護高齢者の身体パフォーマンスに影響するか

座長：桂 敏樹 (天理医療大学)

- P-6-3-1 小林 美穂 (富士川町役場福祉保健課地域包括支援センター)
マインドマップを用いた認知症カフェ実施意義の可視化と共有
- P-6-3-2 山崎 雪恵 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科法医学分野)
認知症高齢者の屋外死亡事例の記述疫学的考察
- P-6-3-3 松尾 洋 (くまもと健康支援研究所)
物忘れ外来と連携した MCI 高齢者に対する社会的処方への取り組みについて
- P-6-3-4 安田貴恵子 (長野県看護大学)
認知症の早期対応・支援のための保健福祉医療の体制づくり：小規模自治体の取り組み
- P-6-3-5 藤原 聡子 (慶應義塾大学大学院)
高齢者の社会的ネットワークと認知症リスクとの関連：JAGES6年間縦断研究
- P-6-3-6 吉武 明莉 (広島大学大学院医系科学研究科口腔保健疫学)
施設高齢者における摂食状況と摂食嚥下障害関連症状および QOL に関する検討
- P-6-3-7 佐々木明子 (東京医科歯科大学)
通所リハビリを利用する高齢者の介護予防における「連想法」の効果
- P-6-3-8 西田 和正 (東京都健康長寿医療センター研究所)
通所型介護予防事業の新規要介護認定への影響
- P-6-3-9 遠峰 結衣 (東京都健康長寿医療センター研究所)
高齢者の健康支援での ICT 活用可能性：利用率と利用者特性、介護予防への影響の検討

座長：太田 充彦 (藤田医科大学医学部公衆衛生学講座)

- P-6-4-1 植木 章三 (大阪体育大学教育学部)
住民が主体的に提案したアダプテッド・スポーツの SNS を活用した普及の可能性
- P-6-4-2 児玉小百合 (相模女子大学短期大学部食物栄養学科)
地域在住の自立した後期高齢者における3年後の自立度維持の関連要因
- P-6-4-3 原田 直子 (名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻)
互助力を育む地域在住高齢者男性に関する検討
- P-6-4-4 土谷 瑠夏 (東北大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学分野)
農業地域在住高齢者の生活支援の担い手となる意向および実施と認知機能の関連
- P-6-4-5 杉浦 圭子 (東京都健康長寿医療センター研究所)
地域在住独居高齢者のサポーターネットワークの現状と関連要因
- P-6-4-6 千葉 敦子 (青森県立保健大学健康科学部看護学科)
自主組織型運動教室における10年以上継続参加者の体力測定結果の変化
- P-6-4-7 田口 敦子 (慶應義塾大学看護医療学部地域看護学分野)
高齢者の介護予防等に向けた音声対応 AI アシスタントの活用可能性の検討
- P-6-4-8 金森 弓枝 (山口大学大学院医学系研究科保健学専攻)
地域組織参加を基盤に健康保持を成す女性独居高齢者の相互交流
- P-6-4-9 田中 基晴 (常盤大学人間科学部健康栄養学科)
高齢者における食行動と健康、生活の質の関係についての文献を用いた検討 (第2報)

- P-6-4-10 森田 彩子 (東京医科歯科大学)
祖父母によるポジティブな養育経験の認知と高齢期における世代性との関連

座長：辻 一郎 (東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学専攻公衆衛生学分野)

- P-6-5-1 山崎 幸子 (文京学院大学人間学部心理学科)
農村地域における閉じこもり予備群とその状態像の解明
- P-6-5-2 齋藤 智子 (新潟大学大学院保健学研究科)
離島漁村地域に暮らす高齢者の食物アクセス・食品摂取の多様性の実態
- P-6-5-3 渡邊多恵子 (淑徳大学看護栄養学部)
持続的な住民主体の介護予防活動に関係する要因
- P-6-5-4 小武家優子 (第一薬科大学薬学部健康・環境衛生学講座衛生化学分野)
地域在住高齢者の低栄養の実態および薬局の活用状況調査
- P-6-5-5 堀金 俊也 (山形大学医学系研究科看護学専攻地域在宅看護学領域)
A 町地域高齢者における実施主体別の介護予防事業への参加実態
- P-6-5-6 野藤 悠 (東京都健康長寿医療センター)
高齢者の生活機能チェックによる要介護発生リスクの推定
- P-6-5-7 高橋 競 (獨協医科大学医学部公衆衛生学講座)
地域在住高齢者の活動能力に夜間頻尿が及ぼす影響 混合研究法による分析
- P-6-5-8 杉田由加里 (千葉大学大学院看護学研究科)
健康の維持・増進に対する地域高齢者の認識及び行動に関する文献検討
- P-6-5-9 河合 恒 (東京都健康長寿医療センター)
地域高齢者における継続的スタチン服用の生活機能への影響
- P-6-5-10 柿沼 倫弘 (国立保健医療科学院)
居住系サービス利用者における社会的ケア関連 QOL の実態

座長：丹野 高三 (岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座)

- P-6-6-1 山下 真里 (東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム)
震災から8年後の被災地における地域在住高齢者の孤独感の関連要因
- P-6-6-2 丹野 高三 (岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座)
地域在住高齢者のヘモグロビン濃度と要介護、死亡との関連：岩手県北地域コホート研究
- P-6-6-3 上野 由花 (県民健康プラザ健康増進センター)
高齢者のオーラルフレイル予防に関する支援の現状と課題について
- P-6-6-4 福田 昌代 (神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科)
神戸市におけるオーラルフレイルチェックとフレイルチェック口腔機能質問項目との関連
- P-6-6-5 松本 大典 (公益財団法人星総合病院リハビリテーション科)
活動の目標に関する心がけの自己評価と要介護リスクとの関連
- P-6-6-6 秦 俊貴 (東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム)
都市部在住の中高齢者における食品摂取多様性の関連要因と ICT 利用状況
- P-6-6-7 安 順姫 ((公財) ダイヤ高齢社会研究財団)
ポジティブ心理学的介入に基づくハッピープログラムが高齢者の不安の軽減に及ぼす効果
- P-6-6-8 渡邊 彩 (地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所)
高齢期の社会的孤立と生活不安・主観的健康観の関連：就労状況に着目した検討

- P-6-6-9 山口佳小里 (国際医療福祉大学成田保健医療学部作業療法学科)
名古屋市で同一地域に長期間居住している独居高齢者の生活状況：世帯構成別の比較より
- P-6-6-10 平 和也 (京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻地域看護学講座)
褥瘡写真を用いた画像処理による褥瘡の深さ (Depth) のステージ分類について

第7分科会 高齢者の医療と福祉

座長：小杉 眞司 (京都大学医学研究科医療倫理学・遺伝医療学)

- P-7-1-1 小原 由紀 (東京都健康長寿医療センター研究所自立促進と精神保健研究チーム)
在宅介護家族における口腔ケアの提供状況ならびに介護負担感との関連
- P-7-1-2 岡本左和子 (奈良県立医科大学公衆衛生学講座)
退院支援の成功事例と課題事例の比較検討に基づくチェックリスト案の要素の検討
- P-7-1-3 松井 幾子 (和洋女子大学家政学部健康栄養学科)
在宅医療・介護の栄養管理従事者を対象とした教育内容の検討について
- P-7-1-4 田中結花子 (国際医療福祉大学大学院)
在宅移行した親を就労しながら介護するシングル介護者の健康関連 QOL の変化
- P-7-1-5 斉藤恵美子 (東京都立大学大学院人間健康科学研究科)
在宅高齢者と家族の支援過程での地域包括支援センター看護職の倫理的な行動の検討
- P-7-1-6 大越 扶貴 (岩手保健医療大学看護学部)
母親を介護する息子・娘介護者の介護と仕事の両立過程に生じる困難とその対処
- P-7-1-7 津田 紫緒 (東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科)
親の介護に直面する労働者の経験についての文献検討
- P-7-1-8 彦 聖美 (金城大学看護学部看護学科在宅看護学)
男性介護者・家族介護者に対するサポートネットワークシステムの構築と防災支援
- P-7-1-9 廣岡 佳代 (公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団)
居宅要介護高齢者に対する緩和ケアの提供状況

座長：古田加代子 (愛知県立大学看護学部)

- P-7-2-1 山口乃生子 (埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科)
地域に居住するハンセン病回復者のエンド・オブ・ライフケアにおける課題
- P-7-2-2 岩本 伸一 (大阪府医師会調査委員会)
近年における大阪の在宅医療事情について～大阪府医師会会員意見調査から～
- P-7-2-3 鈴木隆一郎 (大阪府医師会調査委員会)
ACP (愛称「人生会議」) に関する大阪府医師会員の認識の推移
- P-7-2-4 金田由紀子 (鳥取大学医学部保健学科地域・精神看護学講座)
住民の地域での看取りに対する認識とその関連要因
- P-7-2-5 本永 香菜 (京都府山城南保健所)
京都府山城南地域における看取りの実態調査
- P-7-2-6 林 美枝子 (日本医療大学)
在宅死の看取り介護体験とその人的資源の活用の可能性について
- P-7-2-7 明石 智子 (山陽学園大学)
看護小規模多機能型居宅介護における看取りの現状
- P-7-2-8 森 礼美 (居宅介護支援事業所山の手)
短期入所生活介護施設に勤務する介護職員の看取りケア態度に関連する要因

- P-7-2-9 木全 真理 (川崎市立看護短期大学看護学科)
要介護期の高齢者が在宅生活を継続するための生活支援

座長：藤原 佳典 (東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム)

- P-7-3-1 宇田 優子 (新潟医療福祉大学看護学部看護学科)
診療所看護職の地域連携・個別看護相談の実態-難病指定医療機関の全国調査-
- P-7-3-2 東 久子 (兵庫大学看護学部)
看護小規模多機能型生活介護における看護職の役割
- P-7-3-3 川上 総子 (長崎県南保健所)
入退院時における医療・介護連携促進のための検討
- P-7-3-4 徳嶋 靖子 (鳥取大学医学部保健学科)
地域包括支援センター等における地域高齢者の見守り活動のやりがいと課題
- P-7-3-5 富永 真己 (摂南大学看護学部)
日本の介護職における外国人介護職の受入れへの期待と不安に関する研究
- P-7-3-6 Choomplang Nattadech (国際医療福祉大学医学部公衆衛生学教室)
タイにおける介護スタッフの勤務継続意向と職務満足に対する関連要因の検討
- P-7-3-7 三浦 茜 (高槻市健康福祉部長寿介護課)
本人の希望を叶えるための自立支援型地域ケア会議：「個別ケース検討会議」の取り組み
- P-7-3-8 野村 聖子 (筑波大学人間総合科学研究科)
高齢者を対象とした遠隔リハビリの課題に関する研究：動画を利用した試験的取組み
- P-7-3-9 杉山 美香 (東京都健康長寿医療センター研究所)
COVID-19影響下で認知症支援のための地域拠点に何ができるのか

座長：藤野 善久 (産業医科大学産業生態科学研究所環境疫学研究室)

- P-7-4-1 落合 佳子 (国際医療福祉大学保健医療学部看護学科)
大都市の軽度認知機能低下者を担当する介護支援専門員の視点を通じた訪問看護の効果
- P-7-4-2 佐藤ゆかり (岡山県立大学保健福祉学部)
西日本豪雨災害時の要介護者における避難行動と身体・認知機能との関連
- P-7-4-3 木村 朗 (群馬パース大学大学院保健科学研究科)
地域在住高齢視覚障害者集団に対する健康づくり支援プログラムの評価と課題
- P-7-4-4 大西 丈二 (名古屋大学医学部附属病院老年内科)
地域在住高齢者における介護予防ニーズの変化について
- P-7-4-5 大冢賀政昭 (国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部)
政令指定都市の介護保険における保険者機能強化にかかわる取り組みの実態
- P-7-4-6 村松 真澄 (札幌市立大学看護学部)
介護福祉施設入居者の口腔状態と機能の変化、肺炎発症率：1年間前向きコホート研究
- P-7-4-7 土屋瑠見子 (医療経済研究機構)
要介護者用の住環境評価指標の開発と活用状況：アジア地域でのスコアリング・レビュー
- P-7-4-8 安心院朗子 (目白大学保健医療学部理学療法学科)
ハンドル形電動車いすと共生する地域住民の接触事故経験—福井県勝山市を対象として—

第8分科会 地域社会と健康

座長：村山 洋史（東京都健康長寿医療センター研究所）

- P-8-1-1 伊藤 智也（慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科）
高齢者グループ運動実施コミュニティにおけるGAPPAの活用とSDGsへの貢献
- P-8-1-2 小林江里香（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）
都市部の中高齢者における近所づきあいとその契機：性別、居住形態、婚姻状況別特徴
- P-8-1-3 田口 陽菜（横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学教室）
住民主体型健康づくりグループ活動高齢者の地域見守り自己効力感の関連要因の検討
- P-8-1-4 西田 恵（千葉大学大学院医学薬学府）
高齢者のうつと居住地域の子どもの人口密度の関連：JAGES2016横断研究
- P-8-1-5 村山 陽（東京都健康長寿医療センター研究所）
単身男性中高年者における将来の生活に対する意識の特性
- P-8-1-6 金森 悟（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）
男性高齢者における最長職の企業規模別の社会参加と死亡との関連：JAGES スタディ
- P-8-1-7 亀井美登里（埼玉医科大学医学部社会医学）
高齢者の社会参加に関する調査 第1報 地域支援活動への参加意向
- P-8-1-8 小泉 沙織（埼玉医科大学医学部社会医学）
高齢者の社会参加に関する調査 第2報 地域支援活動への参加促進要因
- P-8-1-9 井上 高博（活水女子大学看護学部）
他者との交流頻度が高い農村部の後期高齢女性における人付き合いの様相
- P-8-1-10 草野恵美子（大阪医科大学看護学部）
地域での子育て支援への参加意欲がある男性高齢者の背景要因の特徴

座長：和泉 京子（武庫川女子大学看護学部）

- P-8-2-1 高橋知恵美（熊本市健康福祉局保健衛生部健康づくり推進課）
熊本市における小学校区単位の健康まちづくりの成果
第1報 評価指標による検証
- P-8-2-2 今村 晴彦（東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野）
熊本市における小学校区単位の健康まちづくりの成果
第2報 CFIR による促進要因の検証
- P-8-2-3 村山 洋史（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）
就労と死亡の関連：高齢者を対象としたシステムティックレビュー
- P-8-2-4 高瀬 麻以（東京都健康長寿医療センター研究所）
就労と認知機能低下、認知症発症の関連：高齢者を対象としたシステムティックレビュー
- P-8-2-5 西村 千尋（伊仙町役場健康増進課）
地域と学校の連携による児童らの見守り活動を支える社会的要因について
- P-8-2-6 竹内 彩乃（東邦大学）
市区町村行政における住民協働制度の有無と保健事業実施の関連
- P-8-2-7 佐々木亮平（岩手医科大学教養教育センター）
東日本大震災後の被災地域における地域活動参加に関連する要因：The RIAS Study
- P-8-2-8 園田 和江（久留米信愛短期大学幼児教育学科）
地域住民のコミュニティ・エンパワメントを核とした持続可能な地域共生社会づくり

- P-8-2-9 星 玲奈（目白大学社会学部社会情報学科）
大学生のボランティア活動意欲と食に関する意識や主観的理解度についての実態調査
- P-8-2-10 諏澤 宏恵（京都光華女子大学看護学科）
放課後学習支援に従事する中高年ボランティアの世代性形成段階とその特徴
- P-8-2-11 富田 早苗（川崎医療福祉大学保健看護学部保健看護学科）
養育里親が感じた行政機関の子育てサービスの記述内容

座長：石崎 達郎（東京都健康長寿医療センター研究所）

- P-8-3-1 村山 幸子（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）
生活支援コーディネーターの戦略構築ツール「地域まるごと戦略シート」の有用性の検討
- P-8-3-2 松井 理恵（群馬大学大学院保健学研究科）
保健推進員のエンパワメントを促す協働モデルの開発—実践照合による内的妥当性検討—
- P-8-3-3 田村須賀子（富山大学学術研究部医学系）
福祉部門の保健師による生活困窮者への健康管理支援におけるケースワーカーとの協働
- P-8-3-4 真崎 直子（聖マリア学院大学）
都市型準限界集落ソーシャルキャピタルコーディネーター育成プログラム開発と評価
- P-8-3-5 上田由喜子（龍谷大学農学部）
ソーシャル・キャピタルとSESおよび食行動との関連—低収入世帯の母親に着目して—
- P-8-3-6 川口 夏樹（東北大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学分野）
地域における社会的包摂についての概念分析
- P-8-3-7 手塚有希子（福島県立医科大学大学院）
3.11後の健康づくり活動によるソーシャル・キャピタルの再構築過程と特徴
- P-8-3-8 松永 博子（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）
生活困窮者自立支援施設における支援プロセスに関する研究
- P-8-3-9 片山 千栄（元農研機構農村工学研究部門）
食と農を介した就労支援の取組で顕在化する障がい福祉事業所の地域における多様な役割
- P-8-3-10 橘 とも子（国立保健医療科学院研究情報支援研究センター）
社会生活支援のための、脳卒中後セルフマネジメント支援プログラムの評価に関する研究
- P-8-3-11 細川 陸也（京都大学大学院医学研究科）
母親のワーク・ライフ・バランスと児の社会適応との関連

座長：近藤 尚己（京都大学大学院医学研究科社会疫学分野）

- P-8-4-1 田谷 元（慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室）
睡眠不足感は腰痛に関連する：神戸研究
- P-8-4-2 中島 素子（公立小松大学保健医療学部看護学科）
製造業退職者集団の退職後社会参加活動とその要因に関する検討
- P-8-4-3 霜越多麻美（東京家政大学健康科学部看護学科）
住民と保健師の協働による地域組織活動における組織学習の実践に関する調査
- P-8-4-4 根本 裕太（東京都健康長寿医療センター研究所）
情報通信技術機器利用者における健康危機発生時の情報収集手段の特徴：世代間比較
- P-8-4-5 相良 友哉（東京都健康長寿医療センター研究所）
保育・介護分野の補助人材への就労意向を持つ高齢者の特徴
- P-8-4-6 戸渡 洋子（熊本保健科学大学保健科学部看護学科）
ケイパビリティアプローチに基づく健康格差縮小のための公衆衛生看護実践モデルの検討

- P-8-4-7 川内はるな (大阪大学大学院医学系研究科医学専攻社会医学講座公衆衛生学教室)
COPD 新規診断患者における所得状態と急性増悪および死亡との関連性：LIFE study
- P-8-4-8 黒田 藍 (帝京大学大学院公衆衛生学研究所)
新型コロナウイルス感染症流行下における住民主体の食を通じたボランティア活動の評価
- P-8-4-9 Iguchi Aya (日本赤十字看護大学)
都市部における町会・自治会の互助機能評価尺度の開発
- P-8-4-10 松本 佳祐 (埼玉医科大学病院救急科)
埼玉医科大学病院 救急センター・中毒センターの受診状況について

- P-10-1-4 坂田 愛明 (鹿児島県加世田保健所)
精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた一考察
- P-10-1-5 佐々木久長 (秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻)
自殺予防にかかわるメンタルヘルスサポーターの活動状況の報告：アンケート調査
- P-10-1-6 松本 千晴 (熊本県立大学総合管理学部)
自殺予防学生ゲートキーパー養成研修による大学生の自殺に対する思考の変化
- P-10-1-7 平光 良充 (名古屋市衛生研究所)
抑うつ尺度に無回答項目がある者における自殺リスクの評価
- P-10-1-8 高橋 晶 (筑波大学医学医療系災害・地域精神医学)
災害時の精神保健医療福祉活動マニュアル試案
- P-10-1-9 鈴木 智美 (宮城大学看護学群看護学類地域看護学領域)
東日本震災被災者の居住環境の変化による他者との交流習慣・メンタルヘルスへの影響
- P-10-1-10 事崎 由佳 (岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構)
岩手県における東日本大震災後の住居形態による社会的孤立の状況
- P-10-1-11 伊藤 悦子 (YIC 看護福祉専門学校)
警察官通報体制と保健所保健師の再発予防支援の関連

第9分科会 難病・障害の医療と福祉

座長：鈴木 仁一 (神奈川県相模原市保健所)

- P-9-1-1 亀井 哲也 (藤田医科大学医療科学部医療経営情報学科)
スモン患者検診データベースに基づく検討 第1報 受診率の推移
- P-9-1-2 世古 留美 (藤田医科大学保健衛生学部看護学科)
スモン患者検診データベースに基づく検討 第2報 視力・歩行状況の推移
- P-9-1-3 舟迫 香 (栃木県烏山健康福祉センター)
難病患者等への災害支援体制構築における保健所の役割と課題
- P-9-1-4 木下 彩子 (日本赤十字秋田看護大学看護学部)
A 県 ALS 在宅療養者の喀痰吸引における援助者の連携
- P-9-1-5 藤岡 智大 (慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科)
脳卒中患者が治療中・治療後に感じた情報ニーズ—全国患者会アンケート調査より—
- P-9-1-6 秋山 美紀 (慶應義塾大学環境情報学部)
脳卒中経験者は医療や福祉に何を求めているのか—全国患者会アンケート調査より—
- P-9-1-7 後藤 則子 (聖泉大学看護学部地域看護領域)
高次脳機能障害者の復職・再就職における家族の捉え方について
- P-9-1-8 石川 鎮清 (自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門)
色素性乾皮症全国疫学調査
- P-9-1-9 光井 朱美 (京都先端科学大学)
小児慢性特定疾病児童等相談支援事業等に関する全国保健所調査から見た保健師の役割
- P-9-1-10 松村 梓 (東京都福祉保健局保健政策部疾病対策課)
都単独難病医療費助成制度における重症度分類導入による認定状況の変化と考察
- P-9-1-11 酒井 理香 (元了徳寺大学健康科学部看護学科)
地域で生活する知的障害者のグループ活動に参加した看護学生の障害者に対する意識変化

座長：反町 吉秀 (青森県立保健大学大学院健康科学研究科)

- P-10-2-1 平塚久美子 (東都大学ヒューマンケア学部看護学科)
A 県内生活困窮者総合相談従事者が抱く「ひきこもり」へのイメージ
- P-10-2-2 井上 遙太 (倉敷市保健所)
倉敷市における「病院交流会」の効果と今後の方向性について
- P-10-2-3 石川裕可里 (秋田県仙北地域振興局福祉環境部(大仙保健所))
アルコール関連問題地域連携検討会の一考察～支援者間の「つながり」から回復支援へ～
- P-10-2-4 大島 珠子 (山陽学園大学看護学部看護学科公衆衛生看護学)
A 県における「農福連携」を通じた生きづらさを抱える人の居場所づくりと就労支援
- P-10-2-5 山口 佳子 (東京家政大学健康科学部看護学科)
未治療・治療中断の精神障害者の受療支援に関する評価指標の項目間の関連性
- P-10-2-6 八木ゆかり (兵庫県中播磨健康福祉事務所(福崎保健所))
支援体制の脆弱な地域で精神障害者ピアサポーターが活動する効果と今後の方向性
- P-10-2-7 西村 美八 (八戸学院大学)
精神障害者の地域生活および就労の現状と課題：施設スタッフへのインタビュー調査
- P-10-2-8 本保 善樹 (新久喜総合病院)
精神障害を持つ人の人権擁護の21世紀的枠組・方向性 21世紀における国連、WHOの動向
- P-10-2-9 岩田 昇 (桐生大学医療保健学部看護学科)
自記式調査票の効率化のための適応型テスト・シミュレータの開発
- P-10-2-10 小暮 孝道 (医療法人赤城会三枚橋病院精神科)
持効性注射剤の費用対効果と国家戦略への提言

第10分科会 精神保健福祉

座長：波床 将材 (京都市こころの健康増進センター、全国精神保健福祉センター長会)

- P-10-1-1 松村 健太 (富山大学エコチル調査富山ユニットセンター)
教育歴と産後うつリスク：エコチル調査より
- P-10-1-2 桑原 史子 (広島県健康福祉局健康対策課)
広島県における自殺予防 SNS 相談事業の取組みについて
- P-10-1-3 池田 衣澄 (富山県立大学看護学部)
大学生のメンタルヘルスに関する季節性変化の検討

第11分科会 口腔保健

座長：相田 潤 (東京医科歯科大学健康推進歯学分野)

- P-11-1-1 坪井 信二 (愛知県一宮保健所)
働く世代における噛むことと歯周病に関連する因子との関係について

- P-11-1-2 加藤 一夫 (愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座)
S-PRG フィラー配合バーニッシュの象牙質に対する酸蝕抑制効果に影響する要因
- P-11-1-3 安藤 雄一 (国立保健医療科学院生涯健康研究部)
都道府県別にみた歯科医師の人口ピラミッドから見える歯科医師供給の将来像
- P-11-1-4 萩野 大助 (名古屋市立大学保健福祉学部教養教育部)
大学一年生の生活習慣と歯科口腔保健に対する意識調査
- P-11-1-5 田村まゆみ (梅花女子大学看護保健学研究科口腔保健学専攻)
飲酒とう蝕との関連における歯口清掃および喫煙の関与
- P-11-1-6 柿沼美智留 (東京大学未来ビジョン研究センターデータヘルス研究ユニット)
工場勤務者を対象とした歯周病予防に関する共同事業の取り組み
- P-11-1-7 栗野 孝子 (鹿児島県川薩保健所)
川薩圏域におけるフッ化物洗口の取組によるう蝕予防効果について
- P-11-1-8 林 滉一朗 (ライオン株式会社)
職域における受診者の口腔保健行動変容と口腔健康を促す啓発一体型健診の有用性
- P-11-1-9 田野 ルミ (国立保健医療科学院)
歯科衛生士の働き方等に関する意向：歯科衛生士学校養成所および卒業年次生への調査
- P-11-1-10 伊藤 瑠美 (青森県立保健大学大学院健康科学研究科保健医療福祉政策システム領域)
かかりつけ歯科の有無ががん治療開始前の口腔内状況と歯科保健行動に及ぼす影響の要因
- P-11-1-11 井上 裕子 (東京医科歯科大学健康推進歯学分野)
40～74歳における婚姻状況と歯科の自覚症状に対する受療行動の関連

座長：三浦 宏子 (北海道医療大学歯学部保健衛生学分野)

- P-11-2-1 茂呂 歩実 (鶴見大学歯学部小児歯科学講座)
各自自治体における乳幼児健診と他健診のデータ共有や連携の実態について
- P-11-2-2 原野 友歌 (北九州市保健福祉局健康医療部健康推進課)
乳幼児歯科健診の受診率向上を目指して
- P-11-2-3 堀内 祐希 (京都市伏見区役所醍醐支所健康福祉部健康長寿推進課)
幼少期からの歯科保健の取組「歯っぴースマイル大作戦」について
- P-11-2-4 佐藤 千華 (岩沼市役所健康増進課)
1歳8ヶ月児から3歳6ヶ月児の乳歯う歯増加に関連する要因の検討
- P-11-2-5 坂東 志乃 (宮城大学看護学群地域看護学領域)
地域高齢者の主観的咀嚼力と生活習慣等の関連—特定健診・後期高齢者健診結果から—
- P-11-2-6 齊藤 智也 (東京医科歯科大学大学院健康推進歯学分野)
平成28年度歯科疾患実態調査を用いた都市規模別の口腔内状況と口腔保健行動の分析
- P-11-2-7 財津 崇 (東京医科歯科大学大学院健康推進歯学分野)
平成28年度歯科疾患実態調査を用いた都市規模別高齢者の咬合状態調査
- P-11-2-8 松井 大輔 (京都府立医科大学大学院地域保健医療疫学)
口腔機能低下症と筋力および骨密度に関する検討～第二報～
- P-11-2-9 糠谷優貴子 (京都府立医科大学歯科口腔科学)
口腔機能低下症と歩行速度に関する検討
- P-11-2-10 木内 桜 (東北大学歯学研究科)
口腔と認知症発症の関連のメカニズム：媒介分析による検討

- P-11-2-11 谷口 瑛里 (広島大学大学院医系科学研究科口腔保健疫学研究室)
「オーラルフレイル」「フレイル」に関する新聞記事分析

第12分科会 感染症

座長：中里 栄介 (佐賀県鳥栖保健所)

- P-12-1-1 齋藤 政信 (愛知県一宮保健所総務企画課)
感染症法改正後の百日咳発生報告と現状～全数把握体制の課題への対応～
- P-12-1-2 太田 晶子 (埼玉医科大学医学部社会医学)
感染症発生動向調査に基づく検討 第1報 RSウイルス感染症の警報発生
- P-12-1-3 川戸美由紀 (藤田医科大学医学部衛生学講座)
感染症発生動向調査に基づく検討 第2報 RSウイルス感染症の罹患数推計
- P-12-1-4 村上 義孝 (東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野)
感染症発生動向調査に基づく検討 第3報 インフルエンザの型別罹患数の推計
- P-12-1-5 大庭 真梨 (東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野)
感染症発生動向調査に基づく検討 第4報 インフルエンザ病原体情報の検体情報の変化
- P-12-1-6 橋本 修二 (藤田医科大学医学部衛生学)
感染症発生動向調査に基づく検討 第5報 4類感染症の多発現象の検出
- P-12-1-7 駒田真由子 (東京医療保健大学東が丘看護学部)
就労状況とインフルエンザワクチン接種行動との関連
- P-12-1-8 蕪木 康郎 (さいたま市健康科学研究センター保健科学課)
さいたま市内で流行したRSウイルスのG蛋白全領域遺伝子の解析
- P-12-1-9 泊 賢太郎 (さいたま市健康科学研究センター)
さいたま市内におけるA群溶血性レンサ球菌の薬剤感受性の動向
- P-12-1-10 江原 勇登 (埼玉県衛生研究所ウイルス担当)
埼玉県感染症重大事案対策事業について

座長：依田 健志 (川崎医科大学公衆衛生学)

- P-12-2-1 垣本 烈 (江東区保健所)
大手運送会社仕分け基地で発生した、結核のアウトブレイクについて
- P-12-2-2 土岐 岳子 (川崎市中原地域みまもり支援センター)
小児結核サーベイランス—川崎市の事例から—
- P-12-2-3 川原 康彦 (宮崎県衛生環境研究所)
宮崎県内での結核菌の遺伝子型と分布状況について
- P-12-2-4 杉山美奈子 (墨田区保健所保健予防課)
結核治療で留学生在留資格を失ったベトナム人に対する結核支援の一事例
- P-12-2-5 野呂 優樹 (名古屋市中区保健福祉センター)
日本語学校での結核集団感染事例の対応
- P-12-2-6 加藤 由佳 (横浜市健康福祉局健康安全課)
横浜市における外国生まれの結核患者の疫学的特徴について
- P-12-2-7 赤堀ハリス (横浜市健康福祉局健康安全課)
2019年の横浜市における梅毒発生状況の分析
- P-12-2-8 唐井奈那子 (名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻)
地域DOTSにおける包括的患者支援の実態に関する文献検討
- P-12-2-9 谷畑 健生 (神戸市環境保健研究所)
若年者(高校生・大学生程度)の主要性感染症の動向

- P-12-2-10 安藤紗絵子 (埼玉県衛生研究所感染症疫学情報担当)
埼玉県におけるB型肝炎ワクチン定期接種状況の生年別調査
- P-12-2-11 但馬 匠 (株式会社JMDC製薬本部データ解析部)
大人の風しんと予防接種の受診に関する実態調査
- 座長：本多 麻夫 (埼玉県衛生研究所)
- P-12-3-1 川口谷充代 (札幌医科大学医学部衛生学講座)
成人に由来する非侵襲性肺炎球菌の血清型分布の経年的変化 (2011-2019)
- P-12-3-2 吹田安佐詠 (大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学)
大阪府下の介護老人保健施設における下痢症の罹患率とそのリスク因子
- P-12-3-3 吉田 弘 (国立感染症研究所ウイルス第二部)
5年間の環境水サーベイランスにより検出されたエンテロウイルス伝播の解析
- P-12-3-4 三好 龍也 (堺市衛生研究所)
堺市における環境水サーベイランスにて検出されたエンテロウイルスについて
- P-12-3-5 小澤 広規 (横浜市衛生研究所)
環境水サーベイランスにおける新型コロナウイルスの検出
- P-12-3-6 藤山 理世 (神戸市保健所)
神戸市の新型コロナウイルス感染症患者の宿泊療養施設におけるPCR検査について
- P-12-3-7 内田 満夫 (群馬大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野)
群馬県における新型コロナウイルス感染症の流行とその特徴
- P-12-3-8 有村 祐亮 (滋賀県草津保健所)
滋賀県草津保健所が経験した新型コロナウイルス感染症クラスター事例の振り返り
- P-12-3-9 倉野 麻子 (世田谷保健所感染症対策課)
世田谷区内事業所で発生した風しん集団発生事例
- P-12-3-10 小澤 亨司 (小澤歯科医院)
マスクの除菌性能について

第13分科会 健康危機管理

座長：小林 廉毅 (東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野)

- P-13-1-1 諸戸 雅治 (市立福知山市民病院小児科)
地域中核病院におけるCOVID-19院内発生による診療制限時の来院者対応について
- P-13-1-2 新谷 浩子 (和歌山県湯浅保健所)
管内の病院関係者における新型コロナウイルス感染症の集団発生について
- P-13-1-3 馬場理恵子 (南多摩保健所)
高齢者デイケア施設と利用者家族に拡大した新型コロナウイルスの感染事例
- P-13-1-4 村山留美子 (神戸大学人間発達環境学研究科)
2020年3月時点のCOVID-19に関する市民の意識とSARS時データとの比較
- P-13-1-5 出口 弘 (東京工業大学)
透析クリニックでの新型コロナウイルスによるIgM/IgG抗体形成とその変化の研究
- P-13-1-6 金村 政輝 (宮城県立がんセンター研究所がん疫学・予防研究部)
新型コロナウイルス感染症対策-発生状況の「見える化」の一方策
- P-13-1-7 野尻 一孝 (別府大学食物栄養科学部)
2020年新型コロナウイルス流行下における自治体の合意形成
- P-13-1-8 竹内 知子 (墨田区保健所保健予防課)
COVID-19感染症の集団発生を認めた区内医療機関の一事例

- P-13-1-9 永坂 大地 (東京都福祉保健局南多摩保健所)
東京都南多摩保健所にて実施した新型コロナウイルス検体採取の報告
- 座長：緒方 剛 (茨城県土浦保健所)
- P-13-2-1 宮崎美砂子 (千葉大学大学院看護学研究所)
実務保健師の災害時の対応能力育成のための研修ガイドラインの作成と精練
- P-13-2-2 奥田 博子 (国立保健医療科学院健康危機管理研究部)
実務保健師の災害時対応能力育成のための研修ガイドラインによる研修効果：A県の検証
- P-13-2-3 深谷 真子 (愛知県保健医療局健康医療部医療計画課)
実務保健師の災害時対応能力育成のための研修ガイドラインによる研修効果～B県の検証
- P-13-2-4 鈴木 孝太 (愛知医科大学医学部衛生学講座)
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に対する一般市民の意識と行動変容
- P-13-2-5 若山 怜 (愛知医科大学医学部衛生学講座)
一般市民における新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の情報収集に関する基礎的検討
- P-13-2-6 山田 全啓 (奈良県中和保健所)
日本人初の新型コロナウイルス感染症の対応とその検証
- P-13-2-7 中井 寿雄 (金沢医科大学看護学部)
COVID-19によるソーシャルディスタンスを考慮した指定避難所の収容可能人数の変化
- P-13-2-8 水野 智美 (渋谷区保健所)
COVID-19の渋谷区における感染拡大の傾向：積極的疫学調査の行動歴分析
- P-13-2-9 椎名 政昭 (千葉市保健所感染症対策課)
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者の入院治療の必要性に関わる因子の解析
- P-13-2-10 杉浦 勇希 (浜松医科大学医学部医学科)
COVID-19流行下における行政・医療機関等の情報発信が市民の当事者意識に与える影響

座長：小橋 元 (獨協医科大学医学部公衆衛生学講座)

- P-13-3-1 日比野直子 (三重県立看護大学)
三重県東紀州地域の被災した保健師の想定外の災害に対する保健活動 第1報
- P-13-3-2 中北 裕子 (三重県立看護大学看護学部)
三重県東紀州地域で災害を経験して変化した保健活動 第2報
- P-13-3-3 池田 和功 (和歌山県新宮保健所)
災害時健康危機管理活動の支援・受援体制整備とDHEAT養成事業
- P-13-3-4 早川 貴裕 (栃木県西健康福祉センター)
DHEAT基礎編研修受講後の研修実施状況報告
- P-13-3-5 中臣 昌広 (一般財団法人日本環境衛生センター)
令和元年台風19号被災地の避難所における空気環境等の実態
- P-13-3-6 夏目 恵子 (愛知県西尾保健所)
保健所プロジェクトチームによる災害対応訓練の実践報告
- P-13-3-7 堀越 直子 (福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター)
相談先のない被災者の特徴および関連要因：福島県「県民健康調査」
- P-13-3-8 古賀佳代子 (福岡大学医学部看護学科)
熊本地震の1年後における就労者の精神的健康について-車中避難がPTSDに与える影響-
- P-13-3-9 皆川 洋子 (愛知県衛生研究所生物学部ウイルス研究室)
地方衛生研究所病原体検査部門の人材確保-コンピテンシーリストの作成

座長：廣瀬 昌博（島根大学医学部地域医療政策学講座）

- P-13-4-1 中里 栄介（佐賀県健康福祉部福祉課）
令和元年佐賀豪雨災害における保健医療調整本部活動報告
- P-13-4-2 山村奈津子（公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センター）
平成30年7月豪雨災害の被災市町村における要介護認定率の変化に関する検討
- P-13-4-3 天野 遙香（広島県）
平成30年7月豪雨で県型保健所保健師が実践した行動と役割
- P-13-4-4 山下 十喜（広島県）
平成30年7月豪雨の広島県被災者における1年後の健康調査（第1報）被災後の生活変化
- P-13-4-5 東久保ちあき（広島県）
平成30年7月豪雨災害の広島県被災者における1年後の健康調査（第2報）心の健康状態
- P-13-4-6 櫻木 初美（久留米大学大学院医学系研究科）
災害ボランティアの健康問題とその要因から考える健康管理支援のあり方に関する研究
- P-13-4-7 尾関佳代子（浜松医科大学健康社会医学講座）
在宅医療ケア児の診療を行っている医師へのインタビュー調査から見た災害への課題
- P-13-4-8 坂本 譲（東北学院大学教養学部人間科学科）
自然災害に起因する生活リズムの変化が子どものストレスや免疫応答に及ぼす長期影響
- P-13-4-9 増田 直美（鹿児島県鹿屋保健所）
鹿屋保健所管内の長期療養児における災害時支援についての一考察
- P-13-4-10 曾根 志穂（石川県立看護大学地域看護学）
災害時に健康を守るための備えに取り組む地域防災活動事業の成果と課題

座長：佐藤 元（国立保健医療科学院）

- P-13-5-1 植村 直子（東京家政大学健康科学部看護学科）
公衆衛生従事者を対象とした国内外の災害研修方法の概観
- P-13-5-2 岩崎 翔香（災害医療センター）
斜面地の多い地域で活動する訪問看護師の在宅療養者に対する防災・減災対策支援の現状
- P-13-5-3 上田実佳子（東京都健康安全研究センター企画調整部健康危機管理情報課）
健康危機発生時の Web 会議システムを用いた感染症対策における連携構築の検討
- P-13-5-4 坂本 瑞生（弘前大学）
原子力災害時における汚染検査を担う自治体職員の準備状況等調査
- P-13-5-5 大類 真嗣（福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座）
放射線健康不安改善のためのゲートキーパー向け研修プログラムの開発とその評価
- P-13-5-6 山内可南子（弘前大学大学院保健学研究科）
致死線量放射線ばく露個体における腸内細菌叢と腸管上皮変化の解析
- P-13-5-7 深井 颯（東京工業大学情報理工学院）
画像認識とライブカメラを用いた国・地域別のマスク着用率サーベイランス研究
- P-13-5-8 江藤亜紀子（国立保健医療科学院健康危機管理研究部）
研究助成と文献の調査から見た在宅の要配慮者等に関する災害研究の動向分析
- P-13-5-9 中川 菜祐（神戸大学大学院保健学研究科）
発達障害児を持つ家族の災害準備の実態－災害時のレジリエンス向上をめざして－

第14分科会 医療制度・医療政策

座長：加藤 源太（京都大学医学部附属病院診療報酬センター）

- P-14-1-1 川合 眞美（日本赤十字医療センター）
沖縄県 A 村における島民同士のつながりを考慮した保健師活動の実際
- P-14-1-2 藤原 希（国家公務員共済組合連合会虎の門病院）
看護学生が抱くへき地での看護活動のイメージと就職志望の実際
- P-14-1-3 大木いずみ（栃木県立がんセンターがん予防情報相談部）
国が指定するがん診療連携拠点病院のがん診療における診断・治療の占める割合
- P-14-1-4 西野 善一（金沢医科大学医学部公衆衛生学）
がん診療連携拠点病院への診療集約化の状況－二次医療圏別の検討
- P-14-1-5 兎玉 知子（国立保健医療科学院国際協力研究部）
歯科レセプト分析による歯科医療提供状況の評価（第1報）都道府県分析
- P-14-1-6 井田 有亮（東京大学大学院医学系研究科課題解決型高度医療経営人材育成プログラム）
歯科レセプト分析による歯科医療提供状況の評価（第2報）二次医療圏分析
- P-14-1-7 大島 克郎（日本歯科大学東京短期大学）
歯科医師免許登録後における就業状況の推移：医師・歯科医師・薬剤師調査を用いた分析
- P-14-1-8 山下 暁士（名古屋大学医学部附属病院メディカル IT センター）
NDB レセプトデータを用いた愛知県の傷病別医療需要の解析
- P-14-1-9 佐藤 菊枝（名古屋大学医学部附属病院メディカル IT センター）
DPC データを用いた愛知県の疾患別手術実績と医師数からみた医療圏比較

座長：小林 大介（神戸大学大学院医学研究科医療システム学分野医療経済・病院経営学部門）

- P-14-2-1 西條 泰明（旭川医科大学社会医学講座公衆衛生学・疫学分野）
大学病院における逆紹介を阻害する要因の検討
- P-14-2-2 三浦 宏子（北海道医療大学歯学部保健衛生学）
勤務時間分析による歯科医師の仕事率の算出と地域差の検証
- P-14-2-3 竹内 浩視（浜松医科大学地域医療支援学講座）
医師数の性・年齢階級別変化が医療施設のマンパワーに与える影響の定量的評価の試み
- P-14-2-4 長崎 雄二（大阪府医師会調査委員会）
日本の社会保障に関する府民調査
- P-14-2-5 東川 光弘（大阪府医師会調査委員会）
医業承継に関する会員意見調査
- P-14-2-6 渡邊ともね（国立がん研究センターがん対策情報センターがん臨床情報部）
がんの診断日から初回治療導入日までの期間の検討
- P-14-2-7 箕浦 明（昭和大学医学部衛生学公衆衛生学講座）
昭和大学病院における癌患者の現住所による受診動向の比較に向けたパイロットスタディ
- P-14-2-8 岩永 資隆（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻国際保健学講座健康政策・国際保健学分野）
受動喫煙の防止に関する条例の研究
- P-14-2-9 湯川 慶子（国立保健医療科学院政策技術評価研究部）
ロボット支援下手術等の先端的な手術・手技に関する国内外の臨床試験の動向

第15分科会 公衆衛生従事者育成

座長：柳澤 尚代（弘前学院大学看護学部）

- P-15-1-1 馬場 順子（福岡県保健医療介護部健康増進課）
市町村における非常勤保健師との協働による効果的な活動方法の検討 第1報
- P-15-1-2 鳩野 洋子（九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野）
市町村における非常勤保健師との協働による効果的な活動方法の検討 第2報
- P-15-1-3 吉岡 京子（国立保健医療科学院生涯健康研究部）
保健師による保健医療福祉計画策定に関する全国調査（第1報）
- P-15-1-4 細谷 紀子（千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科）
保健師による保健医療福祉計画策定に関する全国調査（第2報）
- P-15-1-5 勝山久美子（京都府健康対策課）
京都府、市町村保健事業の効果的・効率的展開をめざしたデータ活用能力育成の研修評価
- P-15-1-6 濱里セツ子（長崎県立大学看護栄養学部看護学科）
大学院修了新任保健師の地域診断の実践と大学院での学び
- P-15-1-7 小出 恵子（四天王寺大学看護学部）
保健事業を改善するために必要なチームリーダー保健師の公衆衛生看護技術
- P-15-1-8 松川 泰子（京都光華女子大学健康科学部看護学科）
保健師基礎教育に関するバーチャルリアリティ（VR）活用の海外文献の検討
- P-15-1-9 森鍵 祐子（山形大学大学院医学系研究科看護学専攻）
事業評価・地域診断・施策形成に関する研修参加による事業評価に対する認識と実施状況
- P-15-1-10 道林千賀子（岐阜医療科学大学看護学部看護学科）
自治体のたばこ対策に関するコンピテンシー評価尺度－保健師用の開発
- P-15-1-11 仲下祐美子（大阪医科大学看護学部）
保健師教育の教科書におけるたばこに関する記載内容の分析
- P-15-1-12 野村 政子（東都大学ヒューマンケア学部看護学科）
保健師の活動の質向上に資する観点からみた家庭訪問記録電子化の課題

座長：成田 友代（東京都福祉保健局）

- P-15-2-1 相原 洋子（神戸学院大学総合リハビリテーション学部）
地域包括支援センター職員のヘルスコミュニケーションの実態
- P-15-2-2 武村 真治（国立保健医療科学院）
国立保健医療科学院の養成訓練のこれまでの実績と今後の展望
- P-15-2-3 仲里 良子（順天堂大学医療看護学部公衆衛生看護学）
公衆衛生看護学における学生の主体的な学びを重視した健康教育実習プログラムの開発
- P-15-2-4 松尾嘉代子（長崎国際大学健康管理学部健康栄養学科）
管理栄養士養成課程の臨地実習における「自己学習ノート」の有用性に関する研究
- P-15-2-5 森 裕樹（東京都健康長寿医療センター研究所）
地域包括支援センター職員における社会資源情報の収集法と社会参加活動に関する認識
- P-15-2-6 服部真理子（埼玉県立大学保健医療福祉学部）
4年制大学選択制保健師課程卒業の新任期保健師の支援技術獲得の状況とその影響要因
- P-15-2-7 三浦 佳奈（山形県立米沢栄養大学健康栄養学部）
管理栄養士を志す学生に対する手洗い試験の実施とその教育効果測定に関する研究
- P-15-2-8 辻口 貴清（弘前大学大学院保健学研究科）
原子力災害拠点病院の施設要件に係る原子力災害医療施設研修の高受講率化に向けて

- P-15-2-9 渡邊 正樹（日本赤十字秋田看護大学）
在宅看護論実習におけるルーブリック評価の導入－実習指導者と教員による取り組み－
- P-15-2-10 大沼 由香（仙台赤門短期大学看護学科）
新型コロナウイルス感染症禍の変動的な在宅看護実習における感染予防と看護職務の学び
- P-15-2-11 松野あやえ（宮城県保健福祉部精神保健推進室）
3.11の教訓を踏まえた地域保健活動実践に向けた人材育成とネットワーク構築への一考察

第16分科会 保健所・衛生行政・地域保健

座長：三沢あき子（京都府山城南保健所）

- P-16-1-1 岡本 玲子（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）
実装研究統合枠組みの日本の保健事業カスタマイズ版（CFIR-J）開発と活用可能性の検討
- P-16-1-2 山本 佳子（大阪大学大学院医学系研究科）
実装研究統合枠組み（CFIR-J）を用いた保健師の事業展開における重要度・実施度の実態
- P-16-1-3 大砂 彩水（大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学教室）
実装研究統合枠組み（CFIR-J）を用いた保健師の事業実装力と学習経験との関連
- P-16-1-4 藤岡 茉奈（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）
保健師による事業・活動における先進優良事例の横展開の実態と関連要因の検討
- P-16-1-5 金屋 佑子（東京女子医科大学看護学部地域看護学）
保健師の研究活動に対する大学教員のサポートについてのプロセス評価
- P-16-1-6 小室 陽子（福島県立医科大学大学院）
地域保健活動の土台となるものゝ1950年代から1970年代の保健師活動の質的分析から
- P-16-1-7 深谷 太郎（東京都健康長寿医療センター研究所）
包括的支援体制構築に向けた保健センターと他分野の連携に関する研究：全国調査より
- P-16-1-8 庄野あい子（昭和薬科大学社会薬学研究室）
市区町村による任意の季節性インフルエンザワクチン接種の公費助成の実態
- P-16-1-9 前原めぐみ（愛知県知多保健所）
知多保健所管内で発生した2つのクラスターを含む新型コロナウイルス感染症症例の現状
- P-16-1-10 稲垣 智一（東京都北区保健所）
東京都北区における新型コロナウイルス感染症の実態報告1：北区住民患者の発生届分析
- P-16-1-11 中西 浩之（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）
東京都北区における新型コロナウイルス感染症の実態報告2：積極的疫学調査による分析
- P-16-1-12 中野 克俊（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）
東京都北区における新型コロナウイルス感染症の実態報告3：電話相談による分析
- P-16-1-13 稲垣 竜矢（瀬戸保健所）
瀬戸保健所管内の診療所に対する医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査について

座長：鳩野 洋子（九州大学大学院医学研究院保健学部門）

- P-16-2-1 磯部 澄枝（新潟県新津保健所）
災害時における給食施設に対する支援のあり方に関する検討～保健所の役割を中心に～
- P-16-2-2 麻生 保子（国立保健医療科学院生涯健康研究部公衆衛生看護研究領域）
ため込み症予防に向けた地域における看護職の役割に関する文献レビュー
- P-16-2-3 剣 陽子（熊本県人吉保健所）
国際貢献の一手法として自治体が受け入れる外国人研修に関する調査

P-16-2-4	箭野しづこ (高知県安芸福祉保健所) 保健医療福祉の連携により取り組む糖尿病性腎症重症化予防対策について	座長：由田 克士 (大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座公衆栄養学)
P-16-2-5	土井麻理子 (国立保健医療科学院政策技術評価研究部) 薬剤師卒業後の従事状況に関する検討	P-17-2-1 山洞なつめ (日本女子大学家政学部食物学科管理栄養士専攻) 大学生の食環境と栄養・味覚識別能調査第1報 エネルギー産生栄養素バランスについて
P-16-2-6	北東 美枝 (東京医科歯科大学) 地域保健活動における家庭訪問記録の共有状況について	P-17-2-2 石井 礼菜 (日本女子大学家政学部食物学科管理栄養士専攻) 大学生の食環境と栄養・味覚識別能調査第2報 脂質摂取量と菓子摂取量について
P-16-2-7	佐野 智子 (城西国際大学福祉総合学部) 全国自治体における高齢者の難聴対策に関する実態調査	P-17-2-3 秋葉 舞子 (日本女子大学家政学部食物学科管理栄養士専攻) 大学生の食環境と栄養・味覚識別能調査第3報 ビタミンC摂取量について
P-16-2-8	石井 英子 (岐阜保健大学) アジア系外国人の日本語総合能力と結核受診行動要因の検討	P-17-2-4 伊東 順太 (城西大学大学院薬学研究科) 大学生陸上短距離選手の無酸素性パワーに関連する身体・栄養要因の抽出
P-16-2-9	内田 弘子 (大分県福祉保健部国保医療課) データヘルスの推進～モデル自治体での保健・医療・介護データ連結による医療費分析～	P-17-2-5 伊藤夕賀子 (広島大学大学院医歯薬保健学研究科) 西日本豪雨災害で被災した母子の食生活支援に係る管理栄養士の活動状況
P-16-2-10	荒木田美香子 (川崎市立看護短期大学) 保健所調査及び労働基準監督署からみた地域・職域連携推進協議会の展開上の課題	P-17-2-6 千葉 啓子 (岩手県立大学研究・地域連携本部) 幼児の微量元素摂取量に関する研究 (その2)
P-16-2-11	柴田 英治 (愛知医科大学保健管理センター) 地域・職連携推進協議会の活性化に向けた支援方法の検討	P-17-2-7 前川 瑞穂 (京都府立医科大学地域保健医療疫学) 食事形態別における栄養素摂取量及び食品摂取頻度の検討
P-16-2-12	大谷喜美江 (日本赤十字豊田看護大学) 管理監督者が認識する医療機関保健師への期待 一地域包括ケア推進に向けて一	P-17-2-8 芳賀智恵子 (青森県むつ保健所) 青森県内飲食店の麺類スープの塩分量 (第1報： 地域差及び価格との関連)
P-16-2-13	齋藤 尚子 (帝京大学医療技術学部看護学科) 市町村保健師の健康職場に関連する要素の検討	P-17-2-9 盛 美咲 (青森県五所川原保健所) 青森県内飲食店の麺類スープの塩分量 (第2報： 血圧判定異常者との相関)

第17分科会 公衆栄養

座長：野津あきこ (鳥取短期大学)

P-17-1-1	中西 尋子 (武庫川女子大学食物栄養科学部) 保育現場における食育活動の実態に関する質的研究
P-17-1-2	北村 真理 (武庫川女子大学食物栄養科学部) 園での栽培活動が子どもたちの野菜に対する興味・関心に及ぼす影響について
P-17-1-3	村田 淳子 (相模原市役所緑子育て支援センター) 食からの親と子に寄り添う子育て支援：ソーシャルメディアを活用した情報発信の取組
P-17-1-4	安田 光佑 (株式会社ユーグレナ) バングラデシュ人民共和国スラム街に住む児童の健康状態に影響する食習慣・衛生環境
P-17-1-5	内山 真理 (埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科) 小中学生の朝食摂取状況と「主観的健康感」および「心のありよう」について
P-17-1-6	渡邊 純子 (南九州大学健康栄養学部) 中学生の心身の健康問題低減プログラム(SPRAT)ベースライン調査結果
P-17-1-7	奥田 昌之 (山口大学大学院創成科学研究科) 中学生の簡易型自記式食事履歴質問票の外れ値
P-17-1-8	平澤 和樹 (仙台青葉学院短期大学栄養学科) 中学生の食品マーケティングへの曝露状況とその影響に関する横断調査
P-17-1-9	中出麻紀子 (兵庫県立大学環境人間学部食環境栄養課程) 大学生における昼食時の料理選択と食事に対する意識との関連
P-17-1-10	杉本 加代 (高知大学医学部地域看護学講座) 女子大学生のサプリメント使用と生活習慣との関連
P-17-1-11	山口 智美 (長崎県立大学地域創生研究科人間健康科学専攻) 大学生における栄養成分表示に関心があることと良好な食生活の関連について

P-17-2-10	井上 清美 (姫路獨協大学看護学部) 食育推進活動を育むネットワークアクション第2報一活動浸透の視点から一
P-17-2-11	松原 建史 (株式会社健康科学研究所) 体格指数、食行動と運動実践状況の横断的關係

座長：西 信雄 (医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所)

P-17-3-1	境田 靖子 (長崎県立大学看護栄養学部) 乳幼児健診データを活用した児のBMIの変化と食生活および肥満度の関連
P-17-3-2	浜崎 景 (富山大学学術研究部医学系公衆衛生学講座) 妊娠期の魚食と産後6か月および1歳時の神経発達との関連について (エコチル調査)
P-17-3-3	東 壽一郎 (東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野) 朝食欠食習慣のある児童の栄養素・食品摂取の特徴と関連する生活習慣・環境の探索
P-17-3-4	深谷 睦 (城西大学薬学部医療栄養学科) 管理栄養士養成課程に在籍する学生における健康管理と健康関連アプリ利用に関する調査
P-17-3-5	吉武理香子 (筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群体育学学位プログラム) 学生アスリートにおける食品摂取の多様性の現状と栄養に関する知識と意識等との関連性
P-17-3-6	川尻由美子 (医療法人社団 Bambini クリニックばんびいに) 特定給食施設栄養管理報告書におけるビタミンDの現状
P-17-3-7	八重樫昭徳 (北海道大学大学院医学院社会医学分野公衆衛生学教室) 地域在住日本人高齢者におけるたんぱく質摂取量と骨格筋量、筋肉量、握力との関連
P-17-3-8	大内田由美 (大阪市健康局健康推進部健康づくり課) 栄養バランス及び野菜摂取の今後の啓発の方向性のため実施した意識調査の結果について
P-17-3-9	野口 泰司 (国立長寿医療研究センター) 中高齢期の婚姻状況の変化が野菜摂取量に及ぼす影響：5年間の縦断研究

- P-17-3-10 岡 隆史 (岐阜県保健環境研究所)
岐阜県在住女性の二次医療圏毎での栄養摂取状況比較
- P-17-3-11 安江 亜希 (岐阜県可茂保健所)
料理からみた野菜・食塩摂取状況ー平成28年度県民栄養調査結果の活用ー

- P-20-1-3 猪股 久美 (帝京平成大学ヒューマンケア学部看護学科)
ストレスチェック結果をもとにした職場環境改善における看護支援の記述的研究
- P-20-1-4 藤原 啓子 (名古屋市役所)
働き方改革における新規採用者の働く意識の検証
- P-20-1-5 森下 久美 (ダイヤ高齢社会研究財団)
シルバー人材センター会員の屋外作業における疲労対処行動
- P-20-1-6 藤井 朋子 (東京大学医学部附属病院22世紀医療センター運動器疼痛メディカルリサーチ&マネジメント講座)
企業における治療と仕事の両立支援の現状に関する検討
- P-20-1-7 室野奈緒子 (石川県立看護大学)
メンタルヘルス不調者の職場復帰における産業看護職の人事労務担当者との連絡・調整
- P-20-1-8 大山 篤 ((株)神戸製鋼所東京本社健康管理センター)
正規/非正規雇用労働者の有給休暇取得や通院状況に関する研究
- P-20-1-9 中尾 杏子 (東京大学未来ビジョン研究センターデータヘルス研究ユニット)
勤労者における労働生産性の変化要因に関する分析

第18分科会 健康運動指導

座長：中山 健夫 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野)

- P-18-1-1 植木 真 (株式会社健康科学研究所)
人伝えの連鎖的流布による身体活動量増加に向けた取り組みと成果
- P-18-1-2 市原 青葉 (慶応義塾大学大学院健康マネジメント研究科)
ヘルスケアロボットHALの運動プログラムが身体活動・身体機能に与える影響について
- P-18-1-3 佐藤 正樹 (群馬県立県民健康科学大学看護学部)
中山間地域に位置するAプールの利用者の身体機能の調査
- P-18-1-4 篠田 邦彦 (新潟大学)
「エッセンシャル10」の予測マーカーとしての可能性の検討ー立ち三段跳びの改善要因ー

座長：塚原 照臣 (信州大学医学部産業衛生学講座)

- P-20-2-1 寺田 勇人 (高輪労働衛生コンサルタント事務所)
東京都医師会所属の嘱託産業医の負担増加と対応策の検討
- P-20-2-2 小澤 咲子 (筑波大学大学院人間総合科学研究科)
企業従業員のプレゼンティーズムと職場の心理社会的要因との関係に関する性別の検討
- P-20-2-3 土田ももこ (筑波大学大学院人間総合科学研究科)
企業従業員の労働パフォーマンスに関する生活習慣についての性・年齢層別検討
- P-20-2-4 島田 保子 (株式会社タニタヘルスリンク)
テレワーク期間中定時的に体操の時間を設けることによる身体的心理的有効性の評価
- P-20-2-5 神藤 隆志 (公益財団法人明治安田厚生事業団体力医学研究所)
企業における昇降デスク導入の関連要因と課題
- P-20-2-6 栗岡 住子 (桃山学院教育大学人間教育学部)
中小企業経営者における職業性ストレスに関する現状ー半構造化面接を用いてー
- P-20-2-7 中村 侑加 (元順天堂大学大学院医療看護学研究科博士前期課程地域看護学)
産業看護職が捉える子育て中の女性社員の健康の現状と支援
- P-20-2-8 和田 直子 (新潟医療福祉大学看護学部看護学科)
子育てと仕事を両立している母親の産業看護職に対する期待
- P-20-2-9 上原 美子 (埼玉県立大学保健医療福祉学部)
研修担当者のインタビュー調査からみえる新任養護教諭の力量

第19分科会 食品衛生・薬事衛生

座長：寺田 宙 (国立保健医療科学院生活環境研究部)

- P-19-1-1 入江 晴香 (別府大学食物栄養科学部)
食品の安全に関わる一つの問題 ～いわゆる「バイトテロ」から食品をどう守るのか?～
- P-19-1-2 高畑 能久 (大阪成蹊大学フードシステム研究室)
わが国の外食・中食産業 (調理・提供施設) における食品防御対策の現状調査
- P-19-1-3 神奈川芳行 (奈良県立医科大学公衆衛生学教室)
食品防御対策ガイドラインの改訂と中小規模事業者向けの改善について
- P-19-1-4 土江 里穂 (別府大学食物栄養科学部)
国際的なイベントにおける食品防御対策の具体例と今後の検討課題
- P-19-1-5 加藤 礼識 (別府大学食物栄養科学部)
ジビエ肉の解体方法による汚染度の違いに関する検討
- P-19-1-6 長浜 善行 (埼玉県衛生研究所)
埼玉県における流通食品 (食肉) の放射能調査
- P-19-1-7 藤井 仁 (目白大学看護学部)
指定成分等含有食品の利用者における危険情報の認識と行動変容に関する研究
- P-19-1-8 山下 清佳 (鹿児島県環境保健センター)
セレウス菌食中毒事件におけるセレウリドの検出について
- P-19-1-9 熊谷 優子 (和洋女子大学家政学部健康栄養学科)
食品由来疾患の疾病負荷に関する研究
- P-19-1-10 設楽 紘史 (さいたま市健康科学研究センター)
海洋性自然毒2種の同時分析の検討

座長：林 基哉 (北海道大学工学大学院)

- P-20-3-1 錦谷まりこ (九州大学病院メディカルインフォメーションセンター)
COVID-19と不安定雇用 (1) : 労働力調査と米国雇用統計より一易解雇集団の特徴
- P-20-3-2 鶴ヶ野しのぶ (電気通信大学保健管理センター)
COVID-19と不安定雇用 (2) : 労働力調査と大学実態調査より一就労学生への影響
- P-20-3-3 井上まり子 (帝京大学大学院公衆衛生学研究科)
COVID-19と不安定雇用 (3) : 労働力調査による多様な就業・産業別休業者の動向

第20分科会 産業保健

座長：渋谷 克彦 (帝京大学大学院公衆衛生学研究科)

- P-20-1-1 大浦 智子 (奈良学園大学)
高齢者介護に従事する介護福祉士が自覚する仕事パフォーマンスの関連項目の探索
- P-20-1-2 井上 辰樹 (龍谷大学社会学部)
某特養介護等職員の心と身体の健康づくり研究 (第4報) 高ストレス者のストレス因子

- P-20-3-4 古屋 佑子 (東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学) 職場のBGMは長時間労働抑制に効果があるか
- P-20-3-5 岩永 麻衣 (東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野) 小中学校におけるいじめ経験が日本人労働者のソーシャルサポートに与える長期影響
- P-20-3-6 南園 佐知子 (秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座) 女性の性特有の症状と業種の関係
- P-20-3-7 西本 大策 (鹿児島大学医学部保健学科看護学専攻基幹看護学講座) 臨床看護師のバーンアウトとレジリエンスの関連—本土と離島の地域差について
- P-20-3-8 佐藤 郁代 (奈良学園大学保健医療学部看護学科) SOC低下要因の検討
- P-20-3-9 新谷 奈苗 (和洋女子大学看護学部看護学科) パーチャルな森林環境におけるストレス軽減効果の検証

第21分科会 環境保健

座長：前川 平 (京都府保健環境研究所)

- P-21-1-1 林 基哉 (北海道大学大学院) 建築物の環境衛生管理の実態に関する全国調査 その1 事務所建築の空気環境不適合率
- P-21-1-2 齋藤 敬子 ((公財)日本建築衛生管理教育センター) 建築物の環境衛生管理の実態に関する全国調査 その2 空気環境測定に関する実態調査
- P-21-1-3 開原 典子 (国立保健医療科学院生活環境研究部) 建築物の環境衛生管理の実態に関する全国調査 その3 室内温湿度の実態と課題
- P-21-1-4 金 勲 (国立保健医療科学院) 建築物の環境衛生管理の実態に関する全国調査 その4 冷暖房期のCO2濃度と換気の実態
- P-21-1-5 中野 淳太 (東海大学) 建築物の環境衛生管理の実態に関する全国調査 その5 中小規模・特定建築物の温熱環境
- P-21-1-6 鍵 直樹 (東京工業大学環境・社会理工学院) 建築物の環境衛生管理の実態に関する全国調査 その6 室内PM2.5濃度の実態
- P-21-1-7 東 賢一 (近畿大学・医・環境医学・行動科学) 建築物の環境衛生管理の実態に関する全国調査 その7 ヒル関連症状と室内空気質
- P-21-1-8 長谷川兼一 (秋田県立大学システム科学技術学部) 建築物の環境衛生管理の実態に関する全国調査 その8 建物規模と執務者の暴露環境
- P-21-1-9 島崎 大 (国立保健医療科学院生活環境研究部) 建築物の環境衛生管理の実態に関する全国調査 その9 給水の管理状況と課題
- P-21-1-10 柳 宇 (工学院大学) 建築物の環境衛生管理の実態に関する全国調査 その10 中小規模と特定建築物の比較

座長：水谷 淳 (京都市保健福祉局衛生環境研究所)

- P-21-2-1 緒方 文彦 (近畿大学薬学部公衆衛生学研究室) 水環境保全・改善を指向したカドミウムイオンの除去技術の開発
- P-21-2-2 蓮沼 英樹 (兵庫医科大学公衆衛生学教室) 一般環境経由した石綿曝露による健康影響に関する文献レビュー
- P-21-2-3 三上 恭弘 (さいたま市健康科学研究センター) さいたま市内における冬季のヒートアイランドと気候変動に関する研究
- P-21-2-4 清水 貴明 (さいたま市健康科学研究センター) さいたま市内におけるスギ花粉飛散開始日の予測

- P-21-2-5 小山 真緒 (千葉大学工学部総合工学科) 化学物質個人曝露量に与える室内濃度の影響
- P-21-2-6 坂元 宏成 (千葉大学大学院融合理工学府地球環境科学専攻都市環境システムコース) 解剖学教室におけるホルムアルデヒド個人曝露量の測定
- P-21-2-7 阪東美智子 (国立保健医療科学院生活環境研究部) 民泊衛生管理手法に関するパンフレット試案 (2019年度版)
- P-21-2-8 北島 巧海 (三重大学大学院) 物理的性質を考慮した家庭内電磁調理器からの中間周波磁界ばく露推定モデル構築の試み

第22分科会 国際保健

座長：松井 三明 (長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科)

- P-22-1-1 鈴木恵美子 (山形県最上保健所) WHO等保健医療事情調査：国際的な保健医療人材育成-高齢化とHRH crisis-
- P-22-1-2 町田 宗仁 (金沢大学医学系国際保健学) 活動報告 グローバルヘルスとUHCのためのパートナーシッププロジェクト (第2報)
- P-22-1-3 福田 英輝 (国立保健医療科学院) ケニア共和国における地区特性別にみた小学生学童の口腔内状態
- P-22-1-4 白山 芳久 (順天堂大学国際教養学部) 日本で暮らす外国人住民の健康支援への示唆—タイ北部ミャンマー移民研究の経験から
- P-22-1-5 鈴木 美和 (社会医療法人松田整形外科記念病院) 外国人患者の当院受療時ニーズに関する社会疫学的調査 (第3報)
- P-22-1-6 中谷 久恵 (広島大学大学院医系科学研究科) 産業保健における家族支援に関連する専門職の国際比較調査
- P-22-1-7 松永 瑞希 (日本女子大学家政学部食物学科) 消化性潰瘍疾患死亡率と食品供給量の探索的断面調査—カンボジアの食環境の考察

第23分科会 保健医療介護サービス研究

座長：宮野伊知郎 (高知大学医学部公衆衛生学教室)

- P-23-1-1 櫻庭 唱子 (医療経済研究機構) 介護保険「保険者シート」の開発と活用に関する研究【1】項目改訂と全国展開
- P-23-1-2 半田 幸子 (生活構造研究所) 介護保険「保険者シート」の開発と活用に関する研究【2】全国介護保険者の類型化
- P-23-1-3 松本 佳子 (医療経済研究機構) 介護保険「保険者シート」の開発と活用に関する研究【3】保険者支援コンテンツの開発
- P-23-1-4 田村 元樹 (医療経済研究機構) 介護保険「保険者シート」の開発と活用に関する研究【4】サービス実利用者の実態
- P-23-1-5 服部 真治 (医療経済研究機構) 介護保険「保険者シート」の開発と活用に関する研究【5】介護保険料の構造と地域差
- P-23-1-6 佐方 信夫 (筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野) NDB公開データを用いた都道府県別の在宅医療実施状況の分析

- P-23-1-7 鈴木美奈子 (順天堂大学国際教養学部)
日本人の主観的健康観(健康の定義)の現状と社会的要因との関連
- P-23-1-8 相場 繁 (医療創生大学看護学部看護学科)
SROIによる健康増進事業・保健事業評価に関する文献レビュー

座長: 佐々木典子 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野)

- P-23-2-1 石橋 智昭 (公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団)
ADLの改善に基づくアウトカム評価の課題; 認知障害レベルが与える影響を中心に
- P-23-2-2 二宮 彩子 (公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団)
要介護高齢者の抑うつ及び認知機能障害と同居有無に着目した介護者のストレスとの関連
- P-23-2-3 伊藤 智子 (筑波大学医学医療系)
COVID-19拡大期間における介護保険サービス利用(報告1)ー利用者数の変化
- P-23-2-4 渡邊多永子 (筑波大学ヘルスサービス開発研究センター)
COVID-19拡大期間における介護保険サービス利用(報告2)ー都道府県ごとの変化
- P-23-2-5 平田佐智子 (株式会社エス・エム・エス Analytics&Innovation 推進部研究開発グループ)
COVID-19拡大期間における介護保険サービス利用(報告3)ー介護事業所の収入
- P-23-2-6 黒田 直明 (筑波大学ヘルスサービス開発研究センター)
在宅医療受療者における介護度の分布ー個人宅と施設居住者の比較
- P-23-2-7 重田 史絵 (東洋大学)
福祉事業所におけるWHODAS2.0を用いた支援効果の疫学的評価
- P-23-2-8 平 健人 (筑波大学大学院)
歯科レセプト情報「歯式」の妥当性に関する検討

English Session 英語演題一覧

International Participant Award 国際参加賞受賞者セッション

Oral Presentation (English) 一般口演 (英語)O-E-1-1~O-E-7-5

Poster Presentation (English) 一般示説 (英語)P-E-1-1~P-E-3-7

International Participant Award 国際参加賞受賞者セッション

October 21st(Wed.) 14:40~16:10 Room4

Chairs : Nakamura Keiko (Tokyo Medical and Dental University)
Yuasa Motoyuki (Global Health Service Course, Faculty of International Liberal Arts, Juntendo University)
Sekiyama Makiko (National Institute for Environmental Studies)
Sone Tomofumi (National Institute of Public Health)
Imanaka Yuichi (Kyoto University, Department of Healthcare Economics and Quality Management)
Umeda Maki (Research Institute of Nursing Care for People and Community, University of Hyogo)

Speakers : Progress toward Universal Health Coverage in Vietnam: Trends and projections
Nguyen The Phuong (St.Luke's International University, Graduate School of Public Health)

Determinants of collaboration for elderly care in a low-resource context
Moncatar TJ Robinson (Tokyo Medical and Dental University, Department of Global Health Entrepreneurship, University of the Philippines, Manila)

Associate factor to prevalence of anemia among women of reproductive age in Laos
Keokenchanh Sengtavanh (Mie University, Graduate School of Medicine, Department of Public Health and Occupational Medicine)

Association between living alone and fear of falling among Vietnamese elderly
Vo Thi Hue Man (Tokyo Medical and Dental University, Global Health Entrepreneurship)

Analyses of Disability Level of Persons with Physical Impairment in Indonesia
Hilfi Lukman (Department of Public Health of Gunma University, Department of Public Health of Universitas Padjadjaran)

Psychological symptoms impact on periodontal disease among Type2 diabetesPatient
Hasan S M Mahmudul (Tokyo Medical and Dental University, Department of Global Health Entrepreneurship)

Oral Presentation

Chair : Ikai Hiroshi (Kyoto Prefectural University of Medicine)

- O-E-1-1 **Tri Han Tran Dai**
(Department of Global Health Entrepreneurship, Graduate School of Tokyo Medical and Dental University)
Hearing impairment and cognitive function among older adults in Viet Nam
- O-E-1-2 **Thonglor Romnalin**
(Tokyo Medical and Dental University)
Does co-residence with children matters for Thai elderly psychological health?
- O-E-1-3 **Gai Ruoyan** (Department of Social Security Empirical Research, National Institute of Population and Social Security Research, Japan)
Gender disparity in the aspiration for longevity: Analysis of a national survey
- O-E-1-4 **Sumihartini Nova**
(Department of Public Health, Gunma University Graduate School of Medicine, Japan)
Women's Health in Remote Area of Indonesia: Can Ethnicity Greatly Affect Health?
- O-E-1-5 **Alemi Sharifullah**
(Tokyo Medical and Dental University)
Noncommunicable disease risk factor profile among Afghan female school teachers

Chair : Sakamoto Ryota (Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University)

- O-E-2-1 **Seino Kaoruko**
(Tokyo Medical and Dental University)
In-service inter professional training program for geriatric care
- O-E-2-2 **Siongco Kathryn Lizbeth L.**
(Tokyo Medical and Dental University, Department of Global Health Entrepreneurship)
Improvement in collaborative attitudes in the Philippine healthcare setting
- O-E-2-3 **Gilmour Stuart**
(St. Luke's International University Graduate School of Public Health)
The effect of the Australian National Firearms Agreement on mass shootings
- O-E-2-4 **Takahashi Rieko**
(Tokyo Airport Quarantine Branch, Tokyo Quarantine Station)
Confronting AMR - Potential Collaboration between Japan and the U.S.
- O-E-2-5 **Huang Wei-Min**
(National Chung Cheng University)
Physician Job Satisfaction Under the National Health Insurance Plan in Taiwan

Chair : Nakamura Keiko (Tokyo Medical and Dental University)

- O-E-3-1 **Kino Shiho** (The University of Tokyo, Department of Health Education and Health Sociology)
Mental, physical and social health among older Japanese with public assistance
- O-E-3-2 **Yamazaki Yuka**
(Department of Medical Education, Tokyo Medical University)
A Historical Exploration of Health Issues facing Japanese Immigrants in Hawaii
- O-E-3-3 **Jin Xueying** (Department of Health Services Research, Faculty of Medicine, University of Tsukuba)
Trajectories of long-term care expenditure in the end of life

- O-E-3-4 **Nguyen Huy** (St. Luke's International University, Graduate School of Public Health)
Vietnam healthcare system in transition: How well does it respond to Covid 19

Chair : Koriyama Chihaya (Kagoshima University)

- O-E-4-1 **Shinohara Naoko**
(Department of Public Health, Graduate School of Medicine, Hokkaido University)
The association between life satisfaction and functional decline in older people
- O-E-4-2 **Wang Yijing** (Graduate School of Public Health of St. Luke's International University)
Spatiotemporal variations and inequality in life expectancy in Japan
- O-E-4-3 **Shayo Festo Kasmir**
(Tokyo Medical and Dental University)
Does an unimproved source of domestic water linked to high malaria prevalence?
- O-E-4-4 **Paramita Sekar Ayu**
(Gunma University, Graduate School of Medicine, Public Health Department)
Perspectives of Community Health Human Resources in Teluk Bintuni, Indonesia
- O-E-4-5 **Asakura Toshiaki**
(Hokkaido University Graduate School of Medicine)
The student's enlightenment activity against COVID-19 : No More Corona Project.

Chair : Tanigawa Takeshi (Department of Public Health, Juntendo University Graduate School of Medicine)

- O-E-5-1 **Omachi Mayumi**
(JICA Ghana Project for Improving Continuum of Care for Mothers and Children through the introduction of combined MCH Record Book)
Situation Analysis of MCH and Nutrition in Ashanti Region, Ghana (1) MCH
- O-E-5-2 **Sakurai Kyoko**
(Japan International Cooperation Agency)
Situation Analysis of MCH and Nutrition in Ashanti Region, Ghana (2) Nutrition
- O-E-5-3 **Yasuda Tadashi**
(Kindai University)
Study on the motivation and retention among nurses and midwives in Myanmar
- O-E-5-4 **Miyashita Ayano**
(Dpt. of Global Health Entrepreneurship Tokyo Medical & Dental University)
Assessing acceptability of mHealth for NCD management in Tanzania
- O-E-5-5 **Okamoto Etsuji**
(University of Fukuchiyama)
Sex-age-specific incidence of taste/smell disturbance among SARS-Cov-2 patients

Chair : Saito Reiko (Division of International Health, Niigata University)

- O-E-6-1 **Yamaguchi Miwa**
(National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition)
Evaluating government policies and actions for Japanese food environments

- O-E-6-2 **Fujii Ryosuke**
 (Department of Preventive Medical Sciences, Fujita Health University School of Medical Sciences)
 Association between dietary fat quality and ABCA1 DNA methylation levels
- O-E-6-3 **Inoue Yasushi**
 (Kumamoto University Faculty of Life Sciences School of Medicine, Public Health)
 The comparison between urinary and dietary assessment of sodium intake
- O-E-6-4 **Suzuki Tomoya**
 (Faculty of Medicine, Akita University)
 The effect of stress on breastfeeding among healthy Japanese mothers
- O-E-6-5 **Takenoshita Shinichi**
 (Department of Public Health, Akita University Graduate School of Medicine)
 Great mentors' role on research satisfaction and psychological burnouts.

Chair : Nomura Kyoko (Akita University Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine)

- O-E-7-1 **Yamada Masaaki**
 (University of Toyama Dept. of Epidemiology and Health Policy)
 Gaming disorder and its associated factors among elementary school children
- O-E-7-2 **Hosozawa Mariko**
 (Institute for Global Health Policy Research, National Center for Global Health and Medicine)
 Bullying victimization among adolescents and risk factors across 71 countries
- O-E-7-3 **Ngatu Nlandu**
 (Kagawa University Faculty of Medicine)
 COVID-19 Prevention Among Congolese Healthcare Workers and Safety Imperatives
- O-E-7-4 **Kuurdor Elijah Deku-Mwin**
 (Mie University)
 Exposure to Intermediate Frequency Electromagnetic Field of Women Living In Mie
- O-E-7-5 **Dhungel Bibha**
 (St. Luke's International University, Graduate School of Public Health, Department of Public Health)
 Trends in method-specific suicide among Japanese adolescents

Poster Presentation

Chair : Tanabe Naohito (University of Niigata Prefecture, Faculty of Human Life Studies)

- P-E-1-1 **Liu Yiwei** (Department of Preventive Medicine and Public Health, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan)
Impacts of RHR on CVD mortality according to ALB in general Japanese population
- P-E-1-2 **Ohseto Hisashi** (Tohoku University Hospital)
Placental weight of delivery with early-onset/late-onset types of preeclampsia
- P-E-1-3 **Takahashi Mihoko** (Department of Social Medicine, Faculty of Medicine, Saitama Medical University)
Regional differences of excess suicides after the Great East Japan Earthquake
- P-E-1-4 **Tanaka Hirokazu** (Department of Public Health, Erasmus University Medical Center)
Trends and socioeconomic inequalities in self-rated health in Japan, 1986-2016
- P-E-1-5 **Liu Keyang** (Public Health, Department of Social Medicine, Osaka University Graduate School of Medicine)
GGTP is associated with Impaired Endothelial Function
- P-E-1-6 **Tang Chengyao** (Osaka University, Graduate School of Public Health)
Relation of vitamin B1 and B3 intake with mortality from cardiovascular diseases
- P-E-1-7 **Sakakibara Atsuko** (Dept. Prev. Med., Kitano Hosp. Med. Res. Inst.)
Trends in cervical cancer and carcinoma in situ in Japan and future projections
- P-E-1-8 **Morales Aliaga Maria Lisseth** (Tsukuba University, Program Comprehensive Human Sciences, School Human Care Sciences)
Distress in informal caregivers with cancer in Japan

Chair : Kaneko Satoshi (Nagasaki University School of Tropical Medicine and Global Health)

- P-E-2-1 **Fukuyama Yumi** (Faculty of Medicine, Saga University, Japan)
Advance Care Planning in Japan : survey of the primary care physicians' view
- P-E-2-2 **Takabayashi Saeka** (Department of Public Health, Graduate School of Medicine, Hokkaido University)
Associations between dietary diversity and all-cause mortality in older adults
- P-E-2-3 **Xiaowen Wang** (Public Health, Department of Social Medicine, Osaka University Graduate School of Medicine)
Egg consumption and mortality from stroke: the JACC Study
- P-E-2-4 **Sun Haoran** (Department of Health Sciences, Graduate School of Medicine, Hiroshima University)
Prediction of HIV incidence in China with simple SIR model

- P-E-2-5 **Muzembo Basilua Andre** (International University of Health and Welfare)
Local perspectives on Ebola during its 10th outbreak in DR Congo

- P-E-2-6 **Lu Yixiao** (Department of Public Health Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences)
Epidemiological features of tuberculosis infection in A Prefecture.

- P-E-2-7 **Fujii Mai** (Center for Baby Science, Doshisha University)
A study of nap patterns of infants over age of 3 in Malaysia

- P-E-2-8 **Nakamura Keiko** (Tokyo Medical and Dental University)
Implementation assessment for management of hypertension/diabetes in Tanzania

Chair : Okumura Jiro (Kindai University)

- P-E-3-1 **Xiao Xu** (Nagasaki University Graduate School of Biomedical Department of Public Health)
Association of FTO genotype with obesity and bone health.

- P-E-3-2 **Li Meng** (Division of Health Sciences, School of Medicine, Osaka University)
Predictors of prenatal smoking cessation interventions in public health nurses

- P-E-3-3 **Kawaguchi Chikana** (Graduate School of Medicine, Tohoku University)
Postnatal maternal stress and development of atopic dermatitis in children

- P-E-3-4 **Igusa Ayaka** (Graduate School of Health Science, Saitama Prefectural University)
Relationship between work/childcare engagement and recovery experience in women

- P-E-3-5 **Chatani Yuki** (Akita University Department of Public Health)
Multiple Physical Symptoms Are Useful to Identify High Risk People for Burnout

- P-E-3-6 **Ota Yu** (School of Medicine, Akita University)
Psychological stress and the intention to leave workplace among nurses

- P-E-3-7 **Ono Mariko** (Teikyo University School of Medicine)
Scale development of workplace support for female medical professionals